



2022 コーポレート  
シチズンシップシチ  
ズンシップ レポート



# 目次

<b>— TI の概要</b>	<b>3</b>	<b>— 責任ある事業慣行</b>	<b>16</b>	<b>— 職場環境</b>	<b>25</b>	<b>— 寄付とボランティア活動</b>	<b>35</b>
		ガバナンス		TI での仕事		寄付	
<b>— TI のコミットメント</b>	<b>4</b>	エシックスおよびコンプライアンス		TI の従業員と価値基準		ボランティア活動	
CEO のメッセージ		政策提言		ダイバーシティとインクルージョン			
コーポレート シチズンシップシチズンシップ (企業市民活動)の取り組み		サプライ チェーン の責任		労働力の比率		<b>— 付録</b>	<b>40</b>
レポートの概要		責任ある鉱物資源調達		従業員リソース グループ		実績データ	
2022 年のハイライト		人権と労働		採用		グローバル レポートینگ イニシアティブ (GRI) インデックス	
<b>— 環境サステナビリティ</b>	<b>7</b>	リスク管理と事業継続性		人材開発		気候関連財務情報開示 タスクフォース (TCFD)	
環境へのコミットメント		情報保護		給与と福利厚生		サステナビリティ会計基準委員会 (SASB)	
温室効果ガス 排出量				安全と健康		社外への保証声明書t	
エネルギー							
水							
廃棄物と原材料の管理							
製品の品質							
物流							

## 将来見通しに関する記述の注意事項

この通知には、1995 年に成立した民事証券訴訟改革法により規定される法的責任からの免責条件を満たすことを意図した「将来見通しに関する記述」が含まれています。一般的に、これら将来見通しに関する記述は、TI とその経営陣による、「believes」(確信する)、「expects」(期待する)、「anticipates」(予測する)、「foresees」(予見する)、「forecasts」(予期する)、「estimates」(推定する)、またはその類似語句ら識別できます。同様に、TI の事業戦略、見通し、目的、計画、意図、目標に関する記述は、将来の見通しに関する記述です。将来の見通しに関する記述はいずれも特定のリスクや不確定要素を含む可能性があり、実際の結果が予測と大きくかけ離れる可能性があります。これらの要因に関する詳細な説明については、SEC が保管している 2023 年第 1 四半期の Form 10-Q に記載されている「risk factors」(リスク要因) の説明をご覧ください。この通知に含まれている「将来の見通しに関する記述」は、この通知を作成した時点で作成したものです。TI は、その後の出来事や状況を反映する目的で、「将来の見通しに関する記述」を更新する義務を負いません。

# TI の概要

- 1930 年に創設
- 本社は米国テキサス州ダラス
- 株式公開済み (Nasdaq:TXN)
- 社長 兼 最高経営責任者(CEO):Haviv Ilan (ハビブ・イラン)
- 従業員約 33,000 人(内訳)
  - 南北アメリカ:約 14,000 人
  - アジア太平洋:約 17,000 人
  - 欧州:約 2,000 人
- 世界各地に合計 15 の製造拠点を置き、毎年数百億個のチップを製造
- 100,000 社を上回るお客さまに約 80,000 種類の製品を製造
- TIの2022 年の売上は、産業用と自動車用で全体の65% を占めています

## 世界各地の製造拠点<sup>1</sup>



### Revenue in 2022

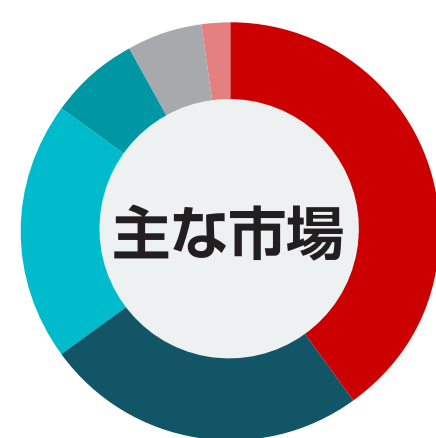


\$15.36    \$3.26    \$1.41  
アナログ    組込み    その他

(10 億ドル単位)

資本的支出:28 億ドル  
研究開発:17 億ドル

### Revenue by market



産業機器 - 40%  
車載 - 25%  
パーソナル エレクトロニクス - 20%  
通信用機器 - 7%  
エンタープライズ システム - 6%  
その他 - 2%

### 主な製造と設計拠点

テキサス州ダラス  
メキシコ、アグアスカリエンテス  
日本、福島県会津  
フィリピン、バギオ  
インド、バンガロール  
中国、成都  
フィリピン、クラーク  
ドイツ、フライジング

テキサス州ヒューストン  
マレーシア、クアラルンプール  
ユタ州リーハイ  
マレーシア、ムラカ (マラッカ)  
日本、茨城県美浦村  
台湾、新北市 (新北市、シンペイ)  
テキサス州リチャードソン  
カリフォルニア州サンタクララ

中国、上海  
テキサス州シャーマン  
メイン州サウスポートランド  
アリゾナ州ツーソン



TI 本社:米国テキサス州ダラス

<sup>1</sup>TI が定義する主要運営拠点 (重要拠点) とは、面積が 50,000 平方フィート (4,621 平方 m) 以上である、または 2022 年 12 月 31 日時点で従業員数が 100 人を超えるすべての製造施設、すべての設計拠点、およびすべての販



# CEO (最高経営責任者) からのご挨拶

TI (テキサス・インスツルメンツ) は数十年にわたり、半導体を通じてエレクトロニクスをだれもが手に届く手ごろなものにすることで、より良い世界を作り上げるということに熱意を注いできました。世代を重ねることに、半導体技術はより小さく、より効率的で、より手頃な価格になり、今日、当社の製品は、より持続可能な未来に貢献するエレクトロニクスや新しいアプリケーションの開発を支援しています。

TI の創設者たちには、優れた企業を築き上げるには、長期的な成長に貢献する特別な文化が必要であるという知識や先見性がありました。長年にわたって、TI は 3 つの重要な目標を念頭に置いて事業を運営してきました。

- 第一に、私たちは、今後数十年にわたって会社を所有するオーナーのように行動します。
- 第二に、私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応し、成功を収めます。
- 第三に、私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることを目指します。

これらの目標は、TIの長期的な意思決定の指針となり、私たちの製品がより良い世界の創造に貢献することで、私たちの努力の結集はインパクトある長期的なものになると確信しています。私たちは 良き企業市民であることに誇りを持っています。私たちを取り巻くコミュニティや世界全体に以下の 2 つの方法で影響を及ぼしています。

第一に、私たちの目標は TI が業務を遂行する方法の指針を示すと同時に、持続可能性があり、社会的に思慮深く、環境に責任を持てる方法で事業を確実に進めるための土台になります。これらの目標の中心にあるのは、すべてのステークホルダーに有益な結果をもたらすために、会社は長期間にわたってより強力になるように成長を続ける必要がある、という確信です。

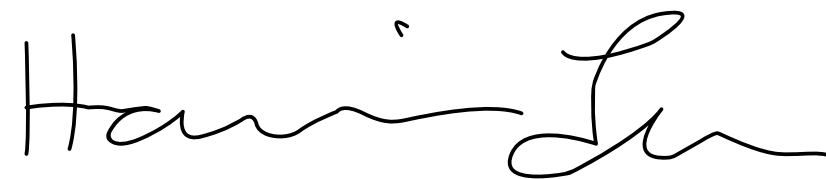
第二に、より良い世界を築き上げ、環境に及ぼす影響を低減するのに役立つ手段として、半導体は重要な役割を継続的に果たします。

エンジニアとして、私たちは幸運にも、お客様がより良い世界を創造するためのイノベーションを支援するエキサイティングな技術に携わることができます。TI の半導体製品は、電気自動車や再生可能エネルギーなどのアプリケーションなど、世界各地で持続可能な技術を支援し、手法の多用化を通じて望ましい影響をもたらすのに役立っています。

2022 年は、パンデミックと、その結果生じたサプライチェーンの混乱に関連して、世界的な課題が継続的に存在していましたが、TI が引き続き重視したのは、従業員の安全の維持、工場 の継続的な操業、お客様の需要に対応するための製造能力の増強、ニーズが継続する際のコミュニティ (地域社会) への貢献でした。

2022 年に TI 従業員が適応性を発揮し、行動したことを私は誇りに思います。これまでの数十年を通じて、課題が多い年こそ、TI の方針決定の指針として会社の目標が非常に大きな役割を果たすこと、またその時期に TI 従業員が課題に立ち向かうことを学んできました。

TI は長期的に会社を所有するオーナーのように行動し、絶えず変化を続ける世界に適応し成功を収め、TI のステークホルダーが誇りを持って行動します。これらの目標に継続的かつ誠実に取り組む TI に期待してください。私たちがこれらの目標の達成に成功すれば、TI の従業員、顧客、コミュニティ、ステークホルダーはいずれも勝者になることができます。



**Haviv Ilan** (ハビブ・イラン)  
社長および最高経営責任者 (CEO)





## レポートの概要

2006 年以来、TI はプログラムに関する情報、複数の目標、各目標に関する進捗状況、関連データを公開してきました。その中で、良好なコーポレート シチズンの立場を維持するためのコミットメントの一環として、環境、社会、ガバナンス (ESG)、持続可能性 (サステナビリティ) の優先順位を重視してきました。

これまでの年と同様、TI の 2022 年コーポレート・シチズンシップシチズンシップ レポートは、これらの広く受け入れられているレポート・フレームワークを使用して、TI の事業に関連する ESG のさまざまな分野で TI がどのように考え、どのように行動しているか、という洞察を明らかにしています。

- グローバル レポーティング イニシアティブ (GRI)<sup>2</sup>
- 気候変動関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)<sup>3</sup>
- サステナビリティ会計基準委員会 (SASB)<sup>4</sup>

加えて、TI は CDP<sup>5</sup> の Climate Change (気候変動) と Water Security (水の安全保障) に関する各アンケート調査に参加し、<https://www.ti.com/ja-jp/about-ti/citizenship-community/overview.html> の「コーポレート シチズンシップシチズンシップ レポート」で報告しています。

このレポートを強化するため、私たちは社内外のステークホルダーから年間を通じて意見を求め、第三者のサステナビリティ評価や、トレンドやベストプラクティスをベンチマークしています。そして、それらの入力を会社の優先順位と照らし合わせ、TI の年次コーポレート シチズンシップシチズンシップ レポートにどのようなトピックを開示、掲載するかを決定します。

## コーポレートシチズンシップシチズンシップ

TI は良き企業市民(コーポレート シチズン) であることを誇りを持っており、私たちを取り巻くコミュニティと世界各地に以下の 2 つの方法で影響を及ぼしています。

- 第一に、私たちの目標は TI が企業経営の指針を示すと同時に、持続可能性があり、社会的に思慮深く、環境に責任を持てる方法で事業を確実に進めるための土台になります。これらの目標の中心にあるのは、すべてのステークホルダーに有益な結果をもたらすために、会社は長期間にわたってより強力になるように成長を続ける必要がある、という確信です。
- 第二に、より良い世界を築き上げ、環境への影響を低減するのに役立つ手段として、半導体は重要な役割を継続的に果たします。



<sup>2</sup>GRI (Global Reporting Initiative: グローバル報告構想) は国際的な独立機関であり、企業がその影響を伝達するためのグローバルな共通言語を提供することで、企業がその影響に責任を負うことができるよう支援しています。

<sup>3</sup>Financial Stability Board (財務安定性委員会)は、機構に関連する、より効果的な開示の勧告を策定するための TCFD (Task Force on Climate-Related Financial Disclosures: 気候変動関連財務情報開示タスクフォース) を設立しました。TCFD はいっそう多くの情報に基づいて、投資、与信、保険の査定に関する決定を推進することができます。

<sup>4</sup>SASB は独立系の非営利団体であり、企業が自社の投資家に対して(サステナビリティ)の関する 情報を開示するための指針となる一連の規格を制定しています。

<sup>5</sup>CDP (Carbon Disclosure Project) は非営利団体であり、投資家、企業、市町村、州や都道府県、および地域向けにグローバル開示システムを運用し、それぞれが環境に及ぼす影響を管理できるようにしています。



# 2022 年の主なできごと

私たちは、責任ある持続可能な製造に長年取り組んできた良き企業市民であることに誇りを持っています。

## 持続可能な未来を作り上げる

2022 年に TI は自社の製造プロセスと機器の効率改善に引き続き取り組み、エネルギー、原材料消費量、水の使用量、さらに、温室効果ガス (GHG) の排出量を減らそうとしてきました。\*

23%

スコープ 1 とスコープ 2 の  
GHG 排出量を削減  
(2015 年との比較)

28%

チップあたりのエネルギー  
使用量を削減  
(2015 年との比較)

3.2%

水使用量  
を削減

90%

廃棄物を埋め立て処分  
する代わりに転用



## TI での仕事

世界各地にいる 33,000 人の優秀な TI 従業員は互いに協力し、半導体を通じてエレクトロニクスをより手頃な価格で提供することにより、より良い世界を作り上げようとしています。

30 以上

D&I (多様性と包摂性) や  
人材開発に関する受賞

15

従業員  
リソース グループ

50.7

TIer 一人当たりの平均  
学習時間

## より強力なコミュニティの構築

社員であることを個人的に誇れる会社、および地域の隣人として望ましい会社である、という TI の目標は、より強力なコミュニティを築き上げるようとする TI の業務の指針になります

\$52.6 万ドル

TI、TI Foundation、従業員、退職者による  
寄付、およびその他の寄付

257,000 時間

他の人をサポートするため使われた従業員  
と退職者の時間



---

# 環境への取り組み



# 環境に及ぼす影響の低減

TIは良き企業市民であることに大きな誇りを持ち、責任ある持続可能な製造に長年取り組んできました。2006年にTIは最初のコーポレートシチズンシップシチズンシップレポートを制作しました。それ以来、天然資源の節約、温室効果ガス排出量の低減、気候変動に及ぼす影響の緩和に関する長期的な環境サステナビリティプログラムに継続的に取り組んでいます。

毎年何十億ものチップを製造する半導体メーカーとして、TIは自社の製造プロセスで効率を改善することが重要だと確信しています。複数年にわたる持続可能性の目標は、私たちの事業に対する指針となり（次のページを参照）、エネルギー使用量、GHG排出量、水使用量、埋め立てに回す廃棄物の量を低減する目的で、TIはチップを効率的に製造するために努力しています。

環境に及ぼす影響を低減する上で、今後もますますTIの半導体製品は重要な役割を果たします。TIの半導体は、電動化、再生可能エネルギー、エネルギーストレージの各ソリューションを可能にする、より小さく、効率化的で、手頃な価格のテクノロジーを開発するお客様を支援しています。

## プロGRESS

これまでの数年間を通じて、TIはエネルギーと水の節約、チップあたりのエネルギー使用量の低減、廃棄物を埋め立て処分する代わりに転用の点で進捗を遂げてきました。また、2015年を基準年とし、適用範囲1 (Scope 1) と2のGHG (温室効果ガス)の絶対排出量 (総量) を2025年までに25%低減するという長期的な目標に向かって前進を続けました。

2022年はTIの生産量の増加に伴い、前年比で消費量と排出量がわずかに増加しました。これは、年間を通じてお客様の需要が継続していたこと、および米国テキサス州リチャードソンと米国ユタ州リーハイにある2つの300mm工場を新設したことによるものです。

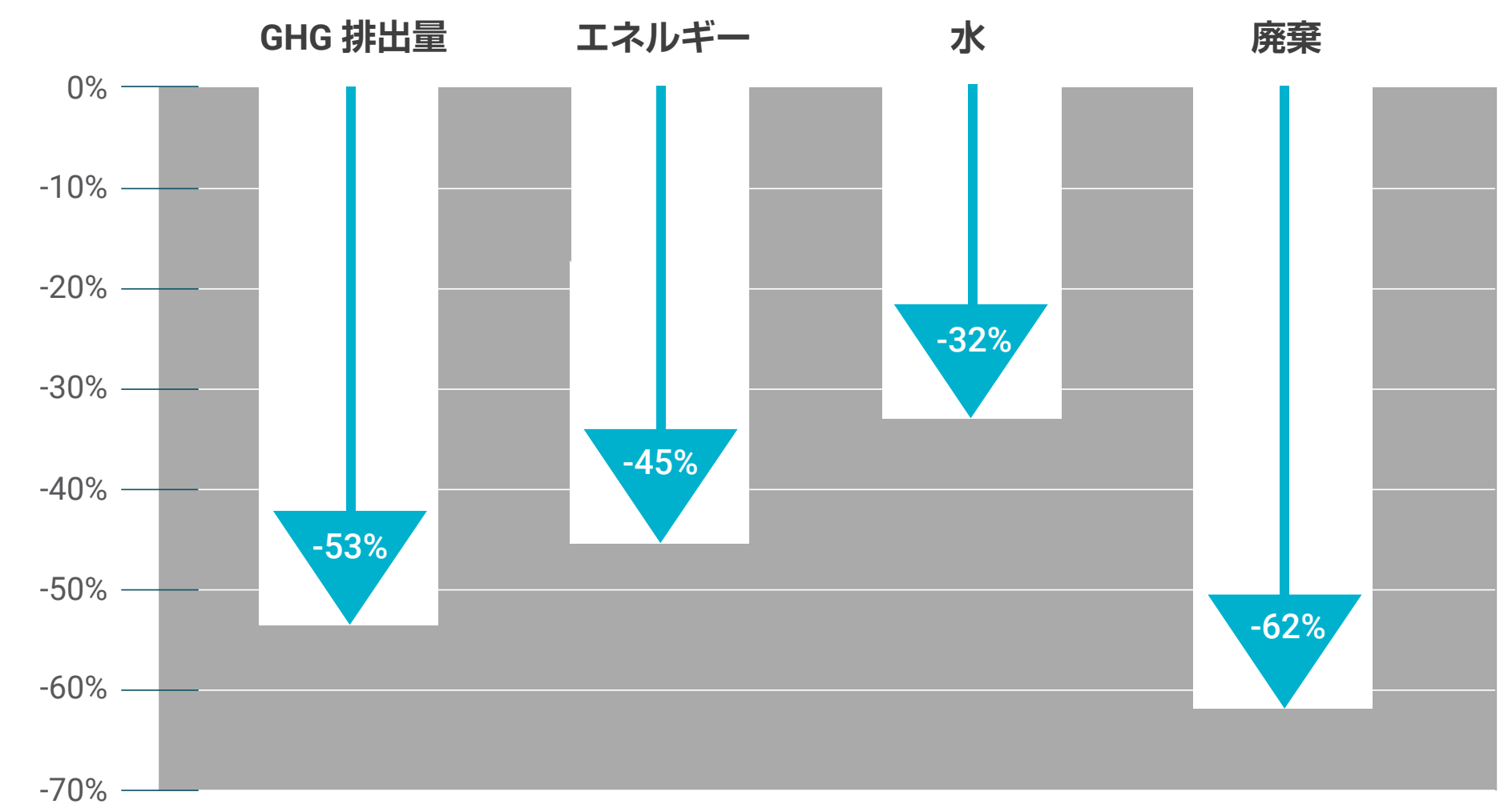
事業が成長している状況においても、TIは環境への影響を低減できるように引き続き取り組んでいきます。TIは環境に及ぼす影響を低減することを目的として、毎年数百件のプロジェクトに投資しています。該当するものは、先進的な製造ツールとテクノロジーの採用や、米国テキサス州で再生可能エネルギーを供給する太陽光発電と風力発電に関する複数年の契約締結、インドのバンガロールでの屋上へのソーラー設置などです。

## 2022年のチップあたりの効率改善

10年以上にわたって、TIは環境に及ぼす影響を低減するために、製造プロセスと機器の効率向上を推進してきました。TIの製造プロセスの全体的なリソース効率を評価する方法として、GHG排出量、エネルギー、水、材料消費量の正規化されたデータ、つまりチップあたりのデータを測定および追跡しています。

正規化データを比較すると、シングルチップの製造にかかわるリソースと排出量を説明し、長期的にどれほどの改善を遂げたか確認することができます。2010年から2022年までのチップあたりのデータを比較すると、TIは製造に関連する影響と資源消費量を大幅に削減してきました。

2010年から2022年:チップあたりの効率改善





# 環境維持へのコミットメント

エネルギー、原材料、水、温室効果ガス（GHG）排出量を低減する目的で、TI は複数のプログラムを策定しています。以下の表に、TI の削減目標に向かっている進捗状況を要約します。

注目対象	注目対象	目標	2022 年末までの進捗
<h2>温室効果ガス排出量</h2>	<p><b>排出物を削減するための TI の行動:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化係数がより小さい、代替のガスと化学薬品を使用します。</li> <li>排出物を削減する機器を設置します。</li> <li>再生可能なエネルギーを購入します。</li> <li>製品の製造、配送、流通を最適化します。</li> <li>不必要な出張を減らし、特定の拠点で従業員の通勤費用を補助します。</li> </ul>	<p>2025 年までの目標:</p> <p><b>25%</b> 2015 年の基準年に比べて、適用範囲としている Scope 1 と 2 の絶対排出量（総量）を削減<sup>6</sup>。</p>	<p><b>23%</b> GHG 排出量を削減。</p>
<h2>エネルギー</h2>	<p><b>エネルギー消費量を削減するための TI の行動:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>効率を最適化し、LEED (Leadership in Energy and Environmental Design: エネルギーと環境を意識したデザインのリーダーシップ) 認証<sup>7</sup> を取得するために、ビルや製造拠点の設計と運用を実施します。</li> <li>各種ツールと機器のアップグレードと更新を実施します。</li> <li>各種センサと他の自動化制御機器を使用します。</li> <li>日常的なエネルギー削減プロジェクトを実施します。</li> </ul>	<p>2025 年までの目標:</p> <p><b>50%</b> 2015 年の基準年に比較したチップあたりのエネルギー原単位レベルの削減量。</p>	<p><b>28%</b> チップあたりのエネルギー使用量を削減。</p>
<h2>水</h2>	<p><b>節水を実現するための TI の行動:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TI の逆浸透フィルタの回復率を最適化するなどの行動を通じて、脱イオン水プラントの効率を改善します。</li> <li>流量を改善し、製造ツールの水使用量を減らします。</li> <li>他のプロセスで水を再使用することが可能になる、付加的な製造ツールを特定します。</li> <li>より多くの廃水を復元できるように、マイクロフィルタ（精密ろ過器）とウルトラフィルタ（超精密ろ過器）の使用を拡大します。</li> </ul>	<p>Ip-2022, conserve:</p> <p><b>3.4%</b> 2021 年の合計水使用量を基準とした、2022 年の削減量。</p>	<p><b>3.2%</b> 水使用量を削減。</p>
<h2>廃棄物と原材料の管理</h2>	<p><b>廃棄物と原材料の管理に関して、3 ステップのアプローチを適用しています。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TI が何を必要としているかを検討します。</li> <li>可能なものを再利用します。</li> <li>許可されているものをリサイクルします。</li> </ul>	<p>Ip-2022, divert:</p> <p><b>90%</b> 埋め立て処分するはずだった固体原材料のうち、転用した比率。</p>	<p><b>90%</b> 埋め立て処分するはずだった原材料のうち、転用した比率。</p>

<sup>6</sup>次の規定が示すガイドラインに従い、TI の運用に関する構造的な変化を反映するために、2021 年コーポレート シチズンシップシチズンシップレポートで、TI の 2015 年における GHG 排出量ベースラインを 2,471,357 から 2,832,709 MTCO<sub>2</sub>e に調整しました。WBCSD/WRI の Greenhouse Gas Protocol: A Corporate Accounting and Reporting Standard (温室効果ガスの手順書:企業の計算と報告に関する基準)。  
<sup>7</sup>LEED は、世界で最も広く採用されている、グリーン対応ビルのレーティング システムです。



# 温室効果ガス 排出量

## GHG 排出量を減らすための TI のコミットメント

環境に及ぼす影響を低減し、効率を改善するために、TI は GHG 排出量とエネルギーの低減に関する目標を設定しています。2015<sup>8</sup> 年を基準年とし、適用範囲 1 (Scope 1) と 2 の GHG の絶対排出量 (総量) を 2025 年末までに 25% 削減することを意図しています。

TI の組織境界に該当するのは、TI の製造拠点、大規模かつ製造以外の拠点、支援施設であり、これらは財務会計の目的で TI が組込リースとみなしている契約の対象になります。TI の活動境界に該当するのは、これらの拠点や施設のうち該当するものに起因する、Scope 1 と Scope 2 の排出量です。

## TI が実施している行動

TI は長年にわたって、自社の事業、配送、流通、および自社のサプライチェーン全体で GHG 排出量を削減するために行動してきました。

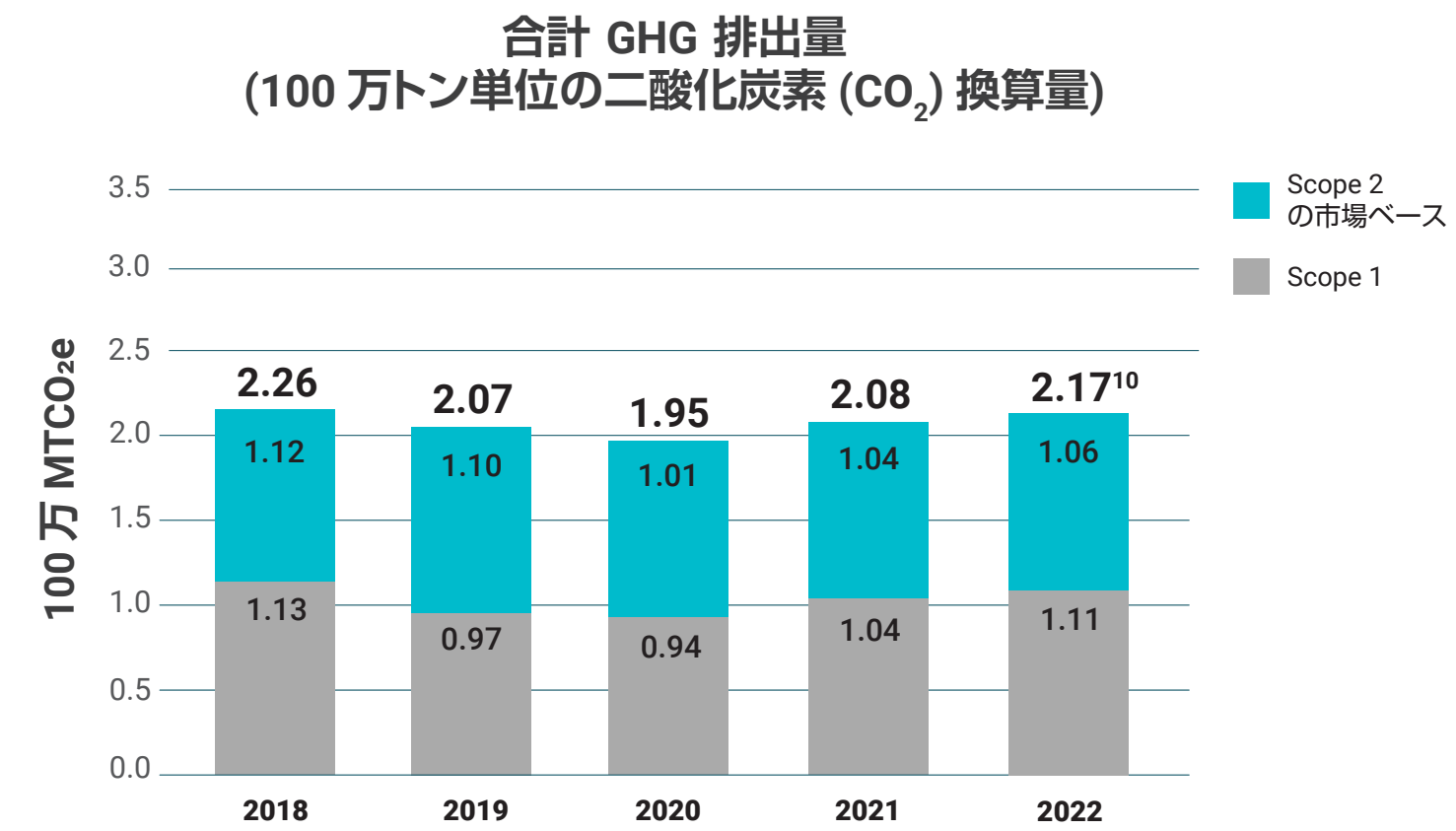
### Scope 1

TI は製造プロセスで使用するガスと、天然ガスやディーゼル<sup>9</sup> などオンサイトで消費する燃料を通じて、Scope 1 の GHG 排出物を直接排出しています。TI は以下のような方法で、これらの排出量の削減に取り組んでいます。

- より新しく、より効率的な製造ツールとテクノロジー。
- 代替のガスと化学薬品を使用し、必須ではないフッ化ガスを排除。
- 半導体の製造に使用するガスの排気に対処する、使用時点熱排出物低減装置をいくつかのツールに導入。

### Scope 2

TI は自らの製造または他の事業を目的として購入した電力によって、Scope 2 の GHG (温室効果ガス) 排出量を間接的に排出しています。TI はこれらの排出物を低減するために、以下の方法に取り組んでいます。



TI の製造数は 2022 年に 25% 増加しました。これらの合計値は市場ベースの GHG を表しています。

- 世界各地で再生可能エネルギー源の購入と確保。
- TI の製造システム、ビル、ツールのエネルギー効率を向上。

### Scope 3

TI のサプライチェーン、従業員の出張や通勤、および製品の流通ネットワークで生成された、Scope 3 の間接的な温室効果ガス排出物。以下の方法で、これらの環境負荷を削減しています。

- サプライヤーに対し、製造と運用の効率を最適化することを奨励。
- 物品を大量一括で、また地域ごとの流通センターから配送する方法で、配送回数を減らし、輸送に関連する排出量を低減。

- 業務上の出張を制限し、テレビ会議機能を採用。
- オンサイトの電気自動車 (EV) 充電ステーションを設置するほか、シャトル便を導入し、自転車向けのインフラも整備。
- 選択した一部の拠点での公共交通機関の利用や自動車の相乗りに対する補助金支給。

TI は、バリューチェーンの排出量を推定および計算するプロセスを継続しています。これらの排出量は TI に密接に関連するものであり、企業のバリューチェーン (Scope 3) 計算と報告基準 (温室効果ガスの手順書:企業の計算と報告に関する基準の補足) に沿っています。

### 潜在的なリスクの監視

TI は気候変動に関連する潜在的なリスクと機会に関心を向けており、それらを [TI の 2023 年 CDP 気候変動への回答 \(2023 CDP Climate Change response\)](#) で詳細に説明しています。TI の CDP への回答や、GRI Index (GRI インデックス) の [排出物セクション \(Emissions section\)](#)、TI の [TCFD Index \(TCFD インデックス\)](#) にも、気候変動に関連する TI のガバナンスと管理の方針を掲載しています。

## 実績

2022 年の時点で、Scope 1 と 2 の絶対排出量 (総量) を 2015 年以来 23% 削減しました。GHG の詳細なデータについては、TI の [業績データ付属書 \(Performance Data Appendix\)](#) をご覧ください。

<sup>8</sup> TI の運用に関する構造的な変化を反映するために、TI の 2015 年における GHG 排出量ベースラインを 2021 年コーポレート シーズンシップシチズンシップ レポートで調整しました。それらの変化に該当するのは、スコットランドでの水製造プラントの引き上げと、米国コタ州での 300mm ウェハー製造プラントの買収です。次の規定が示すガイドラインに従い、2015 年のベースラインを、2,471,357 から 2,832,709 MTCO<sub>2e</sub> に調整しました。WBCSD/WRI の The Greenhouse Gas Protocol: A Corporate Accounting and Reporting Standard (温室効果ガスの手順書:企業の計算と報告に関する基準)。

<sup>9</sup> 計算方法とガイダンスが異なるため、TI は 2021 年以降、コーポレート シーズンシップシチズンシップ レポートに FHTF (フッ化熱伝達液) を含めていません。半導体の排出物を追跡する組織である、WSC (世界半導体会議) の現時点の報告ガイダンスによると、FHTF の追跡と報告に関する要件は存在していません。米国環境保護庁 (EPA) が、EPA への情報開示に関して最近導入したルールは FHTF を含めており、TI はこの要件に適合しています。WSC は最近、FHTF を含めている 2019 年の IPCC (気候変動に関する政府間パネル) ガイダンスに合わせて移行する方針で、すべての地域を調整しました。TI は 2019 年の IPCC ガイダンスに移行するタイミングを検討しており、その方針を採用する際に FHTF 排出量を含める予定です。

<sup>10</sup>ERM CVS (認証と検証サービス) は、2022 年に TI が排出する Scope 1 と 2 の GHG に関する限定的な保証検証を実施しました。



# エネルギー

## チップあたりのエネルギーを削減するための TI の取り組み

運営、設計、製造、組み立て、テストにかかわる TI のグローバルの拠点は、毎年削減目標を設定し、効率プロジェクトを策定する方法で、エネルギー使用量とそれに関連する温室効果ガス排出量の削減に注目しています。2015 年を基準年とし、TI は世界各地の製造拠点におけるチップあたりのエネルギー使用量<sup>11</sup> を 2025 年末までにその 50% に削減する目標を設定しました。2022 年末<sup>12</sup> の時点で、この目標に対する進捗率は 28% に達しました。

## TI が実施している行動

TI は毎年、自社の事業全体で、エネルギー使用量の削減に役立つ 200 種類以上のプロジェクトを策定しています。これらのプロジェクトは、直近の 5 年間で TI の製造量が 25% 増えたにもかかわらず、同じ期間内に 320GWh (ギガワット時) のエネルギー削減を達成するのに役立ちました。

TI が最も注目しているのは自社の製造事業に関係する各種活動です。製造事業は、TI 全体のエネルギー消費の約 90% を占めているからです。省エネルギー分野で TI が実施している他の方法を、以下に示します。

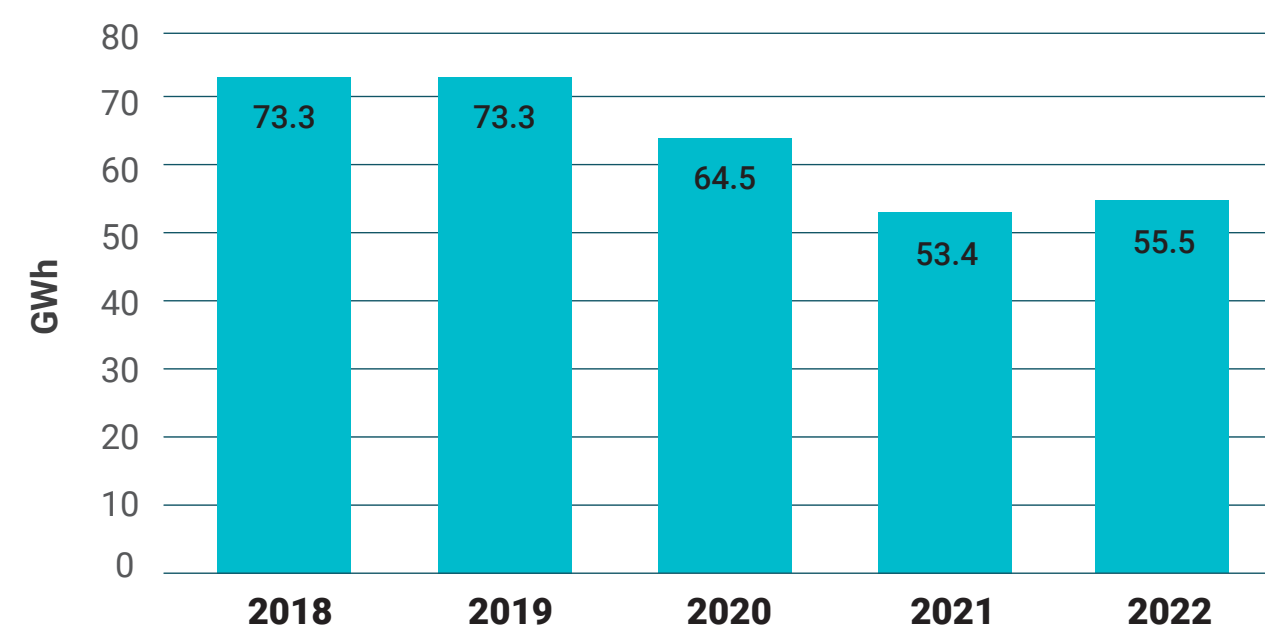
- 効率を最適化し、LEED 認証を取得する目的で、ビルと製造拠点の設計と運用を実施。
- 各種ツールと機器のアップグレードと更新を実施。
- 各種センサと他の自動化制御機器を使用。
- 冷却水プラントの制御を改善し、設定ポイントを最適化。
- TI のエアハンドリングシステムに、エネルギー効率の優れた LED 照明、ファン、ドライブメカニズムを設置。

## 実績

生産量が増加したため、TI は 2022 年に 3.75TWh (テラワット時) のエネルギーを消費しました。これは、2021 年の 3.19TWh より多い量です。詳細なエネルギーデータについては、TI の[業績データ付属書 \(Performance Data Appendix\)](#)をご覧ください。

TI がエネルギー使用量を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の[エネルギー \(Energy\)](#) セクションをご覧ください。

## エネルギー (GWh) 節減量



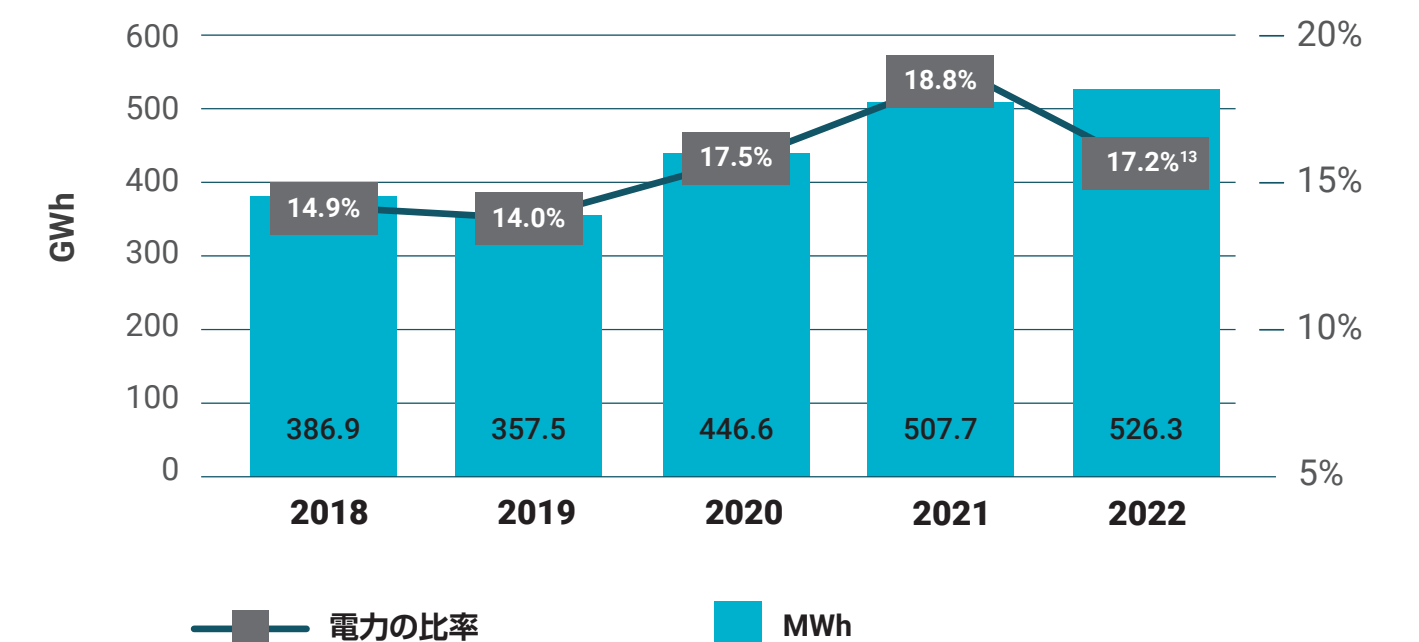
## 再生可能エネルギー

TI は自社の GHG (温室効果ガス) 排出量削減目標の一環として、今後の再生可能エネルギー使用量の増加に取り組んでいます。TI は、信頼性が高い複数のエネルギー供給源を確保しています。その中には、入手可能でコスト効率が優れ、TI の業務上のニーズや目的に適合している場合の再生可能リソースが含まれています。

2022 年下期に、TI は以下の活動を開始しました。

- 15 年にわたる契約に基づき、テキサス州北部での社内事業向けに、47MW (メガワット) の太陽光発電電力を受電しました。11 年にわたる契約に基づき、TI は 2023 年上期に、18MW の風力発電電力を追加しました。
- インドのバンガロールで、最初の顕著な屋上ソーラーシステムを使用。

## 電力総量を基準とした再生可能電力の比率



<sup>11</sup> TI は、自社の製造プロセスの全体的なエネルギー効率を評価するために、チップ生産数あたりのエネルギー使用量つまり原単位を測定しています。

<sup>12</sup> ERM CVS は、2022 年に TI が使用するエネルギーと再生可能電力に関する限定的な保証検証を実施しました。

<sup>13</sup> テキサス州北部のプロジェクトは 2022 年 12 月に運用を開始しましたが、同月に生成された再生可能エネルギーは 2022 年の再生可能エネルギー総量に含まれていません。複数の新しいファクトリ稼働を開始し、製造量が増加したことが原因で、2022 年に再生可能エネルギーの調達量と使用量が増加したにもかかわらず、再生可能電力がエネルギー総量に占めるパーセンテージは減少しました。



# 水

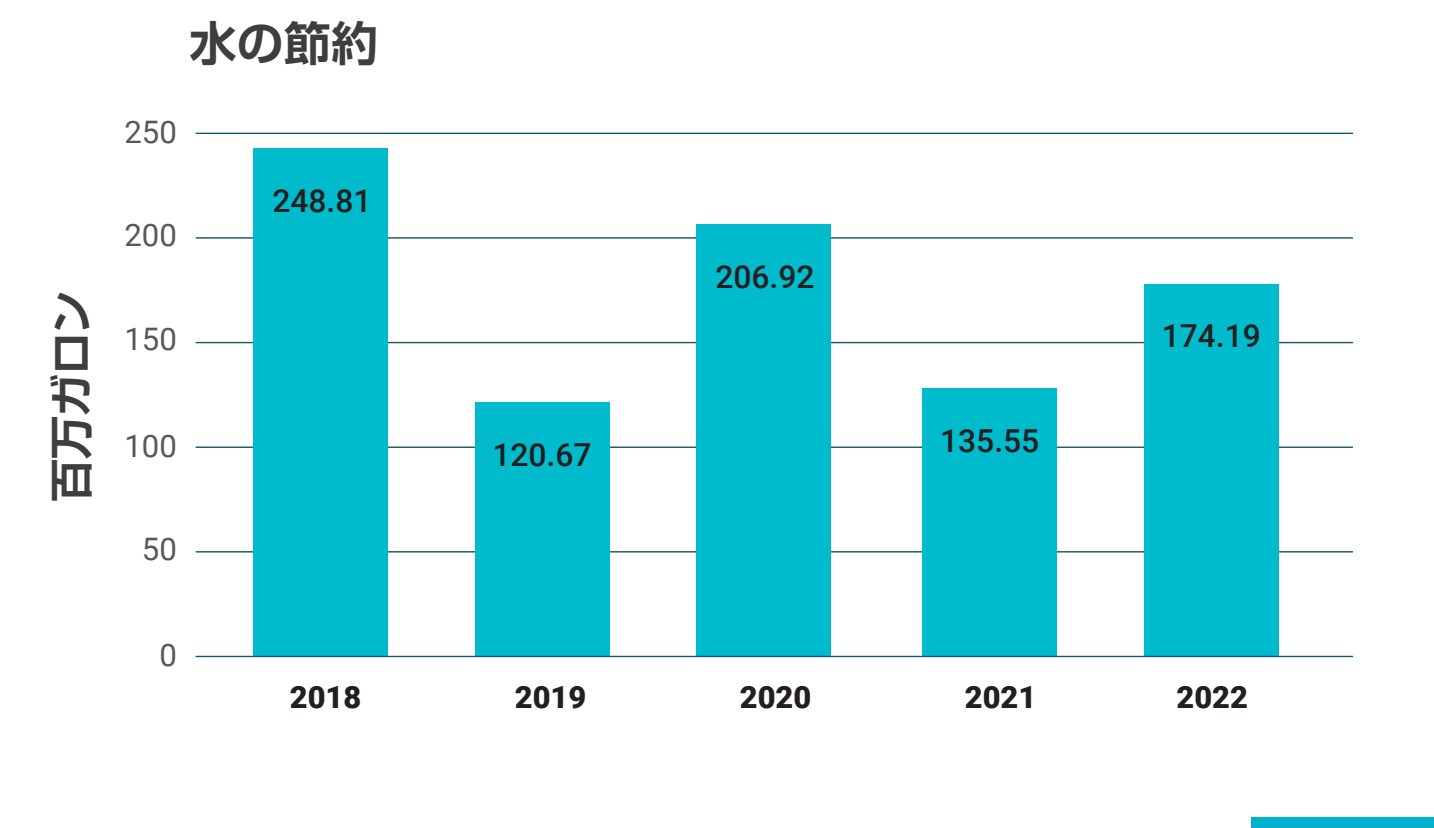
## 水を節約するための TI の取り組み

TI は水に対する責任と水の効率に特に注目しています。再生水と飲料水を節減し、廃水の処理とリサイクルを実施すると、コストを削減し、長期的に水を利用できる状態を維持することができます。TI は法規制の限度および許容可能な限度に適合するように、自社の廃水処理システムの維持と最適化を行います。

2022 年に、TI は複数の水節減プロジェクトを実施しました。その結果、目標の3.4%に対し、2021 年の使用量を基準として、年間の水使用量を3.2% 節減しました。

## 水節減

最近 5 年間で、TI は 8 億 8,610 万ガロン (33 億 5,415 万リットル:335 万キロリットル) の水を節減してきました。



## TI が実施している行動

TI は毎年、自社の事業全体で使用する水の総使用量を削減することを意図した複数のプロジェクトを策定しています。水の効率を向上させるために、TI は以下のことを実施しています。

- 削減、リサイクル、再利用プロジェクトへの投資。
- 逆浸透フィルタの回復率を改善し、脱イオン水プラントの効率を最適化。
- 流量を改善し、他のどのプロセスで水を再使用するかを特定した結果、製造ツールの水使用量が減少。
- より多くの廃水を復元できるように、マイクロフィルタ (精密ろ過器) とウルトラフィルタ (超精密ろ過器) の使用を追加。
- 冷却塔に送り込む、凝縮と精密ろ過を実施した水の量の最大化。
- 製造に使用した水を浄化し、より高品質な水をリサイクルして、超純水プラントの入力に戻す。

## 水質の監視

TI は各製造拠点で、水の取水量と水質を定期的に監視し、社内基準を維持するために、定期的な試験を実施しています。TI は各製造拠点で、標準的な放出パラメータを使用して水の排出量と水質も追跡しています。

## 廃水の管理

TI は、社内の規格、プログラム、手続きも制定済みであり、すべての拠点で発生した廃水が、地元、州、国家の放水要件を確実に満たせるようになっています。半導体業界の標準である各種パラメータを各拠点で評価します。通常、これらに該当するのは、生物化学的酸素要求量 (BOD)、総懸濁固体量、金属量、pH (ペーハー)、温度です。また、以下の項目も実行します。

- 金属、有害な有機化合物、硝酸塩、硫化物のような物質を制限するか、放水を行う前に廃水から除去します。
- 溶剤、濃縮された金属、または酸性溶液を含有している廃水のスラッジ (泥濁、ヘドロ) を収集し、法規制要件に従ってそれらを拠点外で処分します。場合によっては、TI はそれらの化合物を廃物再生利用施設に転送し、他の業界で再利用できるようにしています。
- 必須である廃水のサンプル採取を定期的に行い、運用を確実に自社の許容限度内に収めます。

## 実績

お客さまをサポートするために生産量が増加し、2021 年に比べて水の総使用量は 19% 増加しましたが、1 億 7,400 万ガロン (6 億 5,864 万リットル:65.9 万キロリットル) 以上の水を節減したほか、水の総使用量の 25% つまり 22 億ガロン (83 億 2,766 万リットル:833 万キロリットル) 近い水を再使用しました。詳細な水データについては、TI の [業績データ付属書 \(Performance Data Appendix\)](#) をご覧ください。

TI の水と放出の管理戦略の詳細については、[TI の 2022 年 CDP を通じた水の安全性への回答 \(TI's 2022 CDP Water Security response\)](#) と GRI Index (GRI インデックス) の [水と廃水のセクション \(Water and Wastewater section\)](#) をご覧ください。



# 廃棄物と原材料の管理

## 埋め立てに回す廃棄物の量を減らすための TI のコミットメント

環境を保護し、埋め立てに回す廃棄物の量を低減するために、TI は、原材料と化学物質の使用と廃棄を責任ある方法で管理しています。環境に及ぼす影響を低減するために、TI は廃棄物の 90% を埋め立て処分する代わりに転用することを意図しています。

## TI が実施している行動

リサイクルや再利用ができない廃棄物や原材料は、連邦政府、州政府、および地域の該当する法令に従って適切に廃棄しているほか、以下の行動に最大の努力を払っています。

### 手順 1: TI が何を必要としているかを検討します。

TI が必要とする原材料の大半は、半導体の製造に必要なものです。原材料と化学物質を購入する場合、TI は結果として発生する廃棄物について考慮するほか、既存の原材料を再利用するか、リサイクル済み原材料や環境との親和性が高い品目を購入または使用するかを考慮します。

### 手順 2: 可能なものを再利用します。

TI は以下の方法で原材料と化学物質を再利用します。

- 固体、液体、廃水、その他の原材料から金属を回収します。
- 使用済みと余剰の化学物質、化学物質容器、古くなった製造機器を他の目的に振り向けるか、再販売します。
- ウェハー・キャリアやフード・サービスの食器を再利用します。

### 手順 3: 許可されているものをリサイクルします。

TI のリサイクル可能な原材料と化学物質は、主に自社のオフィスと製造拠点から調達されます。各地域の要件に従って、これらの管理と統制を実施します。

## 化学物質とガスや気体の管理

半導体の製造には、有害または有害ではない化学物質とガスの使用が関係します。そのため、TI の製品管理システムでは厳格な管理をしています。TI は継続的に以下を実施しています。

- TI 従業員、拠点のあるコミュニティ、および消費者を保護するために、最も安全で最もリスクが低い原材料を特定し、使用します。可能な場合、TI は特定の洗浄用途で化学薬品の代わりに高圧水を使用するか、化学薬品を、環境に優しいものに置き換えます。
- 半導体製造プロセスに組み込む前に入荷するすべての原材料と化学物質を検査し、規制と顧客の要件の両方に準拠できるようにします。TI はまた、サプライヤとの契約の中で化学物質に関連する制約と規格を規定しています。
- 新しい科学情報が入手可能になり、新しい規制が有効になった時点で、各原材料が ESH (環境、安全性、健康) に及ぼす潜在的な影響を評価します。
- 化学物質の購入、輸送、追跡、廃棄を安全かつ責任ある方法で実施するために、厳格な規格と条項に従います。
- 個人用保護機器の適切な使用を含め、化学物資または有害物質の使用、ラベル表記、保管、廃棄に関する具体的な手順とトレーニングを提供します。
- 通気制御機能、排出物低減システム、漏洩検出器、適切な処理技術を使用しています。

TI がスクリーニングプロセス中に原材料または化学物質に関する懸念が発生した場合、社内の各種関連部門に所属している専門家で構成される審査委員会に、その懸念事項をエスカレートさせます。ある原材料または化学物質が製造に必要であるにもかかわらず、依然として懸念事項が発生する場合、TI の製造責任者はその状況を見直し、必要に応じて、より安全な代替品を探すか、または使用に関するより厳格な管理を実施します。

含有原材料に関する透明性

TI の各種製品が原材料に関するグローバルな制約と法規制に適合していることを確実にするために、TI は測定を実施し、その概要を示す資料とツールをお客さまに提供しています。これらには、

- [規制対象である化学物質と原材料の仕様](#)。

- [TI の制限化学物質と原材料](#)。

- [環境と製品への責任に関する TI のアプローチ](#)。

- [検索ツール](#)を使用して、RoHS、REACH、グリーン対応に関する製品のステータスや、含有原材料 (含有物質) の詳細を迅速に検索すること、または制限化学物質テスト レポートをダウンロードすることができます。

- [品質、信頼性、パッケージングに関するデータ](#)。

- [鉛フリー \(Pb-free\) への転換](#)。

- [Low Halogen \(Green\) Statement \(低ハロゲン \(グリーン対応\) に関する声明\)](#)。

- [環境に関する FAQ](#) (よくある質問)。

## 実績

TI は 2022 年に発生した合計 50,673 トンの廃棄物と余剰原材料のうち 90% 近くを埋め立て処分ではなく他の用途に振り向け、社内目標を達成しました。

この数値を達成するために、実行可能な場合は化学薬品の再利用と回収を行いました。余剰化学薬品の売却、エネルギー回収の目的で特定の廃棄物のリサイクル、および廃棄物になった木材、紙、ガラス、金属、有機原材料のリサイクルを実施しました。詳細なデータについては、TI の[業績データ付属書 \(Performance Data Appendix\)](#) をご覧ください。

TI が原材料を管理する方法の詳細については、GRI インデックスの[原材料 \(Materials\) セクション](#)をご覧ください。



# 製品の品質

## 品質とサポートへの TI の取り組み

品質に関する TI の総合的なアプローチは、会社のサプライチェーンのあらゆる段階に浸透しており、プロセス技術や設計から、製造、パッケージング、試験、納入までを網羅しています。TI は、顧客のニーズに適した高品質で高信頼性の半導体ソリューションを提供できるように、製品とプロセスのテクノロジーを継続的に向上させています。

環境に及ぼす影響を低減し、製品の耐用期間を延長するために、TI は自社テクノロジーの品質と信頼性を最適化しています。TI はお客様からの返品結果を測定しています。この数値に基づいて、解決のサイクル期間と 10 億個あたりの返品パーツ数という両方の実績を評価しています。これらの測定値は、高い水準の顧客サービスや、製品の品質と信頼性を維持するのに役立ちます。

継続的な改良を推進するために、TI は個別の返却に関する理由の評価、分類、集約を実施し、全体的な改良の機会を特定しています。過去 3 年の間に、TI 製品のうち 85% 以上は、どの顧客からも返品されたことはありませんでした。

## TI が実施している行動

### 品質と信頼性

TI のすべての部門は協力し、品質の確保と、高信頼性製品の納入を進めています。産業用 (半導体技術協会:JEDEC) と車載 (車載電子部品評議会:AEC の Q100) の各製品を想定した厳格な品質規格に適合する高信頼性のテクノロジーを構築できるように、TI は自社の製品とプロセスのテクノロジーの改良を継続しています。TI は特化型の原材料と制御手法を使用し、高品質の製品や、テスト用のシリコン技術とパッケージ技術を製作するほか、ウェハーレベルの信頼性を継続的に監視しています。製品の認証を開始する時点で、製品が完全に信頼性があり、お客様の長期的な品質ニーズに対応するという、データに裏付けられた高い信頼を得ることを目標としています。

品質と信頼性は TI のあらゆる部門に浸透

TI は品質と信頼性を維持するために、さまざまな方針を活用しています。たとえば、TI は以下の活動を実施しています。

- [品質システム マニュアル](#)は、TI の品質管理プロセスとシステムについて記述しています。
- [品質方針と手順](#)は、品質に関連する課題を迅速に特定し、解決するための枠組みを実現します。TI は業界の要件と規格を採用しているほか、お客様の仕様とフィードバックも考慮に入れています。その結果、製品のライフサイクル全体でリスクを低減し、改善を推進することができます。
- 多数の業界規格と品質仕様に適合できるように、TI は複数の社内品質規格を策定しています。それらの業界規格などに該当するのは、ISO (国際標準化機構) 9001、ISO 14001、ISO 45001、International Standard for Automotive Quality Management Systems (自動車産業向け品質管理システムの国際規格) 16949 と、UL (Underwriters Laboratories) 定格です。
- [信頼性試験](#)は潜在的な故障メカニズムの促進または加速を実現し、根本原因の特定や故障モードを防止する方法の解明に役立ちます。

TI は継続的な改良を行うために、製品とサービスの品質に関するいくつかの性能指標を測定しています。

## 製品の耐用期間

[製品耐用期間](#)と、お客様への供給の継続性を維持するために、TI は 10 年以上にわたって製品の販売とサポートを可能にするライフサイクル管理ポリシー、および在庫と製造に関する戦略を策定しています。

TI の製品ライフサイクルは通常 10 年から 15 年で、多くのお客様のご要望に合わせて延長することもあります。TI は、お客様の観点で製品の耐用期間を考慮して対策に取り組んでおり、このコミットメントを維持するための戦略と社内方針を策定しています。



TI の製品マーケティング エンジニアである Nosa は、テクノロジーに対する熱意と自身の仕事を組み合わせて、お客様のニーズに適した高品質のソリューションを提供しています。



# 製品の流通

TI はお客様へのタイムリーな配送を保証し、国際輸送規制を遵守し、環境への影響を軽減するために自社製品を効率的に梱包して出荷するよう努めています。

## TI が実施している行動

TI の製品流通センター (PDC) はプラスチックの消費量を念頭に置き、実行可能な場合は、プラスチック製のダンネージ (輸送用トレイなどの梱包材) を外部向けの配送パッケージングに 2 次使用しています。パッケージングの廃棄物を削減するために、TI はさまざまな原材料の再利用とリサイクルを実施しています。

次に例を示します。

- 複数回の配送を防止する目的で、多数の製品も各出荷に収められるように梱包しています。また実際の重量が、課金の対象になる寸法重量 (容積重量) に近くなるように、梱包密度を高めています。
- 梱包の際に、リサイクル可能かつ再利用可能でリサイクル済み物質を採用したエア緩衝材を使用しています。TI のいくつかの PDC は、内容品保護に使用した箱を廃棄する際に、シュレッター処理後の段ボールをダンネージ (梱包材) として活用しています。
- お客様と協力し、配送に関する顧客のニーズを理解し、可能な場合は一括で配送を実施しています。この慣行の採用により、航空便を使用する場合でも、より手ごろな出荷オプションが使用できる時期を想定して、優先順位の低い航空便を使用する方針に相互で合意することができます。
- サプライヤーは、すべての新しい 300mm ウェハーは再利用可能なコンテナを使用して出荷する必要があります。コンテナが空になった後、再利用できるようにそれらのコンテナをサプライヤーに返却するか、TI 社内で使用しています。
- 配送時に製品を保護する梱包材 (発泡エア パッキンやフォーム緩衝材など) や、配送資材 (箱、木枠、パレットなど)、貴金属を回収できる品目をサプライヤー宛に配送するためのケース、および製品の流通に使用するプラスチック製リールを再利用しています。TI は、自社の教育用テクノロジー部門で発生したエアキャップを、TI.com 配送のダンネージ (梱包材) として再利用しています。
- 欧州連合 (EU) の Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE、廃電気電子製品) と EU の Packaging and Packaging Waste (包装廃棄物) リサイクル プログラムに準拠し、EU 管轄地域に輸入する評価基板に適用しています。
- 自社の PDC をお客様に近い地域に配置することで、納期の短縮、効率化、また災害時の製品配送の円滑化を実現します。
- 重くて高額な、カスタム・カットの発泡材やリサイクル不可能な発泡材の使用、または発泡材とボール紙の廃棄物発生を排除しています。
- いくつかの自社 PDC では、プラスチックと段ボールの廃棄物を排除するために、配送用の箱の代わりに、再利用可能な金属製コンテナを使用しています。

TI が製品内容のラベルを管理する方法の詳細については、GRI インデックスの [マーケティングとラベル \(Marketing and Labeling\) セクション](#) をご覧ください。



PDC チームのメンバーである Danielle、Fernando、John は、米国テキサス州北部にある TI の Alliance PDC でパイロット (実験) プロジェクトを主導し、プラスチック製のパッケージング資材を低減するために、格子状の 패턴に組み上げたシュレッター処理後のリサイクル段ボールで置き換えています。



---

# 責任ある事業慣行



# ガバナンス

TI は、長期的な成功を達成するには優れたコーポレート・ガバナンスが重要であると確信しています。1973 年以来、TI は文書化したガバナンス ガイドラインを使用しており、会社と株主のニーズに合わせて長年にわたって改正を実施してきました。

TI のコアバリューは、TI をより強力なものにするために不可欠であり、私たちは定められた原則を遵守することで、責任ある倫理的なビジネス慣行を体現します。

## 取締役会

TI の取締役会は、責任能力と効果的なコーポレート ガバナンスを具体化するための活動に集中的に取り組んでいるほか、会社のグローバル事業戦略を監督しています。これに該当するのは、監査委員会、報酬委員会、ガバナンスと株主向け広報委員会です。

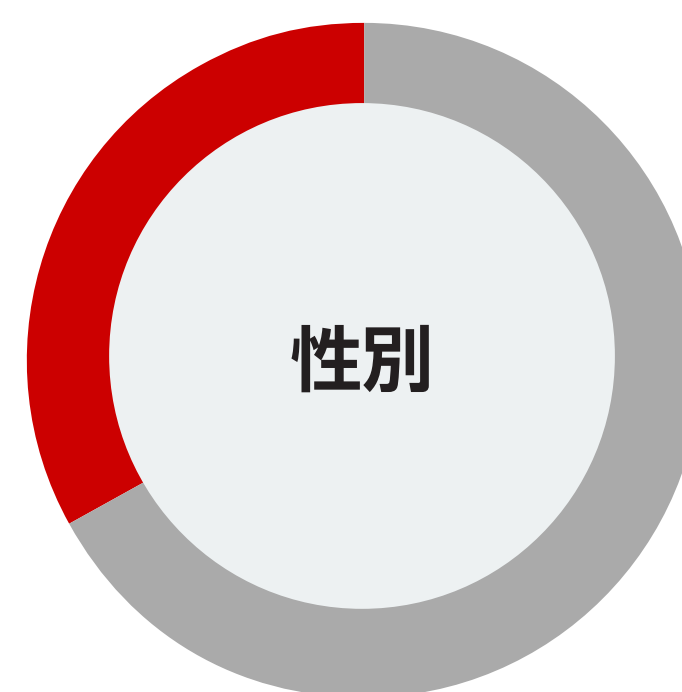
取締役会は、ガバナンスの慣行が現在の事業環境にとって有意義であるか確認するために、ガバナンスの慣行について毎年話し合います。ESG 関連の課題が TI にとって非常に重要な場合、該当する委員会でそれらの課題を見直します。たとえば、特に環境関連のリスクを含め、監査委員会はリスク評価とリスク管理の観点で社内の慣行を見直します。ガバナンスと株主向け広報委員会も、会社の株主が関心を持つ公的な課題を見直す自らの責任に関連して、ESG 関連の課題を監督します。

## TI の取締役会の概要

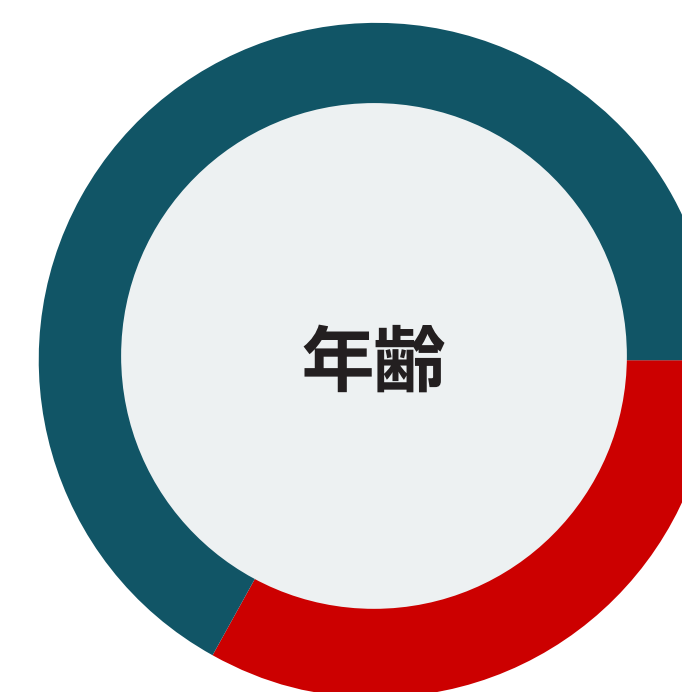
2022 年末の時点で、TI は10 人の独立取締役を含む12名の取締役からなる単一取締役会システムを採用しており、そのリーダーシップと多様な背景は、TI にとって多くの経験と知識をもたらしています。

取締役のこのような組み合わせを活用し、TI の株主にとって最善の利益が何であるかを考慮に入れ、取締役会は会社の現在および今後の方針とリスクと業績を監督します。

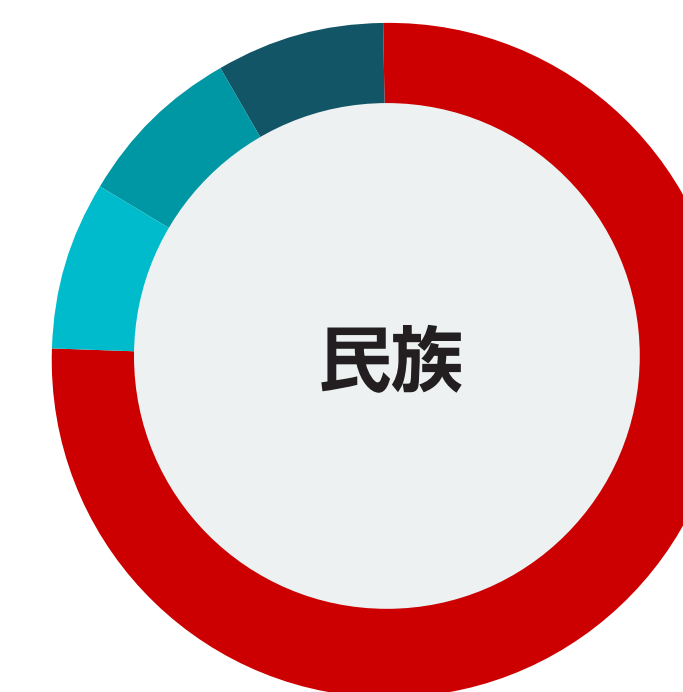
## 2022 年の取締役会の多様性



女性 - 33%  
男性 - 67%



年齢が 60 歳以下 - 33%  
年齢が 61 歳以上 - 67%



黒人 - ~8%  
ヒスパニック系 - ~8%  
アジア系 - ~8%  
白人 - 75%

## TI のコーポレート・ガバナンスの詳細:

- [ESG の課題に関する取締役会の監督 \(Board Oversight of ESG Matters\)](#)
- [TI の取締役会と各種委員会](#)
- [会社のガバナンス関連資料 \(Governance documents\)](#)
- [2023 年の株主総会招集通知 \(2023 Proxy Statement\)](#)
- [2022 Annual Report \(2022 年の年次報告書\)](#)
- [2022 U.S. Securities and Exchange Commission \(SEC\) Form 10-K \(2022 年の米国証券取引委員会 \(SEC\) の Form 10-K 年次報告書\)](#)
- [GRI インデックスの一般開示項目 \(General Disclosures\) セクション](#)



# エシックスおよびコンプライアンス

TI の創設者たちには、優れた企業を築き上げるには、長期的な成長に貢献する特別な文化が必要であるという知識や先見性がありました。TI は、社内文化を [Living Our Values – ambitions, values and code of conduct](#) (TI の価値基準に基づく行動 – TI の目標、価値基準、および行動規範) と呼んでおり、この基準に従って毎日事業を進めています。

すべての TI 従業員はこれらの原則を支持する上で重要な役割を果たし、リーダーの関与や従業員の参加とトレーニングを通じて会社の強化を進めることができます。

## TI が実施している行動

適切な意思決定、適切な方法での業務遂行、長期を見据えた企業の強靱化を実現できるように、TI は 従業員、マネージャ、リーダーが必要とするトレーニングとツールを提供しています。

従業員は毎年、エシックスとコンプライアンスのトレーニングを受けます。トピックは年ごとに異なる可能性がありますが、複数年周期で、TI の行動規範、環境、安全と健康 (ESH)、秘密情報の保護、情報技術とセキュリティ、職場での嫌がらせやセクシャル ハラスメントの防止、その他のコンプライアンス関連トピックを取り扱います。

加えて、特定の役割にある従業員を対象に、人権に関するポリシー、輸出管理、腐敗防止、インサイダー取引、グローバルな競争法、RBA Code of Conduct (責任ある事業同盟の行動規範) に関するトレーニングを実施しています。

また、「TI の価値基準に基づく行動」の意味を理解し、倫理的な行動に関する会社の各種規格を支持することができるように、上級マネージャの関与を求め、適切なツールを提供しています。この結果、各マネージャは自らが管轄する部門で、社内文化、倫理、コンプライアンスに関する期待という考え方を強化できます。

TI の [GRI Index \(インデックス\)](#) は、TI の法令と規制への準拠、腐敗防止、反競争的行為、差別排除 の各慣行に関する詳細情報を掲載しています。

## 私たちの行動規範

TI は、従業員 1 人 1 人が行動規範について理解することを期待しています。この行動規範は、TI の目標や価値基準を、私たちが支持する必要のある基準へと作り替え、私たちが許容することのない言動を明確に提示することになります。

目標、価値基準、行動規範、方針のいずれかに相いれない行動を目にしたとき、そのことを表明するのは TI 従業員の責任です。マネージャまたは人事担当者に話すか、TI エシックス部門に直接または匿名で連絡を取ることができます。

直接の連絡先:

- E メール: [ethics@ti.com](mailto:ethics@ti.com)
- 私書箱宛の郵送 Box 830801, Richardson, TX 75083-0801

匿名ヘルプライン:

- オンライン アクセス先: [ti.com/tiethicshelpline](https://ti.com/tiethicshelpline)
- 米国内の無料通話: 1-888-590-5465





# 政策提言

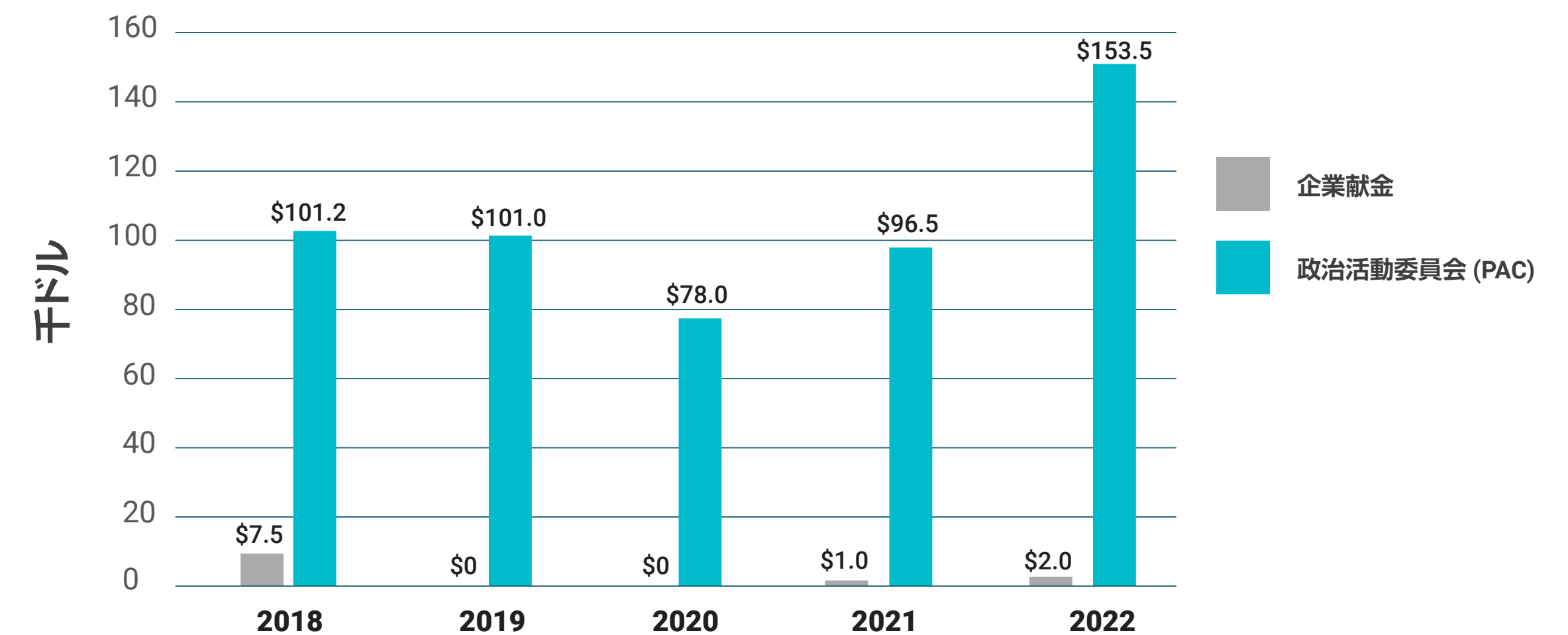
TI は、会社と従業員が政治的プロセスに合法的に参加しやすくなるように、方針と慣行を適切に策定してきました。これらの方針と慣行は、TI が関与する活動や、TI の政治活動委員会 (PAC) の責任と慣行を定義しています。

TI は、人材の採用、革新の推進、競争力強化に寄与する政策を提唱しています。TI が政策に関して特に関心を抱いている分野には、税制、貿易、人材、人種平等が含まれます。TI はこれらの成果を目指して、政策に関する目標を持つ、米国と国際的両方の多様な業界団体に協力しています。特定の団体における TI の活動は、他の団体よりも積極的に活動しており、すべての団体のあらゆる事項に賛同しているとは限りません。

TI の PAC は 100% 従業員の資金提供によるものであり、秩序だっており、透明性が高く、どの党派にも属していません。従業員は TI の PAC を通じて自発的に結集し、会社の事業目標と整合性の高い位置付けにある政治的候補者を、連邦、州、地域レベルで支持します。

当社の政治的活動、TI の PAC (政治活動委員会)、従業員による政治的活動、関連する政策と期待に関する詳細情報を [TI.com](https://ti.com) で開示しています。

## 政治支出<sup>14</sup>



<sup>14</sup> 2019 年および 2020 年に、TI は地域の無記名投票構想への企業献金を行わない方針を選択しました。2020 年の PAC への貢献は、COVID-19 による影響を受けました。



# 責任あるサプライ・チェーン

TI は、責任ある体制と公正な業務慣行がサプライ チェーン全体に浸透するように、これらに関してサプライヤが TI と同じ取り組みを行うことを要求します。TI は、自社の価値基準や要件に違反するサプライヤとは意図的に関わりを持たないようにしています。

TI は主に、種類や規模が異なる約 8,600 社のサプライヤから、製造プロセス、工場設備、メンテナンス、流通サービスおよび非生産品やサービスのための各種原材料や資材を購入します。TI は、以下のようなサプライヤを求めています。成長に伴う TI の業容拡大への協力。全体的なコストの削減と廃棄物の低減。効率の向上。革新的なサービス、原材料、および製品サポートの提供。

世界各地にある TI の調達部門は、物品とサービスの購買調整、調達戦略の設定、資格あるサプライヤの特定と詳細検査、納期と価格設定の交渉、最善の履行方法の判断を実施します。

## 責任ある調達

業務、労働者、環境に関連するリスクを低減する目的で、TI は持続性と責任のある業務慣行を自社のサプライ チェーン全体で推進するための投資を行っています。次に例を示します。

- 調達を実施する前に、サプライヤの人権に関する慣行や、環境と安全性の記録を収集し、注意深く考慮します。
- TIのポリシー、契約書、注文書に業績要件と期待を明記します。
- 米国半導体工業会 (Semiconductor Industry Association)、国際半導体製造装置材料協会 (Semiconductor Equipment and Materials International) などの業界団体に協力し、サプライチェーンのベスト プラクティスと基準について協議しています。

## 要件と期待

TI の[サプライヤ Web サイト](#)には、安全な労働条件、[労働者と人権](#)の保護、環境に配慮した運営、倫理的な行動に関する、TI の業務上の要件と標準を掲載しています。TI はこれらの標準を以下のサイトで公開しています。[サプライヤの行動規範](#)、[サプライヤの倫理的な行動に関する期待](#)、[サプライヤの環境的責任と社会的責任に関するポリシー](#)、人身売買防止に関する声明、他の統制資料。

TI は、グローバル サプライ チェーンにおける企業の社会的責任に取り組む業界団体である RBA (Responsible Business Alliance:責任ある事業同盟) に所属しています。また、[RBA Code of Conduct](#) (RBA 行動規範) の中で概要を規定されている各種基準に適合しています。

## サプライヤの多様性

米国でTIは、独特かつ革新的でコスト効率の優れた製品とサービスを提供できる、マイノリティや女性が経営する企業 (MWBE) との間で業務上の取引を行う機会を積極的に追いかけています。

毎年、TI は自社が計画したプロジェクトのタイプと、資格あるベンダの有効性に基づいて、支出目標を設定しています。2022 年に、TI は米国の多様なサプライヤに対して 3 億 2,500 万ドル以上を支出しました。

## 事業継続性

財務の健全性や特定の地域への集中度も含め、TI は自社のサプライ チェーンにとってのリスクを継続的に評価します。その結果、調達プロセスと管理プロセスが十分な厳格性を確保し、評判に関わる問題、注文履行処理の問題、出荷の遅延、コストの増大を防止するのが容易になります。リスク要因の詳細については、TI の [SEC Form 10-K](#) の 9 ページをご覧ください。

TI は、サプライヤが業務停止の事態に備えて適切な事業継続計画を整備すること、および必要に応じて計画の内容を TI に提供することを求めます。また、供給の継続性を維持できるように、TI はサプライヤに対し、原因となるインシデントが発生した場合は 24 時間以内に TI に連絡すること、事業継続計画 (BCP) を実施することを求めています。

## 認証

TI は自社の財政的投資、重要度、サプライヤが提供する製品やサービス、およびサプライヤの地理的位置に基づき、優先順位を付けてサプライヤを検討します。加えて、毎年、独立系の第三者監査担当者が、RBA の Validated Assessment Program (検証済み評価プログラム) 条項の基準に基づき、選択された TI の施設を評価しています。TI は、お客様がこれらのレポートを入手できるようにしています。

また、雇用契約、労働時間、寮の状態を評価するための定期的な監査も実施しています。TI の評価プロセスの詳細については、TI の [人身売買防止に関する声明](#) をご覧ください。

## 実績

2022 年に、335 箇所にのぼる工場の所在地で TI の製造事業を支援している 160 社の製造サプライヤを含め、230 社近いサプライヤを評価し、すべてのサプライヤのうち 98% が TI の業績期待を満たしていることが明らかになりました。残りの 2% は、追加のトレーニングやポリシーの強化を含め、是正措置が必要でした。

個別サプライヤのリスク評価がどのような値であっても、実際のリスクまたはリスク懸念事項を形成する可能性のある項目 (雇用活動、労働時間数、賃金と福利厚生など) を抱えているあらゆるサプライヤに対して、TI は是正措置を講じることを求めます。完了するまでは、TI はそれらのサプライヤの行動を監視します。

TI のサプライ チェーン管理に関する詳細については、TI の [サプライ チェーン の責任 Web ページ](#)と GRI Index(GRI インデックス)の[調達慣行 \(Procurement Practices\) セクション](#) をご覧ください。



# 鉱物の責任ある取り扱い

TI は、コンゴ民主共和国 (Democratic Republic of Congo:DRC、旧ザイール) や周辺地域の武装グループへの資金提供または援助源になる鉱物を自社製品が含有していないことを確認する複数のプロセスを実施しています。これらの原材料に該当するのは、錫、タンタル、タングステン、金 (3TG) です。TI は、サプライチェーンにおけるコバルトの使用を開示する措置を開始しました。

## TI が実施している行動

下請けメーカーを含むサプライチェーンと緊密に協力し、不適合な原材料の発生源を特定し排除するために努力しています。紛争鉱物サプライチェーン管理 (Conflict Minerals Supply Chain Management) に関する TI の標準的な事業手順は、方針、構造、手順、リスク管理、コミュニケーション体制の確立を必須とする OECD (経済開発協力機構) の Due Diligence Guidance (デューデリジェンスガイダンス) に準拠しています。

TI は、自社の [Conflict Minerals Policy \(紛争鉱物ポリシー\)](#) をサプライヤーに配布し、TI が情報を要求した際にサプライヤーが全面的かつ迅速に対応できるように強化を図っています。

## 保管に関する追跡のチェーン

TI のサプライチェーンにおける紛争鉱物の原産国または地域、保管のチェーン、ステータスの詳細を把握するために、TI は主に責任ある鉱物保証プロセス (RMAP: Responsible Minerals Assurance Process) の調査結果に依存してきました。

RMAP は、独立した第三者機関が精錬所の管理体制と調達慣行を評価し、その精錬所が該当の RMAP 基準に適合することを実証できているかどうかを判断するプログラムです。RMAP は RMI (責任ある紛争鉱物構想) の監督下にあります。RMI は、RBA と Global e-Sustainability Initiative (グローバル e サステナビリティ構想) のメンバーによって設立された組織です。

TI は RBA のメンバーであり、RMI と責任ある労働構想 (Responsible Labor Initiative) の両方に参加する作業部会のメンバーでもあります。

## 実績

TI が 2022 年に実施した調査と情報収集の結果、TI のサプライチェーンに属し、IC で使用している 3TG の鉱物を担当する各サプライヤーは、適合する精錬所のみを出所としていることが明らかになりました。

詳細を参照し、TI の SEC Form SD 記入内容と紛争鉱物報告テンプレート (Conflict Minerals Reporting Template:CMRT) にアクセスするには、TI の [紛争鉱物](#) Web ページをご覧ください。



複数の TI 従業員で構成された 1 つのチームが、TI のリチャードソン製造拠点で安全性と効率に関する定期的な評価を実施しています。



# 労働と人権

## 人権に対する TI の取り組み

人権を尊重し、保護することは、私たちの社会を正常な状態に維持し、TI の事業を成功させるための土台になります。TI は自社の事業と自社のサプライチェーン全体で、人権を支持し、個人の尊厳、自由、尊重を確保するための取り組みを実施しています。

すべての雇用が自発的なものであり、労働時間数と賃金は公正かつ地元の労働規定と法令に準拠していることを確認できるように、TI はさまざまな手段を講じています。TI は、自社の事業と、自社のサプライチェーン全体で、児童労働を使用することを禁じています。

TI の従業員には、地域の法令で認められている結社の自由や団体交渉の権利の両方が認められています。TI は世界各地の従業員への調査と、オンラインおよび対面での話し合いを定期的実施しており、各拠点特有の労働環境を把握できるよう努めています。

TI の[サプライヤ行動規範](#)は、TI のサプライヤ（1 次下請け）、さらにそのサプライヤ（2 次下請け）に対して、同じ原則に取り組むこと、人権と倫理的な慣行を支持すること、安全な職場環境を提供するよう取り組むことに関し、同じ期待水準を設定しています。

## TI が実施している行動

TI は人権に関するリスクを監視し、違反を排除するために、以下の行動を実施しています。

- OECD Guidelines for Multinational Enterprises (OECD 多国籍企業行動指針) に従って、定期的なリスク評価とサプライヤに対するデューデリジェンス (注意義務) を実施しています。
- TI はまた、リスクの高い地域で、第三者機関による監査や、オンサイトでの面接と評価を実施し、従業員、サプライヤ、契約社員の権利を確実に保護しています。

- 労働規定、研修と意識向上活動の実施状況、インシデント報告ツールの供与状況を評価します。

TI は、自社、業界、自社のサプライチェーン全体で人権を尊重するために、ベストプラクティスとプロセスを採用し、適用しています。TI は、グローバルサプライチェーンにおける企業の社会的責任に取り組む世界最大の業界団体である RBA (責任ある企業同盟) のメンバーです。

## TI が懸念事項に対処する方法

TI は従業員への研修を実施するほか、意見を自由に表明し、あらゆるレベルの管理者に対して複数の方法で質問や懸念を投げ掛けることを奨励しています。従業員が懸念などに関する報告や表明をした場合、それに対する脅迫や報復を会社は許容しません。TI はその懸念事項を把握した時点で、会社側がただちに状況を評価して対処に努めます。

TI が人権を管理する方法の詳細については、[人身売買防止に関する声明](#)、[サプライチェーンに対する責任の Web サイト](#)、GRI Index (GRI インデックス) の[差別禁止 \(Non-Discrimination\)](#)、[児童労働 \(Child Labor\)](#)、[強制労働 \(Forced or Compulsory Labor\)](#)、[調達慣行 \(Procurement Practices\)](#) のセクションをご覧ください。



お客様により良いサービスを提供する 300mm ウェハ製造の開始



# リスク管理と事業継続性

TI は、サイバー攻撃、天災、異常気象、パンデミック、地政学的問題、社会不安、テロリズム、またはサプライチェーンや製品流通の遅延など、予期せぬ業務運営リスクおよび新たなリスクの両方を継続的に監視し、計画を立て、トレーニングを実施しています。

TI は自社が所有し世界各地にある合計 15 箇所の多様な製造拠点で、12 箇所のウェア製造プラント、7 箇所のアセンブリおよびテスト拠点、複数のバンブ（突起形成などの加工）施設とプローブ（検証）施設を運営しています。TI は社内の製造能力に加えて、外部ファウンドリや下請け業者との強固な提携を築いており、継続的に製品を供給しています。

## TI が実施している行動

TI は事業の中断を低減するために、以下の行動を実施しています。

- リスクの監視、対処するための計画の策定と修正、危機への対応に関する従業員のトレーニング。
- 環境条件、サプライの継続性、グローバルな規制、政治情勢に関する変化の評価。
- 24 時間 365 日、通年で稼働しているセキュリティ コミュニケーション センターを運営。
- 多数の自社製造施設を所有し、お客様への製品供給の確実性を向上させるほか、地政学の観点で考慮して信頼性の高い製造と供給の能力を実現。
- お客様の近くに戦略的に配置された複数の製品流通センターを活用し、世界各地に在庫を積み上げ、配置。

## 緊急事態への対処

インシデントの性質と深刻さに応じて、TI は緊急対応システムを起動します。TI の緊急対応チームは、潜在的な損失を低減するのに必要とされる、適切なリソース、サービス、インフラを迅速に特定します。また、社内の対応とコミュニケーションに関する調整を実施します。

事業のモデル化や、シナリオと影響の分析を実施して、管理戦略、ポリシー、規格、緊急事態対処計画の策定および改善することは、以下のことを決定するのに役立ちます。

- TI の事業を構成する重要な業務プロセスと、それらの実行可能性の確保に責任を負う担当者。
- 潜在的な脅威とリスク、およびそれらを管理するために統制を実現するかどうか。
- 適切なリソースを使用して、効率の良い対応と復旧を確実に実施するためのプロセス復旧期間。
- 人材、会社の売上、評判に高いリスクをもたらす可能性のある、すべての重要な事業プロセスに対応するコンティンジェンシー（緊急事態対処）戦略。
- 対応と復旧、製品とサービスの継続に関する優先順位設定のすべての側面を網羅するための包括的な復旧戦略。

TI の Readiness 2 Recover プログラムは、TI の事業継続管理の要件の有効性と準拠性を測定するのに役立ちます。2 年ごとに（または必要に応じて）TI はリスク評価を実施し、既存の統制とギャップの特定および改訂を行います。

## さまざまなシナリオに対処する準備

TI はグローバル企業であり、地震やパンデミックから深刻な気象災害に至るまで、警告なしに発生する予期せぬ世界的事象に直面します。この種の出来事が及ぼす影響は、最小限で済むことも、大規模に達することもあります。課題が発生した場合、TI は人員、環境、財務、評判への影響を防止すると同時に、製造と流通を維持します。

実際の出来事に対する対応の習得、調整、改善を実現できるように、TI の事業継続性と緊急対応計画は、現実的なシナリオを想定し、さまざまな訓練を通じてリーダーシップ チームに指針を示しています。TI の事業継続マネジメント・フレームワークは、ISO 22301 の事業継続マネジメント規格に基づいてモデル化したもので、事業の中断に対して、TI が対策の計画立案、実現、監視、保護を実施するのに役立ちます。

TI の各リーダーが会社のリスク計画に関与できるように、以下の行動を定期的に実施します。

- 各リーダーに対し、TI の従業員または製品に対する深刻さと潜在的な影響に基づき、各リスクの評価と優先順位設定を実施する方法を指導します。
- 実際の出来事やシナリオに基づく演習から学んだ教訓に基づき、コンティンジェンシー・プランの評価と更新を行うように各リーダーに伝えます。
- 予見できない出来事に対する準備を整えるために、訓練、トレーニング、机上演習、拠点レベルの演習を実施します。

詳細については、TI の [SEC Form 10-K](#) をご覧ください。



# 情報保護

TI は、TI 従業員、お客様、ITインフラ、TI 独自のテクノロジーと秘密情報に対する潜在的な脅威の特定と排除に継続的に取り組んでいます。これらの保護は、事業の成長と収益性の鍵であり、関連する規制の遵守を維持するために必要です。

## サイバー・セキュリティ・リスクの低減

TI のリスク管理プロセスは、ISO (国際標準化機構)、NIST (米国国立標準技術研究所)、CIS (Center for Internet Security:インターネット セキュリティ センター) の Controls (統制) などのベスト プラクティス管理手法やガバナンスの枠組みに基づいています。TI は、セキュリティバイ デザイン (設計段階でのセキュリティ実装)、多層防御、特権の最小化、復元力を重視したバックアップなど、サイバーセキュリティの基礎的な原理を活用し、リスクを管理しています。

これらの組織のガイダンスと、TI が実施した評価から収集した情報を使用してリスクを低減し、TI のセキュリティ体制の強化や、会社組織と技術と知的財産 (IP) の保護を実現するためのサイバー・セキュリティ計画、ポリシー、条項を策定しています。TI のポリシーは、会社の情報資産の受け入れ可能な使用方法に関する定義、特定の IP (知的財産) または技術にアクセスするための要件、TI が個人情報と[プライバシー](#)を保護する方法に加え、EU の GDPR (一般データ保護規則) や中国の Cybersecurity Law (サイバー セキュリティ法) などの規制を遵守する方法を明記しています。

## TI が実施している行動

TI のグローバル情報セキュリティ部門は、潜在的な脅威の特定と対処、各事業部やサポート・チームと連携した作業を通じて、社内のセキュリティを改善しています。その一環として、TI は以下を実施しています。

### 保護機能

- TIのコンピュータ、サーバー、ネットワーク、その他の IT システム上のデータへのアクセス制限。
- 外部からの攻撃から TI のホームページ (TI.com) を保護する技術的対策の実施 (オンライン ストアの保護を含む)。
- 多要素認証、マルウェア防御、アクセス・レビュー・プロセスなどの業界標準の保護機能の導入。
- TI の IT リソースと情報へのアクセスを要求するサード パーティに対し、リスク評価とコンプライアンス評価を実施。

### 検知と対応

- USB またはサム・ドライブ、外付けハード・ドライブの使用に関する監視と制限を実施。
- IT システムを監視し、不適切なアクティビティに関するアラートに対応。

### トレーニング

- フィッシングやスパイ型フィッシングをシミュレートした E メール (実際は脅威ではない、テスト目的の疑似的な有害 E メール) を従業員宛に必要なに応じて送信し、関連する教育と意識向上に関する情報を発信。
- サイバー・セキュリティ意識と機密情報保護に関するトレーニングを TI の全従業員に提供するほか、社内の IT チームに専門的なセキュリティ・トレーニングを提供。

### 継続的な事前対応能力

- 毎年、サード パーティに侵入テストを依頼し、TI の統制と能力を検証します。
- 定期的に机上演習を実施し、社内の応答能力を実践します。
- 定期的な脅威ハンティング (社内システムで脅威やその兆候を探索) とレッド チーム演習 (攻撃側と防衛側に分かれ、ネットワークへの攻撃と防御を演習形式で実践) を実施します。





---

# 職場環境



# TI での仕事

TI には、半導体を通じてエレクトロニクスをより低コストで入手できるようにして、より良い世界を築き上げるという熱意があります。

真空管からトランジスタへ、さらに IC (集積回路) へと世界が移り変わる際に、TI は先駆者として行動してきました。また、数十年にわたって IC のテクノロジーを進歩させ、信頼性の高い方法で IC を大量生産する能力を実証してきました。

各世代の革新は、それより前の世代を土台として、技術の小型化、電力効率の向上、信頼性の向上、低コスト化に貢献しています。コネクテッドカーやインテリジェントホームから、ドローンやスマートフォンまで、皆様が毎日使用する身の回りの多様な製品の内部で、TI の革新は機能を果たしています。

TI には、33,000 人のワールドクラスの優れた社員がいます。これらの人々を英語では Tiers、つまり TI 従業員と呼んでいます。彼らは、熱心に課題に取り組み、エレクトロニクスの将来を描いています。

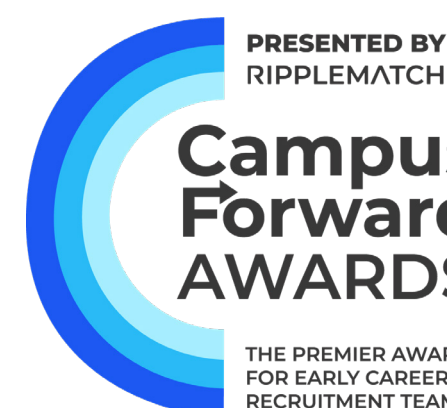
TI は以下の 3 つの目標を考慮して会社を運営し、この熱意を継続的な現実へと確実に変えようとしています。

- 私たちは、長い間会社を所有するオーナーのように行動します
- 私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応していきます。
- 私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることを目指します。

私たちがこれらの目標の達成に成功すれば、TI の従業員、お客様、コミュニティ、ステークホルダーはいずれも勝者になることができます。

## TI (テキサス・インスツルメンツ) の受賞とランキング

2022 年に、TI は世界各地で 30 以上の賞賛と評価を受けました。これらの受賞は、多様で包摂的な職場環境の醸成、TI 従業員の人材開発、持続可能性を進捗させるための取り組み、キャリアを発展させるための機会の構築を TI が重視していることを評価したものです。各受賞は、価値基準に基づく行動と、誇りを持てる会社になるための TI の取り組みを反映しています。





# TI の従業員と価値基準

TI の従業員は、日常的に TI の価値基準に基づく行動を実施し、半導体によってエレクトロニクス製品をよりだれもが手に届く低コストにし、より良い世界を作り上げる、という熱意を具現化しようとしています。

## TIの価値基準

### 信頼

最初に、信頼できる人間になります。誠実な行動をとり、常に正しいことを実行します。TI は、社会的責任に沿った事業運営を行います。信頼されるということは、会社として、個人としての私たちの基礎です。

### 多様性

多様性は成功へと導きます。全員の能力を引き出し、敬意をもって互いに接し、互いの違いを尊重するとともに、考えやアイデアを出し合うよう促す環境を作り上げます。

### 革新性

革新的であることで、成功します。私たちは、魅力的な製品を製造し、新しい市場を開拓し、競争力を高める新しいテクノロジーを創造しています。私たちは好奇心を維持し、持続性を実現すると同時に、障壁を克服するために決意を抱いています。

### Competitive (競争力)

私たちは競争が不可欠であることを理解しています。私たちは敗北を望みません。そのため、最善を尽くせるように挑戦し続けます。私たちは、持続可能な成長を実現できるように、最善の機会に投資します。競争力を維持するために、TI は優秀な人材を採用し、能力開発を進め、維持します。

### 結果重視

TI は結果を重視し、責任ある言動を心がけています。お客様には複数の選択肢があります。TI は緊急性を持って行動し、お客様が TI を継続的に選択してくださるよう物事に取り組みます。お客様の成功を支援するために、私たちは業務を継続的に改善します。



エンジニアリング (開発) とデジタル マーケティングの各チームのメンバーは、TI の新しい製品ラインアップと顧客向けソリューションを市場に投入する方法について話し合っています。



# ダイバーシティとインクルージョン

私たちは、多様な背景や視点を持つことで、TI 製品のいっそうの革新と会社の強化につながっていると確信しています。私たちは、アイデアを尊重し、奨励し、社員が成功し、長期的なキャリアを築くことができると認識する、包括的な文化の構築に取り組んでいます。

包括的な環境に対する TI の取り組みは、以下の 3 つの戦略的な優先事項を重視しています。

- あらゆる階層で多様性を具体的に表現する。
- 包括的で帰属意識が持てる社内文化を作り出す。
- TI 従業員が生活と労働の拠点にしている地域に影響を及ぼす。

## TI が実施している行動

TI は、これらの優先事項を取り巻くグローバルな包括的プログラムを意図的に策定してきました。その目的は、会社があらゆる人の意見に価値を見だし、TI 従業員が自分自身をフルに発揮して、アイデアを共有することを奨励する流れを強化することです。

## 社内プロセスでの偏見の低減

TI は以下の方法を通じて、入社希望者との面談、業績実績の再確認、人材の再評価、報酬の支払い、昇進の決定をする際に、社内プロセスで偏見を低減することを重視しています。また、パフォーマンス管理ワークショップで無意識の偏見に関するコンテンツを利用できるようにし、TI 従業員も学習と人材開発に関する TI のシステムを通じてこのコンテンツに直接アクセスできるようにします。

TI はさらに各リーダーへの教育を実施しています。その結果、リーダーは無意識の偏見を理解して認識し、客観的な基準と複数の情報源から取得したフィードバックを使用して専門職としての成長を評価するほか、業務実績を評価するときに独立したフィードバックを収集することができます。

## 重要な事項に関する対話

TI が包括的な社内文化を協力して築き上げる方法の 1 つは、1 年間にわたるグループ ベースの対話チームを作成することです。これらの対話チームの目標は、包摂に対する個人的な障壁と体制的な障壁の両方を識別できるようにすること、また排他的な慣行や課題をもたらすステレオタイプを取りやめるための学習を通じて、自己認識能力を築き上げることです。

## 私たちのコミュニティに影響を及ぼす変化

TI の目標の 1 つは、社員であることを個人的に誇れる会社、および地域の隣人として望ましい会社であることです。TI は、非営利団体の役員を務めたり、継続的なボランティア活動や寄付キャンペーンに参加したり、より包括的なコミュニティを構築するための活動したり、また年間を通じて意識向上を広め、教育を推進するために働く際に、従業員の活動を支援します。





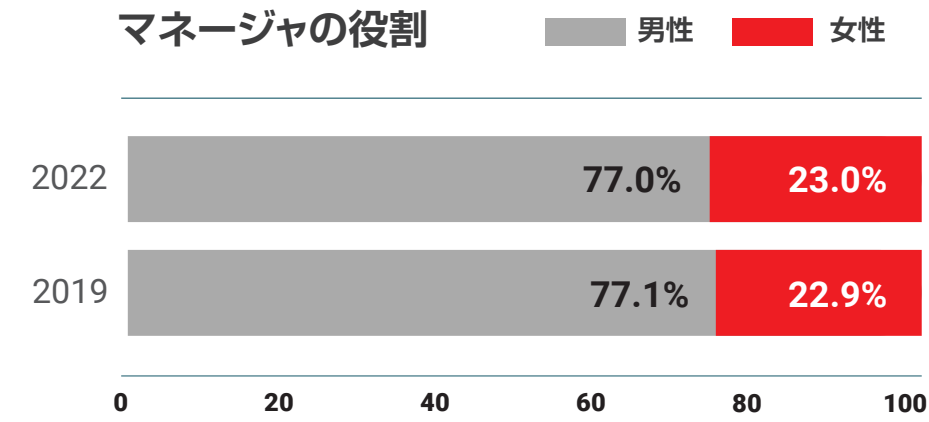
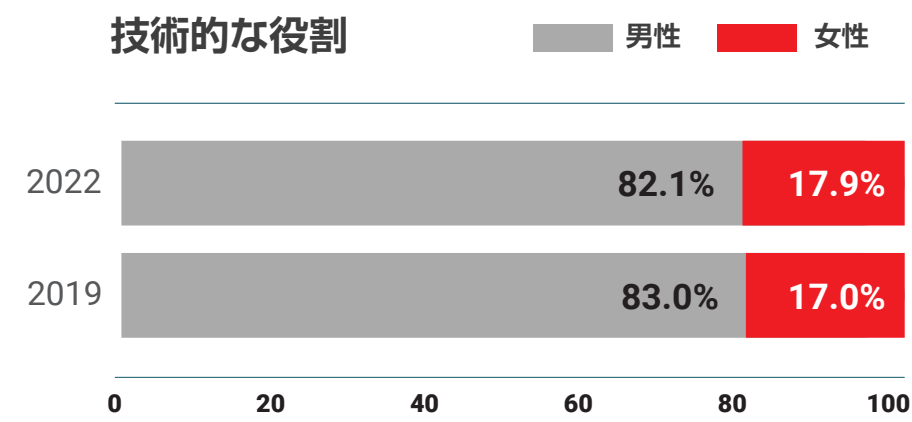
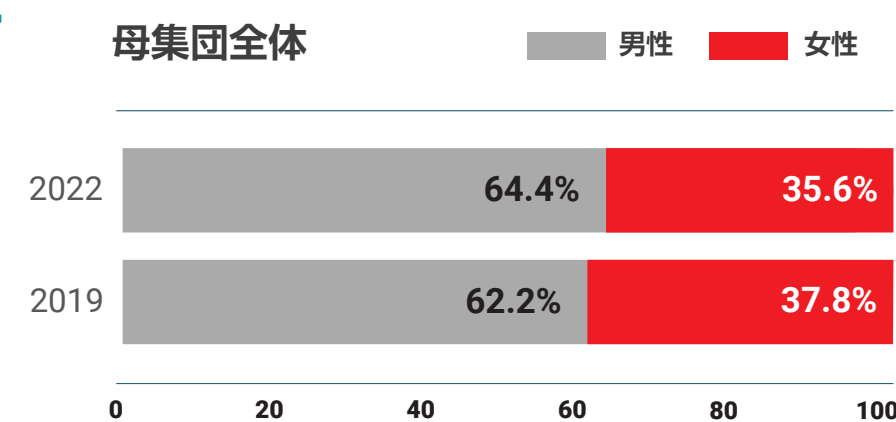
# 労働力の比率

TI は数十年にわたって、ダイバーシティとインクルージョンに関して継続的に取り組んできました。TI はより多くのことを実施する必要性が生じますが、多様性と包摂性に関して TI が実現してきた進捗状況は有望なものです。

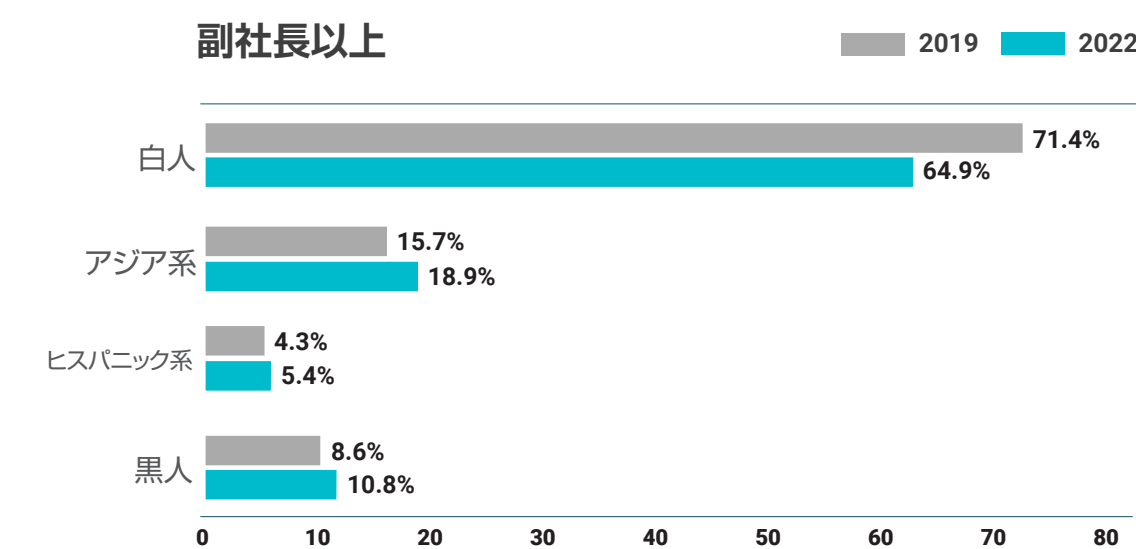
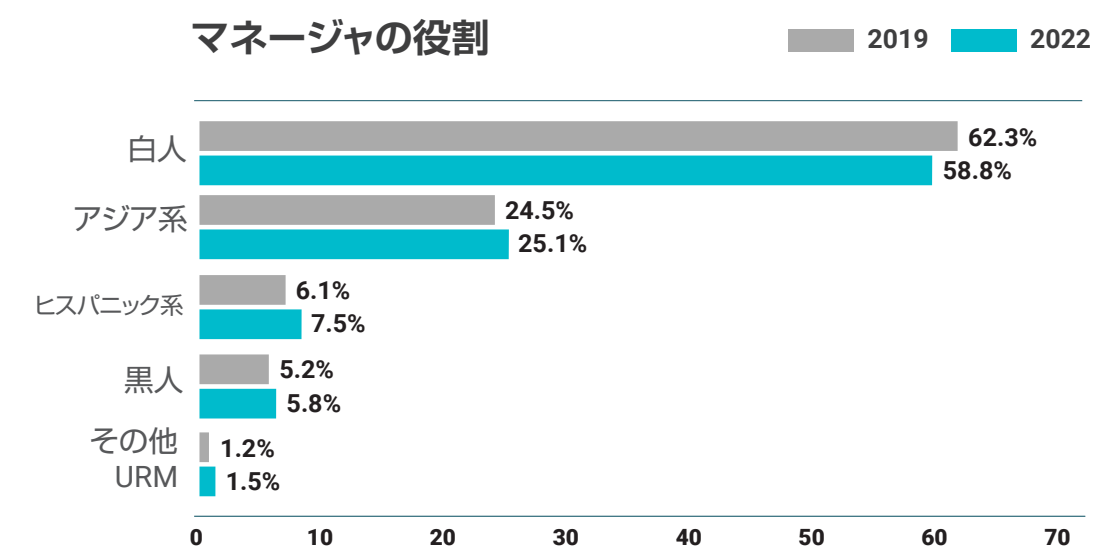
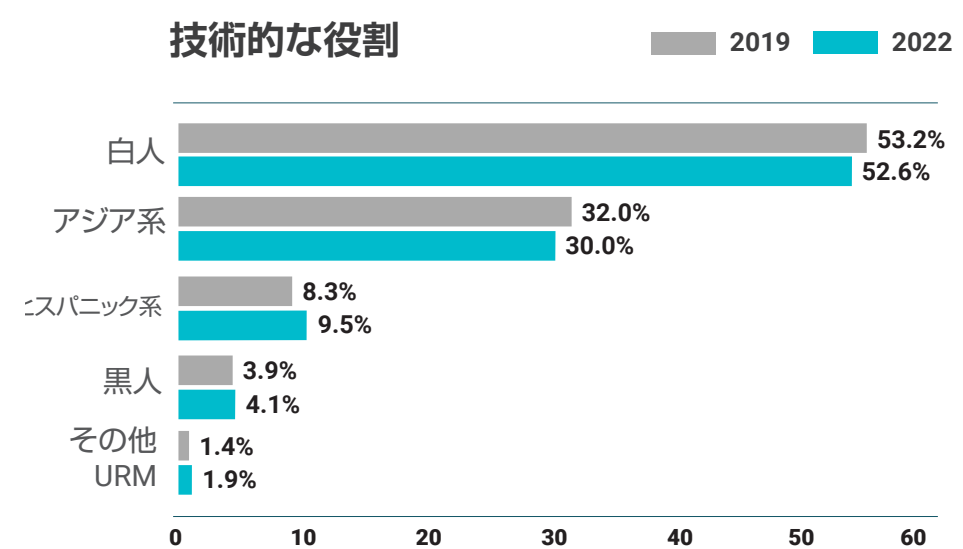
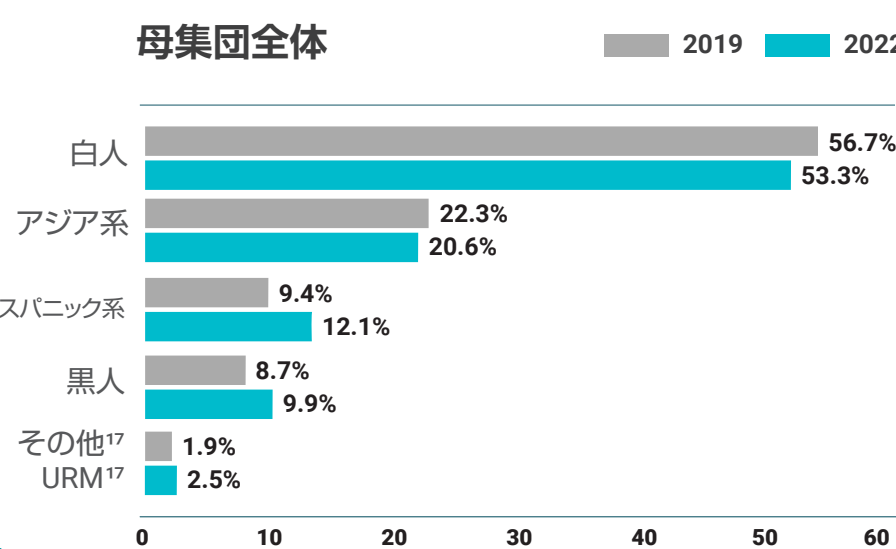
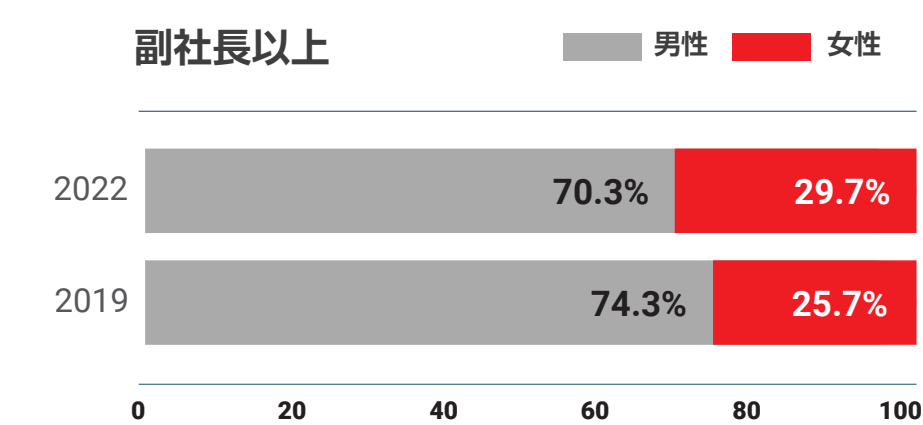
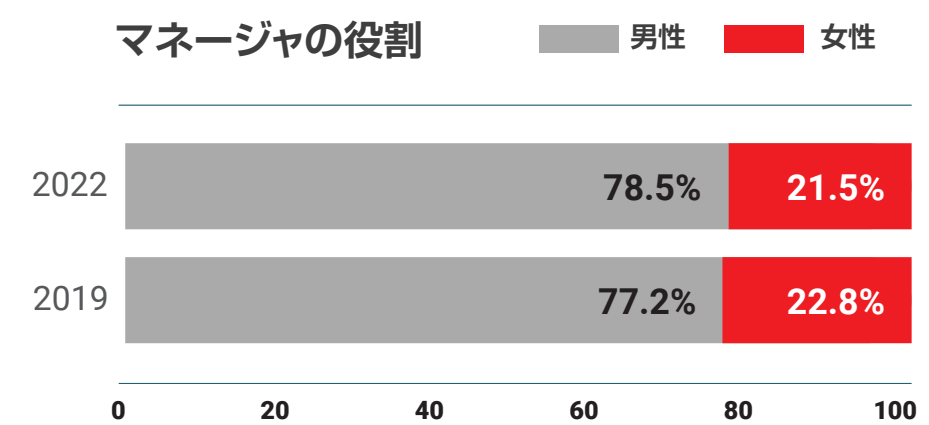
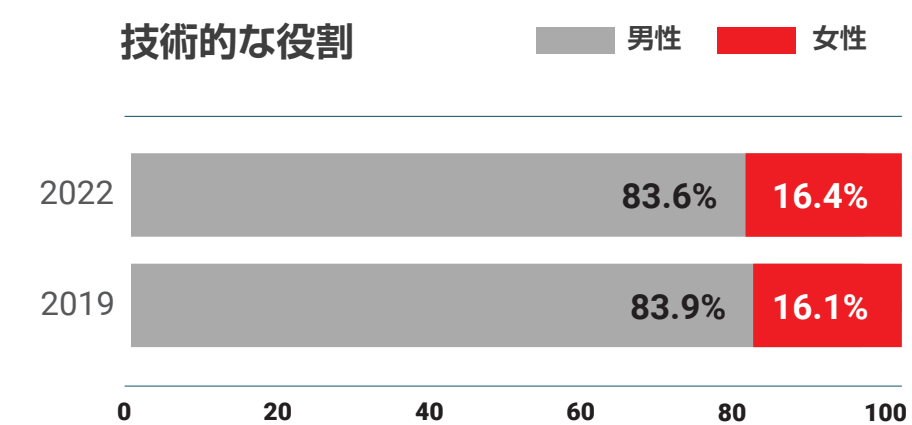
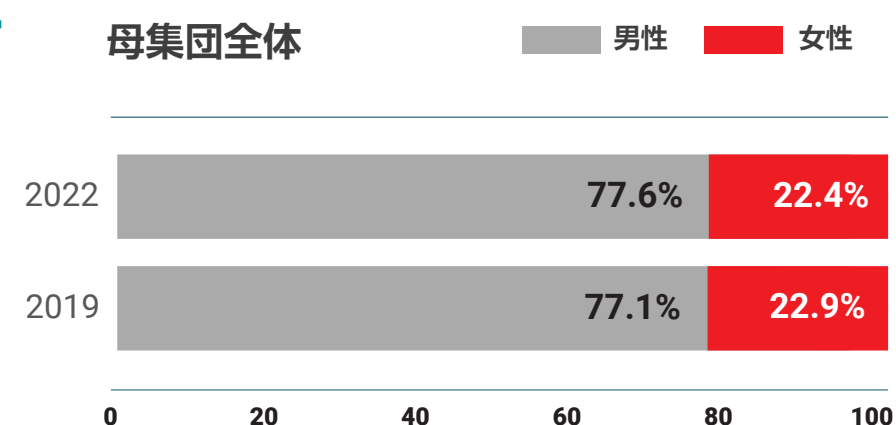
## TI が実施している行動

TI は性別、人種、民族という人口学的な分類に対する従業員の相対的な比率を定期的に評価し、どこにギャップが存在するのか、またあらゆる階層で多様性を目指して進捗を継続するために、どの分野をより重視する必要があるのか理解できるようにしています。女性および不利な環境にあるマイノリティ<sup>15</sup> (少数派) が、男性や非少数派と同じレベルで工学専攻やキャリアに反映されていないという事実が明らかとなっています。この理由で、TI は高校や大学や非営利団体との間で工学関連の連携を拡大することを重視しています。

ワールドワイド



米国



<sup>15</sup> TI の定義する「不利な環境にあるマイノリティ」(URM: underrepresented minorities) は、ネイティブ ハワイアンやその他太平洋諸島の出身者、ネイティブ アメリカン (アメリカン インディアンやインディオ) またはアラスカ ネイティブ (エスキモーやイヌイト)、あるいは複数の民族に属している人を指しています。合計が 100% に達していない場合、ここで未開示のデータがわずかに残っている可能性があります。



# 従業員リソース グループ

TI の従業員リソース グループ (ERG) が実現するコミュニティは、開かれた対話や教育、ボランティア、福利厚生、専門性の人材開発、業務に関与する機会を通じて、帰属意識を高めることに寄与します。

TI 従業員が主導する各 ERG には目標と目的がありますが、それらは会社の価値基準と会社の目標との整合性を維持し、会社の方針を支持するとともに、少なくとも 1 人の TI 役員からの支援を受けます。

2022 年に、ERG は多様性と包摂性に関する TI の戦略を、キャリア、会社、社内文化、コミュニティの 4 つの分野で推進しました。ERG は、世界各地の TI 従業員が参加するプログラム、パネル、イベントをいくつも主催しました。次に例を示します。

- 女性従業員ネットワーク (Women's Employee Network) は、女性成長サミット (Women Growth Summit) や、インドでのテクニカル ラダー (技術指導者) 座談会など、さまざまなイベントを開催しました。これらは、キャリア開発に注目し、あらゆる階層の女性の準備開始、支援、メンター活動、人材開発を推進しました。
- インド人従業員ネットワーク (Indian Employee Network) は、TI 従業員の生活の質と福利厚生に注目するセッションを組織しました。パンデミックの間中も多数のイベントを通じて、メンバーは支援を受け、会員は、保護者向けのリソース、健康を促進させるための新しい瞑想と呼吸法などを習得しました。
- キリスト教、イスラム教、ユダヤ教の従業員ネットワーク (Christian, Muslim and Jewish Employee Networks) は、信仰に基づいた共同イベントを開催し、TI 全体からさまざまなメンバーが集って、文化や宗教間の類似点について学びました。
- 黒人従業員ネットワーク (Black Employee Network: BEN) は、黒人の TI 従業員と彼らのキャリアをサポートし、現状の課題について話し合い、ネットワーキング コミュニティを構築するために、「Conversations with BEN」シリーズなどのプログラムを主催しました。

TI が多様性と包摂性を擁護する方法の詳細については、[TI.com](#) と、GRI Index(インデックス)の [多様性と機会均等 \(Diversity and Equal Opportunity\)](#) をご覧ください。

## TI ダイバーシティ・ネットワーク

[TI Diversity Network](#) (TI ダイバーシティ・ネットワーク:TIDN) は、30 年以上にわたり、従業員が主導する 15 のリソース・グループ (ERG) を通じて、従業員の教育と従業員にとって重要なトピックの向上を支援してきました。これらの ERG には、数千人のメンバーが所属しています。どのネットワークもすべてのTierIに開かれており、当社では従業員がネットワークに参加して関わりを持つことを推奨しています。



女性従業員ネットワーク (Women's Employee Network) は、女性史月間 (Women's History Month) の期間中、オープンな対話、能力開発、意識向上に関心を持つあらゆる TI 従業員のためにプログラムを主催しました。



# 採用

優秀な人材を採用し、雇用を継続することが、TI の成長と発展を左右します。TI は革新と成長を推進するために、多様な経験と背景を持つ従業員を雇用する目的で、多面的なアプローチを採用しています。

## TI が実施している行動

TI は就職フェア、説明会、ネットワークおよびキャリア準備イベント、さまざまな学生団体とのパートナーシップを通じて、TIのインターンシップへの参加や就職を工学と経営を専攻するトップクラスの学生に積極的に働きかけます。TI は複数のコミュニティ カレッジや高校と緊密に連携し、現在および将来の TI の製造拠点に向けて、技術者やメンテナンス整備士の採用と育成を行っています。

候補者は、次のような理由で TI を選択しています。

- 刺激的で影響力のある仕事。
- 世界有数の優れた技術者たちと共に働く機会。
- 従業員の生活向上に役立つ、競争力のある給与と福利厚生パッケージ。
- 従業員が自分で自分のキャリアパスを選択していると感じられるキャリア開発の機会。
- すべての従業員が自分らしく働き、最善を尽くすことができる包括的で多様性のある文化。
- フレキシブルな勤務オプションは、TI 従業員とその家族が個人的な生活を最大限活用するのに役立っています。

TI は、業界をリードする団体を通じて多様な人材のパイプラインを拡大することを重視しています。次に例を示します。

- TI は、大学とのパートナーシップ、社内の女性 ERG (従業員リソース グループ)、さらに SWE (Society of Women Engineers:全米女性技術者団体) などの業界団体を通じて、女性エンジニアや女性ビジネス リーダーとの連携を継続的に拡大しています。
- TI は、米国の各大学や 2 年制の技術教育機関にある退役軍人サービス団体、軍事基地、RecruitMilitary などの組織を通じて、スキルのある退役軍人を雇用しています。

TI が人材採用を管理する方法の詳細については、GRI Index(インデックス)の [401-1 インジケータ \(指標\) と 労使関係 \(Labor/Management Relations\)](#) セクションをご覧ください。



TIの従業員は、TI でエンジニアリング職に就くインターンと新規卒業者の発掘のために、プレーリー ビュー A&M (Prairie View A&M) 大学が主催したイベントで、人材選抜の担当を務めました。毎年 100 人以上の TI 従業員が米国全体でキャンパスを訪問し、大学生と面談していますが、彼らはその一員です。



# 人材開発

TI は、従業員が自らのキャリアの方向性を描くために必要なツールとリソースを提供することを重視しています。TI は、TI 従業員が個人の目標を設定し、個人の能力開発計画を策定した後、成功に必要なスキルを特定して身に付けることができるように、従業員を支援します。

## TI が実施している行動

TI はすべての従業員に、1 年間に少なくとも 3 回はマネージャと面談して能力開発と実績について話し合い、マネージャからのフィードバックを受け取り、進捗状況を文書化し、必要な改善点を決定することを奨励しています。

加えて、TI はラーニングと能力開発の公式な機会を、あらゆる階層にいる新規採用と既存の従業員に提供し、継続的に進化できるようにしています。従業員はいつでも、雇用とラーニングに関する社内のシステムにアクセスし、職業経験の探索や能力開発パスの図式化、または必須のトレーニング・モジュールや他のラーニング・モジュールを修了することができます。また TI は、インターンシップから退職まで、専門職として成長を続けることができるように、ラーニングの機会をカスタマイズしています。

## インターン

TI のインターンシップは、参加者各自の教育を生かして、関心のあるプロジェクトで重視される慣行を身に付ける機会を提供します。TI のインターンは初日から、実際に影響を及ぼす可能性のある、実践的で有意義な業務の割り当てを受けます。

TI のインターンシップ プログラムは、主なリーダーに接し、社内のあらゆる階層に位置する TI 従業員とのネットワーク構築や学習を進める機会を提供します。

## 早期の職業経験

新卒者または卒業見込み者は、以下のイベントに参加できます。

- 1 年間にわたる **Make an Impact**は、ケーススタディを活用して仕事のパフォーマンスを向上させ、キャリアの成長を促進するプログラムです。グループでのプロジェクト進行と評価、さらにツール、プロセス、基本的なスキルに関する集中的なトレーニングを提供する短期集中講座も含まれます。

- グローバル・ローテーション・プログラムは、新卒者が自らの意識を学生からプロフェッショナルに切り替え、さまざまな役割で経験を積むのに役立ちます。
- Early career pivotal learning role (ECPLR:早期キャリア・ピボット・ラーニング・ロール)** プログラムは、「ピボット」つまり特定の中心事項を設けているのが特長です。推薦された従業員は、TI の多様な分野のリーダー、技術エキスパート、スタッフと緊密に連携して、新しい役割またはスキル・セットに取り組みます。2014 年以來、TI はこのプログラムへの参加者のうち 26% を管理職に昇進しました。

## マネージメント

TI は以下の活動を実施し、TI 従業員が管理職として成功できるように支援しています。

- 個別の貢献者（一般職）からマネージャ、さらに複数のマネージャを管轄する管理職へ移行します。
- 自らのリーダーシップが及ぼす影響、主なステークホルダーとの関係を構築する方法、戦略を策定して適切に伝達する方法を理解します。
- キャリアをより幅広く、より深く、より高く向上させるために、技術スキルと行動スキルを構築します。マネージャのうち約 60% が TI でキャリアをスタートさせました。幹部レベル リーダーの99% は社内から昇進しました。
- 無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）の認識と低減。

## テクニカル・リーダー



TI は能力開発の手段をカスタマイズし、自社のエンジニアが技術的能力の高度化、ベスト プラクティスの共有、さらにリーダーシップ、コミュニケーション、影響力など、ソフト スキル、つまり対人分野の能力開発を推進できるように支援しています。テクニカル リーダーは、TI の名誉ある **Tech Ladder** (テクニカル ラダー) という技術指導者への昇進を目指すこともできます。**Tech Ladder** は、TI のテクニカル リーダーのうち 24% を占めています。

TI の ADTL (Advancing Diverse Technical Leadership:多様性推進技術リー

ダーシップ) プログラムは、**Technical Ladder** (テクニカル ラダー) の多様な人材プールに対して、コーチング、公式トレーニング、座談会、関係構築の機会を提供し、雇用の継続、能力開発、技術リーダーシップの役割への昇進を実現できるように、過小評価されているマイノリティと女性を支援します。

さらに、ADTL は 2016 年以來、雇用の継続を目的に、その参加者のかなりの部分を支援してきました。TI の **Technical Ladder** (テクニカル ラダー) に選抜された参加者の数は増加しており、60% 近くに達しています。



	2022 年の TI 従業員あたりの平均ラーニング時間 <sup>16</sup>	<b>50.7</b>
	2022 年に修了したコースの数	<b>127万</b>

TI が従業員の能力開発を管理する方法の詳細については、GRI インデックスの [トレーニングと教育 \(Training and Education\)](#)、[雇用 \(Employment\)](#)、[労使関係 \(Labor/Management Relations\)](#) の各セクションをご覧ください。

<sup>16</sup>The increase in training hours is the result of our updated tracking system that more accurately captures on-the-job training that occurs in our factories worldwide.



# 給与と福利厚生

TIは、将来の成長を牽引する最も才能ある従業員を会社に定着させる競争力のある報酬と福利厚生を提示しています。

TI の報酬理念は、業績に対する報酬に基づいています。TI の成功に対する従業員の貢献と会社の業績の両方を考慮して、個人の報酬を決定します。

## プロフィット シェアリング制度 (利益配当)

TI の報酬戦略に関する独自の戦略の 1 つは、会社の財務的成功に寄与した TI 従業員全員に報酬を支給するグローバル プロフィット シェアリング制度 (利益配当) プログラムです。TI は各年の収益性に基づき、対象の収入に対する一定の割合で報奨額を決定します。

TI のプロフィット シェアリング制度 (利益配当) に関する計算式は営業利益に基づいており、TI の営業利益が 10% 以上に達した場合に適用されます。営業利益が 35% に達した場合、最大支払い比率は 20% になります。すべての TI 従業員が、対象の収入に対する同じ支給割合を基本として報奨金を受け取ります。最近 7 年間、TI のプロフィット シェアリング制度 (利益配当)は、対象となるすべての従業員に最大限の報奨金である 20% に相当するボーナスを支払いました。

## 人材の雇用継続

組織に関する知識のある従業員、技術や会社運営に関する専門知識のある従業員の雇用を定着させることは、TI の最優先事項です。TI は雇用の定着に関する複数のアプローチを採用し、以下の提供を行っています。

- 競争力ある給与と福利厚生
- カスタマイズされたキャリア開発計画、メンター・プログラム、幹部との交流を通じた専門職としての成長を支援
- TI の各種 ERG (従業員リソース・グループ) を通じた同僚とのつながり
- スキルを向上させるための多くの機会

## 公正な報酬支払いに対する会社の取り組み

TI は従業員に対して公正かつ平等に報酬を支払うために、長期間にわたる慣行を採用しています。TI は、競争力のある公平な報酬ポリシーを維持しています。TI は社内の報酬支払いシステムに、詳細で定期的な分析機能を含めたチェック / バランス機能を作り込み、確実にその機能を実行しています。

2022 年に TI はサード パーティーによる、職種、職位、国や地域を考慮した性別と人種の賃金評価 (基本給、賞与、株を含む) を調査する個別の報酬分析を実施しました。本分析により、米国内と世界各地で、女性に支払われている賃金の額が男性と同等であることが判明しました。米国では TI はマイノリティに非少数派と同額を支払っています。グローバルでは、男性が 1.000 ドルを得るごとに、女性は 1.015 ドルを得ています。米国では、男性が 1.000 ドルを得るごとに女性は 1.002 ドルを得ています。非少数派が 1.000 ドルを得るごとにマイノリティは 1.002 ドルを得ています。

## 競争力を磨く上での利点

TI の福利厚生プログラムは、地元の労働市場の慣行によって、国や地域ごとに異なります。これらのプログラムに該当するのは、以下のとおりです。医療、歯科、視力に関する制度。短期または長期の休暇制度。地元の法令と規制に従った有給休暇と退職金制度。加えて、TI の拡大型福利厚生は職場の包摂性と平等を支援するほか、TI 従業員とその家族固有のニーズに対応できる包摂的な福利厚生を支給を通じて、TI は互いを尊重する環境の構築に取り組んでいます。

TI は、従業員の福利厚生や、職場の満足度と生産性に悪影響を及ぼす可能性のある日常的なストレス要因を軽減するために、さまざまなプログラムを提供し、それらを最大限活用することを従業員に奨励しています。

従業員補助プログラム (EAP) と、以下のようなオンデマンド リソース。

- 育児と高齢者介護向けのリソースと紹介。
- 福利厚生を支援する、信頼できるカウンセリング セッションとツール。
- 休暇の計画、予約などの個人的な取引のためのコンシェルジュ・サービス

競争力の維持とサービスの改善を目的として、ワーク・ライフ・プログラムの選択肢をいっそう向上させるために、従業員が参加する形式でプログラムの監査を毎年実施しています。

## 出産・育児休暇

TI では、子育てへの移行 (出産準備期間) を含め、生活のあらゆる面で従業員をサポートしています。TI では新しく親になったすべての従業員が育児休暇を取得できます。従業員は新生児との絆を深め、生活の新たな需要に対応する時間を確保することができます。

TI は、家族に優しい職場であることを誇りに思います。今後も従業員が子育てをする過程を通じて、従業員の継続的な支援に取り組みます。TI は米国で育児休暇の福利厚生を給付し、従業員が経済面や雇用の保証について心配することなく、有給休暇を取得できるようにしています。この福利厚生は、性別、性的志向、家族構成に関係なく、すべての従業員に適用されます。

2022 年、TIは社内文化、雰囲気、優れた従業員が評価され、Glassdoor 社の Best Places to Work (最高の職場) ランキングに選定されました。

TI が多様性と包摂性を管理する方法の詳細については、GRI インデックスの [環境 \(Employment\)](#)、[経済的パフォーマンス \(Economic Performance\)](#)、[多様性と機会均等 \(Diversity and Equal Opportunity\)](#) の各セクションをご覧ください。



# 安全と健康

## 安全な職場環境を維持するための TI の取り組み

TI は、職場でのけがや病気の予防に役立てるため、安全で健康的な実践と管理に投資し、従業員の日常生活に取り入れています。

TI の安全目標には、休業、制限、または作業転換 (days away, restricted or job transfer/DART) の事例率が 0.08 以下、および記録可能な事例率が 0.20 以下が含まれています。

## TI が実施している行動

### 安全

TIの安全重視の社内文化には、従業員に安全で健康的な労働環境を提供するための安全要件とベスト プラクティスを世界中で導入することが含まれています。

安全に関する業界最高水準の記録を維持できるように、次のことを実施しています。

- 安全な職場環境の創出と運用
- 適切な安全手順と人間工学に基づいたプロトコルと統制を維持。
- 社内基準の策定と維持。多くの場合、この基準は法規制の要件を上回っています。
- 本質的に安全な建物の設計および建築、機器のリスクへの対処
- 関連する必須安全トレーニング
- 個人保護具 (PPE) の支給
- TI の機器を検査
- 社内プロセスの継続的な監査と、コンプライアンスと実績の評価。

## 健康

健康リスクにさらされる可能性を低減するために、TI は厳格な産業用衛生基準を適用しています。これらの基準は、有害化学物質とその他の原材料の安全な使用と適切な保管に必要な最小限の要件を確立します。これらの基準に該当するのは、危険性に関する通知とトレーニング、化学物質へのラベル貼付、危険廃棄物の管理です。

加えて、有害な可能性のある物質の使用の排除または制限、換気管理装置と隔離管理装置の設置、衛生と個人の全般的な評価の実施に取り組んでいます。従業員の健康管理のためにTIが提供するリソースは、政府による利用可能な医療給付の範囲に応じて、国や地域によって異なります。

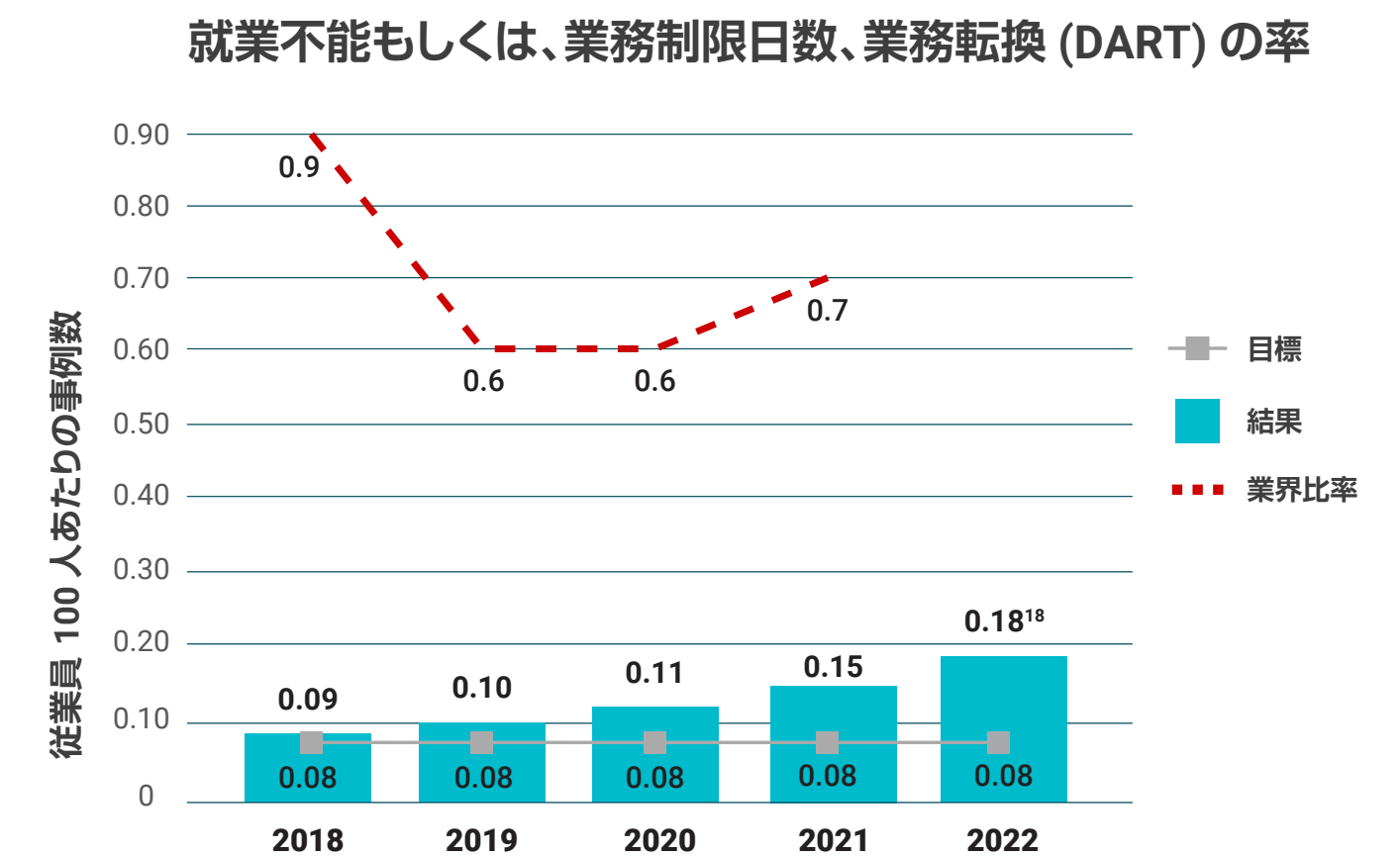
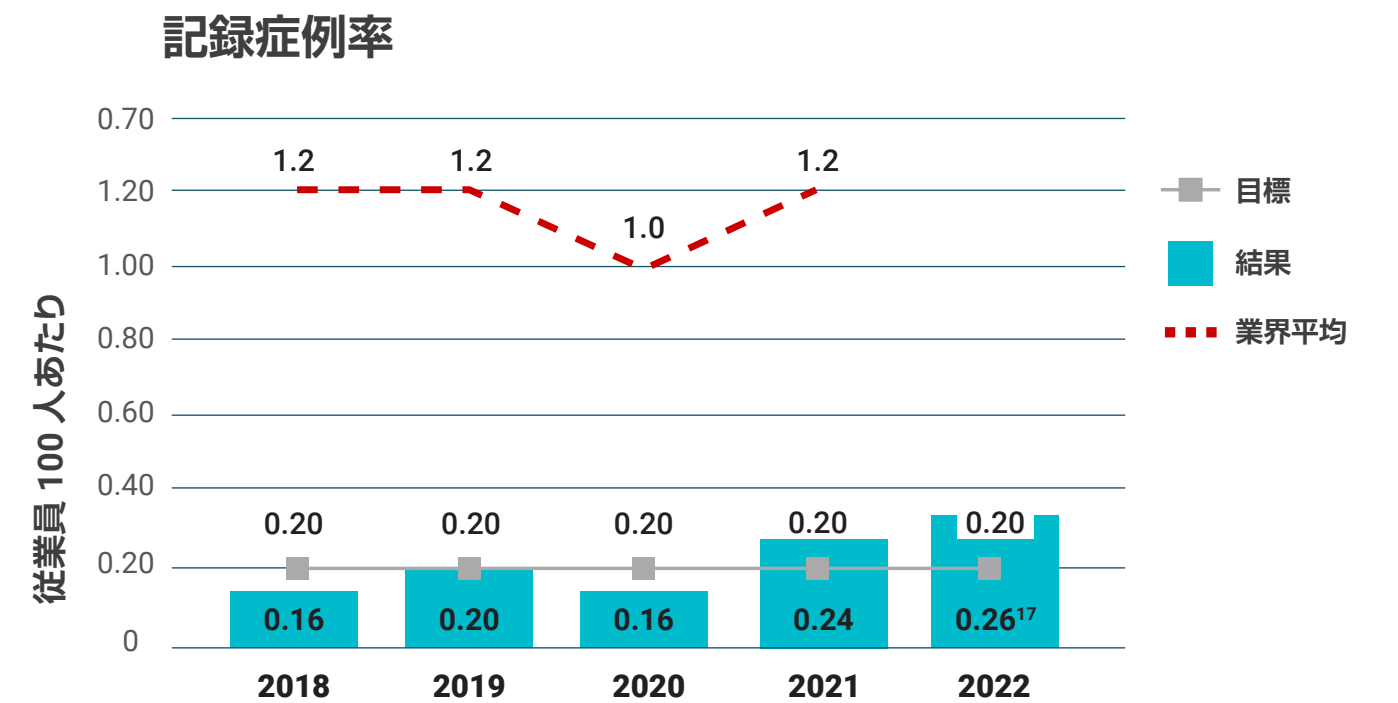
米国の場合、TI が提供するリソースに該当するのは、無料のオンサイトのインフルエンザ・ワクチン予防接種、予防策となるスクリーニング・プログラム、フィットネスと栄養のプログラム、従業員支援プログラム、カウンセリング、教育サービスなどです。TI の健康管理サービスは、医療上の重大な出来事を経験した TI 従業員、長期にわたって休職していた TI 従業員、複数の診断施設、治療施設、医療機関を利用している TI 従業員を対象として、健康状態を改善できるように指導と監督を行います。

TI の福利厚生支援サービスは、医療処置の費用見積もりや、手ごろで質の高い医療機関の検索を支援します。

## 実績

米国労働安全衛生局 (OSHA) と米国の労働統計局によると、TI の DART と要記録事例率は、米国半導体業界の中で引き続き最小クラスに位置しています。

2022 年、TI の DART レートは 0.18 でした。それに対し、2021 年の業界平均は 0.7 でした (2022 年の業界平均は現時点ではまだ入手できません)。



健康と安全に関する詳細なデータは、[業績データ付属書 \(Performance Data Appendix\)](#) をご覧ください。詳細については、GRI インデックスの[労働安全衛生 \(Occupational Health and Safety\) セクション](#)をご覧ください。

<sup>17</sup> 2022 年の増加は、COVID-19 の感染によるものです。このウイルスを除外した事例率は 0.18 です。  
<sup>18</sup> 2022 年の増加は、COVID-19 の感染によるものです。このウイルスを除外した DART レートは 0.10 です。



---

# 寄付とボランティア活動



# 寄付

TI の 3 つの目標のうちの 1 つは、社員であることを誇れる会社、および地域の隣人として望ましい会社であることです。数十年にわたって、TI は事業を営む地域のコミュニティをより強力なものにするために働いてきました。

寄付とボランティア活動に関する TI のプログラム

1. 世界各地の TI 従業員に、寄付のキャンペーンとボランティア・プログラムへの参加を奨励します。
2. TI が事業を営む地域にある非営利団体への寄与を通じて、世界各地のコミュニティを強化します。
3. 最大の効果を達成できるように、財政的投資と従業員の参加を組み合わせます。

TI は生活の質を向上させ、世界各地にある TI の拠点が位置するコミュニティを強化することを目指しています。TI と TI Foundation<sup>19</sup> は複数の地域で、十分に検討され、適切に測定を行う投資に携わっています。

## 教育

TI は慈善活動の最大の分野を、教育の改善を対象にしています。2010 年以来、TI Foundation (TI 財団) は特に STEM (科学、技術、工学、数学) 教育に 7,300 万ドル以上を投資してきました。その目的は、数学と科学の学習に伴う成果を改善すること、および歴史的に経済的障壁と教育的障壁に直面してきた、黒人生徒とラティーノ (ラテンアメリカ系) と女性の生徒の学習機会を向上させることでした。TI は世界各地で、TI の拠点の位置するコミュニティにある教育リソースへのアクセスを改善することを目標にしています。

## 芸術

TI は、支援活動やプログラムの多様性を強調する優れた団体に対する TI Foundation の複数年にわたる助成金や、規模と影響力を拡大する多様なグループに対する革新的な助成金を通じて、米国テキサス州ダラスを文化的に包摂的で活気のあるものにする芸術の継続を支援しています。

## 人種平等

TI は、すべての人々が平等に扱われ、TI が拠点を置くコミュニティで人々がより安全に暮らし、働くことができるよう、責任を強化する警察の訓練と慣行に重点を置き、人種平等という概念を妨げるさまざまな障壁を打破するための各種サポート プログラムを支援しています。

## 福祉

人種や経済力の点で疎外された人々の間で重視されるニーズに対応できるプログラムとサービスを強化することを目指しています。また、TI の拠点が位置するコミュニティや、自然災害または人災の被害者となった従業員向けに、緊急資金を確保しています。

## マッチング ギフト

TI の米国の従業員による寄付の効果を倍増させるために、TI Foundation (TI 財団) は現役の従業員および退職者が適格な非営利団体に寄付した金額に対し、マッチング ギフト (従業員の寄付金に対して同額を寄付する) を実施し、1 年間で最大 3 万ドルを支出しています。2022 年に、TI Foundation は、1,100 万ドル以上のマッチング ギフトを提供しました。

### 2010 年以降の慈善活動の影響

TI と TI Foundation によるマッチング・ギフト、寄付、物品の寄付	4 億 4,200 万ドル
TI の寛大な従業員と退職者による寄付	1 億 1400 万ドル
従業員と退職者による、ボランティア活動の時間数	190 万



世界中の TI 従業員は、会社創設者が TI に定めた慈善精神を具体化しています。それら従業員の寛大さは、特に多くの人が大きな助けを必要としているときに、謙虚でありながら元気付けるものとなり、その行動を目にすることで、私たちは TI の従業員であることを誇りに思うもう 1 つの理由を得ることができます。

**ANDY SMITH、寄付とボランティア活動担当取締役**

<sup>19</sup> TI Foundation は、TI の 501 (c) (3) 慈善団体です。この財団は主に、テキサス州北部と米国内で寄付を行っています。



## 2022 年の寄付活動

### 福祉

テキサス州北部にある TI 本社は、米国の中でも非常に裕福な地域のひとつですが、インフレの影響で、住民の 8 人に 1 人が飢餓の問題に直面しています。これに応じて、TI Foundation はテキサス北部フードバンク (North Texas Food Bank) に 30 万ドルを寄付し、約 100 万ドルの食糧供給を支援しました。この寄付は、TIが大規模な事業を展開しているダラス、コリン、グレーソン (Dallas, Collin, Grayson) を含むテキサス州北部に食糧を供給するというフードバンクの使命をサポートしました。

他の顕著な支援として、TI の従業員と、マッチングギフトを含めた TI Foundation の寄付である 23 万ドルを挙げることができます。これらは、米国赤十字 (American Red Cross) とその国際的な協力者がウクライナで人道的救援を行うのに役立ちました。TI はほかに、中国の南西部である四川省 (Sichuan) で発生したマグニチュード 6.8 の地震に対応し、中国若年層能力開発財団 (China Youth Development Foundation) に 15 万ドルを寄付しました。

### 人種平等

TI Foundation は、テキサス北部で人種の格差を解消することを目的とする複数のプログラムのために、プロジェクト ユニティ (Project Unity) に 2 年間で合計 25 万ドルを寄付しました。これらのプログラムは、地域の法執行機関、青少年、地域社会の間に対話と信頼を築き上げることを重視しています。プロジェクト ユニティ (Project Unity) への寄付は、人種平等における障壁を取り除こうとする複数のプログラムを支援する取り組みの一環として、TI Foundation による 3 回目の寄付となります。

### 芸術

TI Foundation は、テキサス州ダラスにある複数の芸術団体に合計 130 万ドルを寄付しました。ダラスの文化的包摂性を形作る芸術を持続させようという、それらの団体の目的を支援するためです。寄付の受領者は、新しい実験的な芸術団体から、観客の多様性を反映したさまざまな文化的体験を提示する長期的なパートナーまで、多岐にわたりました。

### 教育

TI と TI Foundation は、従業員や退職者が行った寄付に対応するマッチングギフトも含む 1,400 万ドルの教育助成金を寄付しました。教育の全体像が進化を続け、考え方の食い違いが広がっている現状で、TI Foundation は 470 万ドルの寄付を通じ、ダラス郡南部にある複数の公立学区を 10 年間にわたって継続的に支援してきました。

TI は 20 年にわたって米国数学科学構想 (National Math and Science Initiative) の大学準備プログラム (College Readiness Program) を支援してきました。これは、ダラス郡南部にある歴史的に見ても低所得の 4 つの公立学区と、ユタ州でナバホ (Navajo) 族 (ネイティブ アメリカンの 1 部族) の学生を教育する 1 つの学区を支援するものです。



### 学生や児童の社会的健康と感情的健康への投資

新たな100万ドルの寄付は、TIが2021年にダラス都市圏のUnited Way of Metropolitan Dallas とEducate Texasと協力して始めた、社会的および感情的健康に取り組む「癒し、遊び、学び」(Heal, Play, Learn) プログラムの取り組みに基づいて構築されたもので、以下を目的としています。社会的健康と感情的健康。身体的活動。ダラス郡南部にあるシーダーヒルとデント (Cedar Hill and DeSoto) の各公立学区の生徒、教員、家族を対象として芸術活動。

2022 年の寄付によって、これら 2 つの学区は 2021 年のプログラムを継続することができました。合計 2,500 人の生徒、教員、家族がこのプログラムに参加しました。寄付の結果、同じくダラス郡南部にあるランカスター独立学区 (Lancaster Independent School District) にもこのプログラムを拡大することができました。

STEM 投資特化型ではありませんが、「癒し、遊び、学び」(Heal, Play, Learn) のアクティブ ラーニング要素は、テキサス州の学年レベルの数学や科学の要件との整合性があります。これらの要素は、批評的考察、問題解決、創造性、共同作業などのSTEM コンセプトのソフト スキルにも重点を置いています。これらの学区は、教員と生徒の意欲が向上し、このプログラムに参加した生徒は参加しなかった生徒に比べると、登録率が 5% 高くなったと報告されました。



# ボランティア活動

TI の従業員には、自らが活動するコミュニティに貢献し、生活の質を向上させるという熱意があります。

TI には、コミュニティに関与するグローバルなチームが 20 以上あるほか、市民気質を持つ他の従業員は地域のニーズを解決するために熱心に働いています。これらのグローバルなチームはお互いに協力し合い、生徒の指導、ロボット コンテストの指導、フードバンクや住居がない人向けシェルター関連のボランティア活動、近隣の清掃、植樹、およびその他の方法で貴重な時間を地域社会に奉仕するために提供しています。

## 2022 年の貢献

COVID-19 のパンデミックが終了した後、TI 従業員はボランティア活動プログラムに協力して参加しました。従業員と退職者が寄付した時間は 25 万 7,000 時間に達しました。金額に換算して 770 万ドル<sup>20</sup> であり、ボランティア活動に費やしたこの時間数は、2021 年の 2 倍に達しています。米国内で、TI Foundation は従業員のボランティア活動時間に対し、1 人あたり年額 1,000 ドルを上限として、経済的価値に見合った金額をマッチング ギフトの形で支出しています。その結果、各従業員の好む活動のために、合計約 40 万ドルの追加支援を実施しました。次に例を示します。

- 米国テキサス州ダラス、台湾、日本、米国メイン州の TI 従業員は、飢餓に対処するために、フードバンクへの寄付や他の活動に参加しました。
- 米国カリフォルニア州サンタクララとテキサス州ダラスの従業員ネットワークは、貧困状態の子供たちのために自転車の組み立てを手伝いました。
- 米国ユタ州リーハイの製造拠点にいる TI 従業員は、電子廃棄物リサイクル (e-waste recycling) プログラムを通じて、再生したコンピュータを地元の生徒に配布しました。
- 中国、マレーシア、フィリピンのコミュニティ参加チームは、子供たちや学校のためのボランティア活動に重視し、壁画を描き、低所得世帯に食料品を寄付し、数学や科学を学ぶことの楽しさを伝えました。

TI がコミュニティ シチズンシップシチズンシップを管理する方法の詳細については、GRI インデックスの [地域コミュニティ \(Local Communities\)](#) () と、[教育への関与 \(Education Engagement\)](#) をご覧ください。



## コミュニティへの影響を通じた生きた遺産

Nathan は、TI の米国ユタ州リーハイにある製造拠点でウェット プロセスの責任者を務めています。彼は 2022 年の TI Founders Community Impact Award を受賞しました。これは自身が住み、働いているコミュニティに顕著な貢献をした TI 従業員に対し会社が授与する賞です。隔年で開催されるこの賞は、当社の創業と彼らの長期間にわたる慈善活動とボランティア活動を称えるものです。

Nathan は、米国の多くの大都市と同様にホームレス人口の増加に直面しているユタ州ソルトレイクシティ (Salt Lake City) 地域で、避難所がなく飢えた人々のために働き、献身的に取り組みました。彼は 自らの選択で、TI から受け取った 1 万ドルの賞金を非営利団体に寄付しました。他の 5 人のファイナリストも、受け取った 2,500 ドルの賞金を非営利団体に寄付しました。

「私がこの特定のコミュニティに奉仕しているのは、自分の家を失うかもしれない状態に陥ったことがあり、以前にフードスタンプ (米国で失業者宛に渡される食糧引換券) を利用したことがあったからです」と、Nathan は語ります。「私は、安全な家と、次の食事が支給される場所を知っている、という事実が、人生に非常に大きな安心をもたらすことを理解しています。私は、すべての人に固有の価値があることを信じています。また、非常に簡単に、住居がない状態に陥ること、そこから復帰するのが非常に困難なことも知っています」。

[詳細をご覧ください。](#)

<sup>20</sup> 独立セクター (Independent Sector) は、2022 年のボランティア活動に 1 時間あたり 29.95 ドルの価値を付けました。



## コミュニティの成長を支援するためにユナイテッド ウェイへ 960 万ドルの寄付金が調達されました。

2022 年に、従業員と退職者による寄付、企業からの後援、TI Foundation の寄付とマッチング ギフトを通じてユナイテッド ウェイ (United Way) の年間キャンペーンに寄付した金額は、合計 960 万ドルに上りました。TI は以下の 3 つの分野で実施された複数の先進的なプログラムを支援しています。これらは、機会を形作るビルディング ブロック (構成要素) になります。

- 教育 (Education) は、可能性の扉を開き、視野を広げ、子供たちを成功へと導きます。
- 収入 (Income) は、経済的な安定性をもたらし、安定し、成功した人生を送るための重要な要素です。
- 健康 (Health) は、子供の学習能力から大人の収入に至るまで、あらゆることに影響を及ぼします。

キャンペーン中のボランティア活動参加者は多く、ユナイテッド ウェイのパートナー団体を支援するために、米国の拠点全体で 50 以上の活動を支援するために 1,700 時間が費やされました。

「TI 従業員の寛大さと、彼らの寄付やボランティアの精神にはいつも驚かされます」と、TI で寄付とボランティア活動の担当ディレクターであり、TI Foundation で執行役員を務める Andy Smith は語ります。「TI が参加したユナイテッド ウェイのキャンペーンは、より強力なコミュニティを構築するために私たちが団結して生き、貢献すれば、共有財産を向上させ、全ての人に持続的な変化をもたらすことができることを証明しました」。

TI とダラス都市部のユナイテッド ウェイ (United Way of Metropolitan Dallas) との歴史は、1960 年代前半にさかのぼります。TI の共同創設者である J. Erik Jonsson は、米国赤十字 (American Red Cross) とダラスのコミュニティ チェスト (Community Chest in Dallas) が当時ユナイテッド ファンド (United Fund) と呼ばれていた団体を創設しようとする活動の監督に協力しました。それ以来、TI、TI Foundation、TI 従業員は、ユナイテッド ウェイと緊密に連携して、より強力なコミュニティを構築してきました。





---

# Appendices



# Performance Data

[Giving and volunteerism](#)
[Environmental sustainability](#)
[Workplace](#)
[Responsible business practices](#)

## Giving and volunteerism

### Giving<sup>1</sup> (millions)

	2018	2019	2020	2021	2022
Total	\$49.08	\$52.46	\$54.57	\$64.95	\$52.57

<sup>1</sup> Includes corporate giving, TI Foundation giving, employee/retiree giving, in-kind donations, matching gifts, the value of volunteer hours and volunteer matching.

### Volunteerism

#### Volunteer hours (thousand hours)

	2018	2019	2020 <sup>2</sup>	2021 <sup>2</sup>	2022
Total hours	234.6	273.3	156.9	119.5	256.9

<sup>2</sup> Volunteer hours were down in 2020 and 2021 due to the global COVID-19 pandemic.

#### Value of volunteer hours (millions)

	2018	2019	2020 <sup>3</sup>	2021 <sup>3</sup>	2022 <sup>4</sup>
Value	\$5.9	\$7.4	\$4.5	\$3.6	\$7.7

<sup>3</sup> The value of volunteer hours was down in 2020 and 2021 due to the global COVID-19 pandemic.

<sup>4</sup> The [Independent Sector](#) valued a volunteer hour in 2022 at \$29.95.



# Performance Data

[Giving and volunteerism](#)
[Environmental sustainability](#)
[Workplace](#)
[Responsible business practices](#)

## Environmental sustainability

### Emissions

#### Total greenhouse gas (GHG) emissions (Million metric tons of CO<sub>2</sub> equivalent)

	Base year (2015)	2018	2019	2020	2021	2022
Scope 1 (direct)		1.13	0.97	0.94	1.04	1.11 <sup>6</sup>
Scope 2 (indirect)		1.12	1.10	1.01	1.04	1.06
Market-based		1.12	1.10	1.01	1.04	1.06
Location-based						1.38
<b>Total</b>	<b>2.83<sup>5</sup></b>	<b>2.25</b>	<b>2.07</b>	<b>1.95</b>	<b>2.08</b>	<b>2.17<sup>7</sup></b>

TI's unit production increased 25% from 2018 to 2022. These totals are market-based GHG emissions.

<sup>5</sup>TI is focused on the total reductions of scope 1 and scope 2 GHGs and our disclosure of the baseline reflects that approach. TI's 2015 GHG emissions baseline was adjusted in the 2021 Corporate Citizenship Report to reflect structural changes to our operations, including the divestiture of a wafer fabrication plant in Scotland and the acquisition of a 300-mm wafer fabrication plant in Utah. The 2015 baseline has been adjusted from 2,471,357 to 2,832,709 MTCO<sub>2</sub>e in line with the guidance provided by the WBCSD/WRI's The Greenhouse Gas Protocol: A Corporate Accounting and Reporting Standard.

<sup>6</sup>TI has not included fluorinated heat transfer fluids (FHTF) in previous Corporate Citizenship Reports due to the varying calculation methodologies and guidance. Under current World Semiconductor Council (WSC) reporting guidance, the association that tracks semiconductor emissions, there is no requirement to track and report FHTF. Recently introduced U.S. Environmental Protection Agency (EPA) rules for disclosure to the EPA included FHTF and we comply with this requirement. Recently, the WSC has aligned on all regions will moving to 2019 Intergovernmental Panel on Climate Change (IPCC) guidance, which includes FHTF. TI is considering the timing of a transition to the 2019 IPCC guidance and will include FHTF emissions upon adoption.

<sup>7</sup>ERM Certification and Verification Services (CVS) provided limited assurance verification of TI's GHG emissions for 2022.

#### Scope 1 GHG emissions by type (Metric tons of carbon dioxide equivalent (MTCO<sub>2</sub>e))

	2018	2019	2020	2021	2022
Carbon dioxide (CO <sub>2</sub> )	79,622	78,731	75,190	84,904	123,542
Methane (CH <sub>4</sub> )	46	46	44	39	67
Nitrous oxide (N <sub>2</sub> O)	24,438	23,440	28,452	31,557	37,592
Hydrofluorocarbons (HFCs)	39,982	36,552	37,532	44,633	45,949
Perfluorocarbons (PFCs)	830,018	669,757	622,526	665,457	734,338
Sulfur hexafluoride (SF <sub>6</sub> )	71,240	62,084	64,061	71,189	80,389
Nitrogen trifluoride (NF <sub>3</sub> )	113,839	94,853	110,701	142,671	90,157

TI's unit production increased 25% from 2018 to 2022.

#### Scope 2 market-based GHG emissions by type (Metric tons of carbon dioxide equivalent (MTCO<sub>2</sub>e))

	2018	2019	2020	2021	2022
Carbon dioxide (CO <sub>2</sub> )	1,122,336	1,102,843	1,012,985	1,041,346	1,055,620
Nitrous oxide (N <sub>2</sub> O)	1,679	1,673	1,386	1,294	1,345
Methane (CH <sub>4</sub> )	271	269	241	233	233

#### U.S. air emissions<sup>8</sup> (Metric tons)

	2018	2019	2020	2021	2022
Nitrogen oxide (NO <sub>x</sub> )	81.04	79.72	82.37	75.87	95.62
Volatile organic compounds (VOCs)	105.12	92.77	97.12	109.45	142.88

TI's unit production increased 25% from 2018 to 2022.

<sup>8</sup>TI does not include nitrous oxide (N<sub>2</sub>O) in its air emissions calculations because the company accounts for N<sub>2</sub>O in its GHG emissions data.

### Energy

#### Total energy use (TWh)

	2018	2019	2020	2021	2022 <sup>9</sup>
Energy use	3.02	2.99	2.97	3.19	3.75

TI's unit production increased 25% from 2018 to 2022.

<sup>9</sup>ERM CVS provided limited assurance verification of TI's energy use for 2022.

#### Energy use by type (MWh)

	2018	2019	2020	2021	2022
Natural gas	367,200	372,359	363,413	414,254	606,393
Fuel oil (No. 6)	3,750	3,644	4,356	4,132	3,457
Diesel	13,087	9,718	7,376	16,905	9,481
Propane	36,167	39,230	35,791	35,646	39,457
Gasoline	761	768	814	723	654
Jet fuel (kerosene)					7,788 <sup>10</sup>
<b>Total direct energy use</b>	<b>420,964</b>	<b>425,719</b>	<b>411,750</b>	<b>471,661</b>	<b>667,220</b>
Electricity	2,585,922	2,550,193	2,548,101	2,698,718	3,063,940
District heating	15,222	14,055	14,210	15,285	15,595
<b>Total indirect energy use</b>	<b>2,601,144</b>	<b>2,564,248</b>	<b>2,562,311</b>	<b>2,714,003</b>	<b>3,079,535</b>
<b>Total energy use</b>	<b>3,022,109</b>	<b>2,989,967</b>	<b>2,974,061</b>	<b>3,185,664</b>	<b>3,746,755</b>

<sup>10</sup>TI added jet fuel in 2022 as part of the third-party limited assurance assessment.

#### Renewable electricity (MWh)

	2018	2019	2020	2021	2022 <sup>11</sup>
Renewable electricity	386,854	357,547	446,559	507,528	526,322

<sup>11</sup>ERM CVS provided limited assurance verification of TI's renewable electricity use for 2022. While the North Texas project came online in December 2022, renewable energy generated in that month is not included in the total renewable energy number of 2022.

#### Renewable electricity as a percent of total electricity

	2018	2019	2020	2021	2022 <sup>12</sup>
% used	14.96%	14.02%	17.53%	18.81%	17.18%

<sup>12</sup>While renewable energy procurement and use increased in 2022, the percentage of renewable electricity compared to total electricity decreased due to expanded production with new factories coming online.

#### Energy savings (GWh)

	2018	2019	2020	2021	2022
Savings	73.3	73.3	64.5	53.4	55.5



# Performance Data

Giving and volunteerism

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

## Environmental sustainability

### Water

#### Water use<sup>13</sup> by type (billion gallons)

	2018	2019	2020	2021	2022
Municipal	4.36	4.29	4.53	4.79	5.42
Well	0.40	0.37	0.37	0.58	0.98
Reused	2.02	1.69	1.86	2.20	2.19
<b>Total</b>	<b>6.78<sup>14</sup></b>	<b>6.35</b>	<b>6.76</b>	<b>7.57</b>	<b>8.59</b>

TI's unit production increased 25% from 2018 to 2022.

<sup>13</sup>To calculate water use, we compile municipal billing data and our production metrics. We also measure effluent rates and volumes and analyze industrial wastewater and stormwater samples using standard U.S. Environmental Protection Agency methodologies.

<sup>14</sup>In 2018, totals included an estimated rainwater collection of 35 million gallons.

#### Water use reduction (%)

	2018	2019	2020	2021	2022
Goal	4.5%	2.2%	2.6%	2.6%	3.4%
Result	5.4%	2.6%	4.4%	2.8%	3.2%

#### Water savings (million gallons)

	2018	2019	2020	2021	2022
Savings	248.81	120.67	206.92	135.55	174.19

#### Wastewater discharges total and by type (billion gallons)

	2018	2019	2020	2021	2022
Municipal sewer	3.85	3.61	3.87	4.15	4.65
Surface	0.28	0.25	0.26	0.27	0.32
<b>Total</b>	<b>4.13</b>	<b>3.86</b>	<b>4.13</b>	<b>4.42</b>	<b>4.97</b>

#### Water use (megaliters)

	2018	2019	2020	2021	2022
Change in water storage <sup>15</sup>	0	0	0	0	0
<b>Water withdrawal</b>					
Surface <sup>16</sup>	132	0	0	0	0
Ground <sup>16</sup>	1,517	1,409	1,408	2,198	3,708
Sea	0	0	0	0	0
Produced	0	0	0	0	0
Third-party	16,506	16,255	17,152	18,214	20,520
Fresh (≤1,000 mg/L total dissolved solids) <sup>17</sup>	18,155	17,664	18,560	20,412	24,228
Other (≤1,000 mg/L total dissolved solids) <sup>17</sup>	0	0	0	0	0
<b>Total water withdrawal (megaliters)</b>	<b>18,155</b>	<b>17,664</b>	<b>18,560</b>	<b>20,412</b>	<b>24,228</b>
<b>Water withdrawal, water-stressed regions</b>					
Surface <sup>16</sup>	0	0	0	0	0
Ground <sup>16</sup>	40	44	35	27	30
Sea	0	0	0	0	0
Produced	0	0	0	0	0
Third-party	3,312	2,630	2,658	2,490	2,741
Fresh (≤1,000 mg/L total dissolved solids) <sup>17</sup>	3,352	2,674	2,692	2,518	2,741
Other (≤1,000 mg/L total dissolved solids) <sup>17</sup>	0	0	0	0	0
<b>Total water withdrawal, water-stressed regions (megaliters)</b>	<b>3,352</b>	<b>2,674</b>	<b>2,692</b>	<b>2,518</b>	<b>2,771</b>
<b>Water discharge</b>					
Surface <sup>16</sup>	1,068	953	989	1,039	1,212
Ground <sup>16</sup>	0	0	0	0	0
Sea	0	0	0	0	0
Third-party	14,575	13,664	14,658	15,711	17,613
Fresh (≤1,000 mg/L total dissolved solids) <sup>17</sup>	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown
Other (≤1,000 mg/L total dissolved solids) <sup>17</sup>	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown
<b>Total water discharge (megaliters)</b>	<b>15,643</b>	<b>14,617</b>	<b>15,646</b>	<b>16,750</b>	<b>18,824</b>
<b>Water discharge, water-stressed areas</b>					
Fresh (≤1,000 mg/L total dissolved solids) <sup>17</sup>	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown
Other (≤1,000 mg/L total dissolved solids) <sup>17</sup>	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown
<b>Total water discharge, water-stressed areas (megaliters)</b>	<b>2,860</b>	<b>2,278</b>	<b>2,310</b>	<b>2,132</b>	<b>2,097</b>
<b>Water consumption</b>					
Water consumption (total megaliters) <sup>18</sup>	2,512	3,047	2,914	3,662	5,403
Water consumption (water-stressed areas) <sup>18</sup>	491	396	382	386	674

<sup>15</sup>There is a small amount of water storage (relative to overall usage) in facilities systems, but the year-over-year change is insignificant.

<sup>16</sup>This does not include once-through cooling water, which is pumped from on-site wells at our Freising, Germany, site and used only for heat rejection. This water returns to the original aquifer.

<sup>17</sup>TI does not monitor total dissolved solids continuously at all sites.

<sup>18</sup>TI calculates consumption as water withdrawn minus water discharged.



# Performance Data

Giving and volunteerism

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

## Environmental sustainability

### Material/waste

#### Waste by composition<sup>19</sup> (metric tons)

	2018	2019	2020	2021	2022
<b>Hazardous waste</b>					
Waste generated	25,305	26,734	31,702	14,142	12,201
Waste diverted from disposal	22,305	23,869	28,396	11,250	9,012
Waste directed to disposal	3,000	2,865	3,307	2,892	3,189
<b>Nonhazardous waste</b>					
Waste generated	11,882	10,345	10,518	29,675	36,710
Waste diverted from disposal	11,028	9,534	9,563	28,025	35,299
Waste directed to disposal	854	811	955	1,650	2,128
<b>Other waste categories</b>					
Waste generated	-	-	-	1,860	1,762
Waste diverted from disposal	-	-	-	1,860	1,762
Waste directed to disposal	-	-	-	0	0

<sup>19</sup> In 2021, TI disclosed new data based on updated GRI 306: Waste 2020 standards, allowing hazardous waste to be reported separately from non-hazardous industrial waste. This methodology significantly reduced the amounts reported for hazardous waste.

#### Waste diverted from disposal, by recovery operations<sup>20</sup> (metric tons)

	Hazardous waste		Nonhazardous waste	
	2021	2022	2021	2022
<b>Preparation for reuse</b>				
Onsite	4,000	1,015	826	3,999
Offsite	2,285	1,698	263	1,242
<b>Total</b>	<b>6,285</b>	<b>2,713</b>	<b>1,089</b>	<b>5,241<sup>21</sup></b>
<b>Recycling</b>				
Onsite	0	0	0	0
Offsite	2,323	2,439	28,013	30,707
<b>Total</b>	<b>2,323</b>	<b>2,439</b>	<b>28,013</b>	<b>30,707</b>
<b>Other recovery operations</b>				
Onsite	0	0	0	0
Offsite	2,642	3,859	783	395
<b>Total</b>	<b>2,642</b>	<b>3,859</b>	<b>783</b>	<b>395</b>
<b>Waste prevented (landfill diversion)</b>	<b>11,250</b>	<b>9,012</b>	<b>29,884</b>	<b>36,344</b>

<sup>20</sup> In 2021, TI disclosed new data based on updated GRI 306: Waste 2020 standards, allowing hazardous waste to be reported separately from non-hazardous industrial waste. This methodology significantly reduced the amounts reported for hazardous waste.

<sup>21</sup> 2021 and prior reporting included an incorrect classification of waste as hazardous when it was non-hazardous. The 2022 data reflects the corrected shift to the non-hazardous category.

#### Waste directed to disposal, by disposal operation<sup>22</sup> (metric tons)

	Hazardous waste		Nonhazardous waste	
	2021	2022	2021	2022
<b>Incineration (with energy recovery)</b>				
Onsite	0	0	0	0
Offsite	0	0	0	0
<b>Total</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>Incineration (without energy recovery)</b>				
Onsite	0	0	0	0
Offsite	2,803	3,103	102	178
<b>Total</b>	<b>2,803</b>	<b>3,103</b>	<b>102</b>	<b>178</b>
<b>Landfill (solid waste disposal)</b>				
Onsite	0	0	0	0
Offsite	89	87	1,548	1,949
<b>Total</b>	<b>89</b>	<b>87</b>	<b>1,548</b>	<b>1,949</b>
<b>Other disposal operations</b>				
Onsite	0	0	0	0
Offsite	0	0	0	0
<b>Total</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

<sup>22</sup> In 2021, TI disclosed new data based on updated GRI 306: Waste 2020 standards, allowing hazardous waste to be reported separately from non-hazardous industrial waste. This methodology significantly reduced the amounts reported for hazardous waste.



# Performance Data

[Giving and volunteerism](#)
[Environmental sustainability](#)
[Workplace](#)
[Responsible business practices](#)

## Workplace

### Diversity

#### Workforce by region

Region	2019	2022
Americas	11,787	14,398
Asia	14,172	15,462
EMEA	1,966	1,898
Japan	1,150	1,241
<b>Total</b>	<b>29,075</b>	<b>32,999</b>

#### Regional workforce by gender

Region	Gender	2019	2022
Americas	Female	2,949	3,461
	Male	9,079	10,937
Asia	Female	7,771	7,735
	Male	6,692	7,727
EMEA	Female	351	397
	Male	1,602	1,500
Japan	Female	131	158
	Male	1,040	1,083

#### Gender by role (worldwide)

	Gender	2019	2022
Technical	Female	17.0%	17.9%
	Male	83.0%	82.1%
Managers	Female	22.9%	23.0%
	Male	77.1%	77.0%
Overall	Female	37.8%	35.6%
	Male	62.2%	64.4%

#### Gender by role (U.S.)

	Gender	2019	2022
Technical	Female	16.1%	16.4%
	Male	83.9%	83.6%
Managers	Female	22.8%	21.5%
	Male	77.2%	78.5%
VP and above	Female	25.7%	29.7%
	Male	74.3%	70.3%
Overall	Female	22.9%	22.4%
	Male	77.1%	77.6%



# Performance Data

Giving and volunteerism

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

## Diversity cont'd

### Workforce by race (U.S.)

	Race	2019	2022
Technical roles			
	White	53.2%	52.6%
	Asian	32.0%	30.0%
	Hispanic	8.3%	9.5%
	Black	3.9%	4.1%
	Other/URM <sup>23</sup>	1.4%	1.9%
Manager roles			
	White	62.3%	58.8%
	Asian	24.5%	25.1%
	Hispanic	6.1%	7.5%
	Black	5.2%	5.8%
	Other/URM	1.2%	1.5%
VP and above			
	White	71.4%	64.9%
	Asian	15.7%	18.9%
	Hispanic	4.3%	5.4%
	Black	8.6%	10.8%
	Other/URM	0%	0%
Overall			
	White	56.7%	53.3%
	Asian	22.3%	20.6%
	Hispanic	9.4%	12.1%
	Black	8.7%	9.9%
	Other/URM	1.9%	2.5%

<sup>23</sup> We define other underrepresented minorities (URMs) as Native Hawaiians or other Pacific Islanders, American Indians or Alaska Natives, or two or more races. Any totals of less than 100% are attributable to a small percentage of undisclosed data.

## Development

### Average training (hours)

	2019	2022
Average hours	30.3	50.7 <sup>24</sup>

<sup>24</sup> The increase in training hours is the result of our updated tracking system that more accurately captures on-the-job training that occurs in our factories worldwide.

## Retention

### Employee voluntary turnover (%)

	2019	2022
Asia	10.1%	12.6%
Japan	4.5%	3.9%
Europe	7.3%	8.9%
Americas	7.1%	12.9%
Worldwide	8.5%	12.2%

## Tenure

Service Band	2019	2022
<10 years	50.0%	52.5%
10-20 years	24.4%	24.5%
>20 years	25.6%	23.0%



# Performance Data

[Giving and volunteerism](#)
[Environmental sustainability](#)
[Workplace](#)
[Responsible business practices](#)

## Safety and health

### Recordable case rate (cases per 100 employees)

Description	2018	2019	2020	2021	2022
Goal	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
Result	0.16	0.20	0.14	0.21	0.26 <sup>25</sup>

<sup>25</sup>The 2022 increase is due to COVID-19 infections. The case rate without the virus is 0.18.

### Days away, restricted or job transfer (DART) rate (cases per 100 employees)

Description	2018	2019	2020	2021	2022
Goal	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
Result	0.09	0.10	0.10	0.13	0.18 <sup>26</sup>

<sup>26</sup>The 2022 increase is due to COVID-19 infections. The DART rate without the virus is 0.10.

### Employee and supplemental contractor safety and health data

Description	2018	2019	2020	2021	2022
Recordable cases (employees)	0.15 (48 cases)	0.16 (48 cases)	0.14 (41 cases)	0.19 (55 cases)	0.25 (79 cases)
Recordable cases (contractors) <sup>27</sup>	0.36 (6 cases)	0.27 (5 cases)	0.19 (3 cases)	0.65 (10 cases)	0.38 (5 cases)
Fatalities from work-related injuries (employees)	0	0	0	0	0
Fatalities from work-related illness (employees)	0	0	0	0	0
Fatalities from work-related illness (contractors)	0	0	0	0	0
High-consequence injuries (employees) <sup>28</sup>	0.007 (2 cases)	0.007 (2 cases)	0.01 (3 cases)	0.003 (1 case)	0
High-consequence injuries (contractors)	0	0	0	0	0
Hours worked (employees) <sup>29</sup>	58,253,519	59,425,882	59,410,887	57,376,381	62,832,813
Hours worked (contractors)	3,335,737	3,658,678	3,084,874	3,076,776	2,652,204
Recordable cases from work-related illness (employees)	4	9	10	10	30
Recordable cases from work-related illness (contractors)	1	0	1	4	0

<sup>27</sup>Refers to supplemental contractors, who receive daily work instruction from TI managers.

<sup>28</sup>The high-consequence work-related injury metric uses recovery time, instead of lost time, as the criterion for determining the severity of an injury. Lost time is an indicator of the loss of productivity for an organization as a result of a work-related injury; it does not necessarily indicate the extent of harm suffered by a worker.

<sup>29</sup>Hours reported are worldwide. TI employees do not include turnkey or supplemental contractors.

## Responsible business practices

### Public policy

#### Political expenditures (U.S. dollars)

	2018	2019	2020	2021	2022
Corporate contributions	\$7,500	\$0 <sup>30</sup>	\$0 <sup>30</sup>	\$1,000	\$2,000
Political action committee	\$101,950	\$101,000	\$78,000 <sup>31</sup>	\$96,500	\$153,500

<sup>30</sup> TI chose not to make any corporate contributions to local ballot initiatives in 2019 and 2020. 2020 PAC contributions were impacted due to COVID-19.

<sup>31</sup> 2020 PAC contributions were impacted due to COVID-19.

### Supply chain management

#### Assessment goals

Goals and results (%)	2018		2019		2020		2021		2022	
	Goal	Result	Goal	Result	Goal	Result	Goal	Result	Goal	Result
Production suppliers rated as low risk for all facilities on environmental and social responsibility self-assessment questionnaire evaluations	85%	87%	90%	89%	90%	95%	95%	99%	97%	98%

### Responsible minerals

#### 3TG<sup>32</sup> smelters potentially in the supply chain for TI's integrated circuits

Description	2018	2019	2020	2021	2022
RMAP <sup>33</sup> conformant	100%	100%	99.6%	99.6%	100%
Under RMAP assessment	0%	0%	0.4%	0.4%	0%

<sup>32</sup>3TG refers to tin, tantalum, tungsten and gold.

<sup>33</sup>Responsible Minerals Assurance Process (RMAP) is a program in which an independent third party evaluates smelters' management systems and procurement practices and determines whether the smelter has demonstrated that it is conformant with the applicable RMAP standard.



# Global Reporting Initiative

**Statement of use** Texas Instruments has reported the information cited in this GRI content index for the period Jan. 1, 2022, to Dec. 31, 2022, with reference to the GRI Standards.

**GRI 1 used** GRI 1: Foundation 2021

## GRI 2: General disclosures

Indicator	Description	Response
2-1	Organizational details	<p>Our company name is Texas Instruments Incorporated (NASDAQ: TXN), and our headquarters are located at 12500 TI Blvd., Dallas, TX 75243. See the global map on the <a href="#">TI at a Glance</a> section of our website for other countries of operation.</p> <p>For information about TI's ownership structure, see <a href="#">SEC Form 10-K</a>, Part I.</p>
2-2	Entities included in the organization's sustainability reporting	<p>TI has two reportable segments: analog and embedded processing. We report the results of our remaining business activities in Other (see <a href="#">SEC Form 10-K</a>, Part I, Item 1, pages 2-4).</p> <p>TI's Corporate Citizenship Report covers environmental, social and governance (ESG) topics for all TI-owned entities and facilities included in financial statements.</p>
2-3	Reporting period, frequency and contact point	<p>TI has produced its Corporate Citizenship Report annually since 2006, with a reporting period that covers the previous calendar year (2022, unless otherwise stated). This period aligns with the company's financial reporting period. TI published its 2022 report in June 2023. For questions about the information contained within this report, email <a href="mailto:citizenshipfeedback@list.ti.com">citizenshipfeedback@list.ti.com</a>.</p>
2-4	Restatements of information	<p>We include restatements of data and information in the footnotes of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">Performance Data Appendix</a>.</p>
2-5	External assurance	<p>TI performs extensive internal due diligence to ensure the accuracy of the information and data presented in this report. In 2023, ERM Certification and Verification Services conducted limited assurance of scope 1 and scope 2 greenhouse gas emissions (GHG) data for 2022 (see the <a href="#">Assurance Statement</a>).</p> <p>We currently do not seek independent assurance of any additional nonfinancial data; however, Ernst &amp; Young audits the TI Foundation's financial records annually.</p>
2-6	Activities, value chain and other business relationships	<p>For information about the markets TI serves, see <a href="#">SEC Form 10-K</a>, Part I, pages 5-6.</p> <p>We market and sell our products through direct sales channels, including our website and broad sales and marketing team, and, to a lesser extent, through distributors. Over the past several years, we have been investing in new capabilities to build closer direct customer relationships. As a result, in 2022 about 70% of our revenue was direct, which includes TI.com, as customers valued the convenience of purchasing online. Closer direct relationships with our customers help to strengthen our reach of market channel advantage and give us access to more customers and more of their design projects, leading to opportunities to sell more of our products into each design. Additionally, broader and deeper access gives us better insight and knowledge of customer needs.</p> <p>Our investments in new and improved capabilities to directly support our customers include website and e-commerce enhancements as well as inventory consignment programs and order fulfillment services. Our TI.com e-commerce channel offers a localized online experience in many countries, with convenience features such as immediate availability, local currency, payment methods, invoicing and importer of record. Our new application programming interfaces (APIs) give customers the ability to directly access real-time inventory information about TI products from their own systems, enabling them to purchase available chips immediately to better support their supply needs, reducing cost and delays. For more information, see <a href="#">SEC Form 10-K</a>, Part I, Item 1, pages 6-7.</p> <p>In 2022, TI brought two new 300-mm factories online in Richardson, Texas, and Lehi, Utah. The company is building additional fabs in Sherman, Texas and Lehi, Utah, which will further expand TI's production capacity.</p>



## GRI 2: General disclosures (cont'd)

Indicator	Description	Response
2-6	Activities, value chain and other business relationships (cont'd)	We spend roughly 80% of procurement dollars with approximately 300 suppliers, of which about 180 are critical to supporting semiconductor manufacturing. We define “critical suppliers” as those essential to the supply strategy of a category procurement team that could cause a major disruption in manufacturing or design output. When needed, we outsource the manufacturing of wafers or product assembly and testing. For more information about our supply chain, see the <a href="#">Supply Chain Responsibility</a> section in TI's 2022 Corporate Citizenship Report.
2-7	Employees	See the <a href="#">Workforce Representation</a> section in TI's 2022 Corporate Citizenship Report and the <a href="#">Performance Data Appendix</a> for employee data. In 2022, TI classified 23 employees as temporary (mostly student workers) and classified about 200 as part time.
2-9	Governance structure and composition	Read about TI's governance structure, roles and responsibilities on the <a href="#">governance</a> webpage and <a href="#">Board Oversight of ESG Matters</a> . See the <a href="#">governance</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for board diversity data.
2-10	Nomination and selection of the highest governance body	Read about TI's director nomination and selection process on the <a href="#">Investor Relations FAQs</a> webpage and in TI's <a href="#">2023 Proxy Statement</a> .
2-11	Chair of the highest governance body	Read about TI's governance structure, roles and responsibilities on the <a href="#">governance</a> webpage, <a href="#">Investor Relations FAQs</a> and TI's <a href="#">2023 Proxy Statement</a> .
2-12	Role of the highest governance body in overseeing the management of impacts	Read about TI's governance structure, roles and responsibilities on the <a href="#">governance</a> and <a href="#">Board Oversight of ESG Matters</a> .
2-13	Delegation of responsibility for managing impacts	Read about TI's governance structure, roles and responsibilities on the <a href="#">governance</a> webpage and <a href="#">Board Oversight of ESG Matters</a> .
2-14	Role of the highest governance body in sustainability reporting	See <a href="#">Board Oversight of ESG Matters</a> .
2-15	Conflicts of interest	Read about TI's conflict of interest and related person transactions policies in TI's <a href="#">2023 Proxy Statement</a> .
2-16	Communication of critical concerns	See the <a href="#">Ethics and Compliance</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for how employees can report concerns. The company encourages TIers to raise questions or concerns about conduct that may be inconsistent with Living our values. TI will not tolerate retaliation against those who have reported an issue in good faith. Anyone who retaliates against an employee for these activities is subject to disciplinary action, including termination.
2-17	Collective knowledge of the highest governance body	TI's board of directors has established that its Governance and Stockholder Relations committee should maintain the right balance of knowledge, experience, background and capability, which includes key ESG matters. See <a href="#">Board Oversight of ESG Matters</a> .
2-18	Evaluation of the performance of the highest governance body	Read about TI's board evaluation process in TI's <a href="#">2023 Proxy Statement</a> , page 17.



## GRI 2: General disclosures (cont'd)

Indicator	Description	Response
2-19	Remuneration policies	Read about TI's remuneration policies for directors and named executive officers in TI's <a href="#">2023 Proxy Statement</a> , pages 22-25.
2-20	Process to determine remuneration	Read about TI's remuneration policies for directors and named executive officers in TI's <a href="#">2023 Proxy Statement</a> , pages 22-25.
2-21	Annual total compensation ratio	Read about TI's remuneration policies for directors and named executive officers in TI's <a href="#">2023 Proxy Statement</a> , pages 22-25.
2-22	Statement on sustainable development strategy	See the <a href="#">Letter from the CEO</a> in TI's 2022 Corporate Citizenship Report to read about the company's commitment to citizenship and sustainability.
2-23	Policy commitments	TI's <a href="#">Living our values – TI's ambitions, values and code of conduct</a> addresses responsible business conduct, human rights and the methods for reporting any concerns for all employees globally.
2-24	Embedding policy commitments	See the <a href="#">Ethics and Compliance</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship report and the company's <a href="#">Supplier Code of Conduct</a> .
2-25	Processes to remediate negative impacts	See the <a href="#">Ethics and Compliance</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for how employees and others can report concerns. TIers and others are encouraged to raise questions or concerns about conduct that may be inconsistent with Living our values. We investigate and work to resolve all inquiries and take appropriate remedial measures.
2-26	Mechanisms for seeking advice and raising concerns	See the <a href="#">Ethics and Compliance</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for how employees can report concerns. We encourage TIers to raise questions or concerns about conduct that may be inconsistent with Living our values. TI will not tolerate retaliation against those who have reported an issue in good faith. Anyone who retaliates against an employee for these activities is subject to disciplinary action, including termination.
2-27	Compliance with laws and regulations	TI did not receive material fines or nonmonetary sanctions related to social, economic and environmental issues in 2022.
2-28	Membership associations	TI belongs to many <a href="#">associations</a> with which it works on various policy objectives. We are more active in some organizations than others and do not work on all association issues. We may not align on all positions. We also collaborate with other outside groups and coalitions, such as the Responsible Business Alliance and Semiconductor Industry Association, to advance policies that drive growth; promote competitiveness; and support our shareholders, customers, employees and the communities in which we operate.
2-29	Approach to stakeholder engagement	We engage with stakeholders who directly influence or are interested in our operations. TI's stakeholders include employees, customers, shareholders, communities where we have operations, academia, public officials, trade associations, regulatory agencies, nongovernmental organizations, analysts, suppliers, contractors, TI retirees and potential employees.  We tailor our engagement strategies and communications to the unique interests of the people and organizations that directly influence or have an interest in our operations. On ESG matters, we routinely engage investors, customers, suppliers, policymakers and other stakeholders to discuss issues of mutual interest. Our senior leaders regularly share stakeholder feedback on ESG matters with the executive team and board of directors.



## GRI 2: General disclosures (cont'd)

Indicator	Description	Response
		Engagement mechanisms generally include meetings, calls and emails and vary in frequency. Stakeholders can ask questions or share opinions through our website (TI.com), email (citizenshipfeedback@list.ti.com) and social media channels. We have an accounting and audit hotline for addressing accounting- and audit-related topics and relate all inquiries received on the hotline to the Audit Committee chair of our board of directors.
2-30	Collective bargaining agreements	Employees at our global operations have always had the freedom to associate and the right to collective bargaining as provided by local statutes; therefore, we do not track the percentage of employees covered by such agreements.

## GRI 3: Material topics

Indicator	Description	Response
3-1	Process to determine material topics	TI solicits input from internal and external stakeholders throughout the year through regular engagement. We also examine third-party sustainability assessments and benchmark disclosure trends and best practices. We then compare these inputs to our company priorities to determine what topics and disclosures to include in our annual Corporate Citizenship Report.
		The input collected in 2021 continues to inform our reporting topics, while incorporating feedback from various stakeholder engagements in 2022. These topics may include additional disclosures not related to material topics in some instances:
3-2	List of material topics	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Business continuity and risk management</li> <li>• Environmental impact (greenhouse gas emissions, energy consumption and the use of renewable sources, and water and wastewater)</li> <li>• Materials and chemical management</li> <li>• Workplace (diversity and inclusion, recruitment and retention, development, compensation and employee health and safety)</li> <li>• Supply chain responsibility (including labor and human rights and conflict minerals)</li> <li>• Ethics</li> <li>• Public policy</li> <li>• Giving and volunteering</li> </ul>
		Information about how TI manages material topics can be found in indicators 3-3 within this index and our 2022 Corporate Citizenship Report. These include:
3-3	Management of material topics	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Risk Management and Business Continuity</a> in the report and at the end of this index.</li> <li>• <a href="#">Environmental Sustainability</a> in the report and GRI 302 through GRI 306 in this index.</li> <li>• <a href="#">Workplace</a> in the report and GRI 201-3, GRI 202, and GRI 401 through GRI 406 in this index.</li> <li>• <a href="#">Supply Chain Responsibility</a> in the report and GRI 204 in this index.</li> <li>• <a href="#">Ethics and Compliance</a> in the report and GRI 2-16; GRI 2-23 through 2-27; and GRI 205, 206, 402 and 406 in this index.</li> <li>• <a href="#">Public Policy</a> in the report and GRI 415 in this index.</li> <li>• <a href="#">Giving and Volunteering</a> in the report.</li> </ul>



## GRI 201: Economic performance

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	Learn more about TI's financial oversight in the <a href="#">2022 Annual Report</a> , <a href="#">Proxy Statement</a> and <a href="#">SEC Form 10-K</a> .
201-1	Direct economic value generated and distributed	Our <a href="#">2022 Annual Report</a> provides information about our financial performance. See the <a href="#">Giving and Volunteering</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">Performance Data Appendix</a> for philanthropic contributions.
201-2	Financial implications and other risks and opportunities due to climate change	<p>TI evaluates risks related to the changing environment, such as severe weather, water availability, flooding and other threats. Each site and region evaluates these broader environmental risks. We invest capital in engineering controls that reduce operational and environmental impacts. We base each manufacturing site's financial value on product revenue generated and its assets.</p> <p>Any potential revenue loss associated with an environmental or severe weather event generates a potential business interruption loss, which we can partially offset by insurance. TI's Risk Management and Business Continuity office reports companywide risks, such as those associated with environmental change, to the chief financial officer.</p>
201-3	Defined benefit plan obligations and other retirement plans	<p>TI has various employee retirement plans, including defined contribution, defined benefit and retiree healthcare benefit plans. Contributions to these plans meet or exceed all minimum funding requirements. For more information, see <a href="#">SEC Form 10-K</a>, Part II, Item 8, Note 7, pages 43-48: Postretirement benefit plans.</p> <p>For all U.S. employees who choose to opt into and contribute to a 401(k), we match 100% of their contributions, up to 4% of annual eligible earnings. We match up to 2% percent for employees who continue to accrue a benefit in our pension plan. For qualifying employees, we offer deferred compensation arrangements.</p> <p>We offer a global profit-sharing program that rewards all eligible Tiers for contributing to our financial success. Some countries, such as France and Mexico, have statutory requirements for their local profit-sharing programs, which we meet.</p>
201-4	Financial assistance received from the government	TI receives tax-benefit incentives from federal, state and local governments worldwide. These incentives are commonly available to manufacturing companies with investments in equipment and facilities, employment, and R&D. See <a href="#">SEC Form 10-K</a> , Part II, Item 8, Note 2, pages 33-34 and Note 4, pages 37-40 for additional details.

## GRI 202: Market presence

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	See the <a href="#">Compensation and Benefits</a> and <a href="#">Recruitment</a> sections of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and our responses to <a href="#">GRI 401: Employment</a> and <a href="#">GRI 406: Anti-Discrimination</a> in this index for more information about how we manage market presence.
202-1	Ratios of standard entry-level wage by gender compared to local minimum wage	TI does not maintain a standard entry wage for every country. However, we verified that we are paying employees above the local minimum wage in every country in which we operate. We compensate each employee based on their experience, performance, roles and responsibilities, regardless of gender, race, ethnicity or other protected characteristics.
202-2	Proportion of senior management hired from the local community	TI recruits senior management across globe, and promotes a high percentage of leaders from within. We currently don't have a tracking system to gather hiring data geographically in this way.



## GRI 204: Procurement practices

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	<p>See the <a href="#">Supply Chain Responsibility</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and TI's <a href="#">Suppliers website</a> to learn more about how TI manages its supply chain.</p> <p><b>Governance</b> TI's vice president of worldwide procurement and logistics, who reports directly to the chief financial officer, leads supply chain management. Together, they oversee supply chain policies, performance and risk management. TI's director of supply chain responsibility oversees supplier social and environmental responsibility and manages supplier diversity.</p> <p><b>Codes of conduct</b> TI suppliers must adhere to TI's <a href="#">Supplier Code of Conduct</a>, which uses the Responsible Business Alliance's (RBA) code of conduct as its foundation and includes environmental standards specifically applicable to TI's suppliers.</p> <p><b>Management system</b> Our supply chain management system provides a framework to systematically manage procurement, inventory, manufacturing, quality and distribution processes. It also helps us comply with operational and regulatory standards, track costs and monitor risks. Our management system meets the certification requirements of the International Organization for Standardization (ISO) Quality Management System 9001, ISO/Technical Specification 16949 and International Automotive Task Force 16949. The ISO annually evaluates the system as part of its recertification process.</p> <p><b>Engagement</b> When initiating relationships with suppliers, we educate them about our standards and expectations for safe, humane and ethical labor practices, as well as human trafficking, forced labor and workers' rights. We routinely communicate these guidelines in meetings; on our supplier website; and in purchase orders, supplier contracts and other related documents. We also routinely collaborate with industry groups such as the RBA, the Semiconductor Industry Association, and Semiconductor Equipment and Materials International to discuss and create supply chain standards and share best management practices.</p> <p><b>Training</b> We deliver online and in-person training on our Supplier Code of Conduct, standards and expectations. We also leverage RBA's training programs to help suppliers understand the alliance's code of conduct, labor risks, respecting workers' rights, hiring migrant workers and more.</p> <p><b>Responsible minerals</b> TI is an early member of the Responsible Minerals Initiative, created by RBA and Global E-Sustainability Initiative members, which works to advance effective policies that address conflict mineral concerns. TI works diligently with its supply chain, including subcontracted manufacturers, to identify and eliminate non-compliant sources of material.</p> <p><b>Grievance mechanisms</b> TI has established grievance mechanisms to ensure that its buyers or procurement representatives meet with suppliers to address any questions or concerns. If suppliers (or employees or contractors of suppliers) prefer, they can contact our Ethics Office to ask questions or discuss issues anonymously. Our Supply Chain Management team can also assist with identifying and addressing issues inconsistent with our ethics and values.</p> <p>Our Supplier Code of Conduct requires our suppliers to establish and maintain programs that ensure the confidentiality, anonymity and protection of supplier and employee whistleblowers unless prohibited by law. Suppliers must have a communication process for their personnel to raise concerns without fear of retaliation.</p> <p><b>Resources</b> TI allocates extensive financial, human, training, information and engagement resources to help suppliers understand its policies and expectations, roles and responsibilities, performance and ethics expectations, and environmental, safety and health (ESH) and labor protections.</p>



## GRI 204: Procurement practices (cont'd)

Indicator	Description	Response
204-1	Proportion of spending on local suppliers	TI does not currently report supplier spending by individual markets.

## GRI 205: Anti-corruption

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	See the <a href="#">Ethics and Compliance</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">Living our values – TI's ambitions, values and code of conduct</a> to learn more about our management approach to anti-corruption. We assess all manufacturing sites for corruption and ethics risks annually using the RBA's self-assessment tools. Additionally, we leverage an industry-leading anti-corruption and third-party management system to assess our external engagements.
205-1	Operations assessed for risks related to corruption	TI's anti-corruption compliance program assesses its worldwide operations and suppliers for risks related to corruption. TI does operate in countries that are considered at higher risk for corruption. However, the semiconductor industry is relatively low risk compared to construction, extractive or other industries where conducting business requires considerable interaction with government officials. We have policies in place and conduct focused training for certain high-risk countries and functions to address and mitigate these risks.
205-2	Communication and training about anti-corruption policies and procedures	TI provides ethics and compliance awareness training that includes anti-corruption topics to all employees, select suppliers and third parties. Additionally, we make our anti-corruption policy and code of conduct available to all employees and translate them into multiple languages. We periodically assess and revise training programs and related efforts to reflect legal changes and support continuous compliance improvement.
205-3	Confirmed incidents of corruption and actions taken	TI investigates all reports for review and action. If any confirmed incidents occur, we will take appropriate remedial actions. For confidentiality reasons, we do not publicly report the number or nature of such incidents.

## GRI 206: Anti-competitive behavior

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	See the <a href="#">Ethics and Compliance</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">Living our values – TI's ambitions, values and code of conduct</a> to learn more about the company's management approach to anti-competitive behavior. Our code of conduct sets forth these principles: <ul style="list-style-type: none"> <li>• We compete fairly.</li> <li>• We follow the laws, rules, and regulations where we operate and require our suppliers to do the same.</li> <li>• We are committed to win, but we'll never break the rules in order to win.</li> <li>• We promise to respect all regulations and laws that promote fair competition.</li> </ul>
206-1	Legal actions for anti-competitive behavior, anti-trust, and monopoly practices	See <a href="#">SEC Form 10-K</a> for material legal proceedings involving TI.



## GRI 207: Tax

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	See TI's <a href="#">Global Tax Policy</a> on TI.com.
207-1	Approach to tax	See TI's <a href="#">Global Tax Policy</a> on TI.com.
207-2	Tax governance, control, and risk management	See TI's <a href="#">Global Tax Policy</a> on TI.com.
207-3	Stakeholder engagement and management of concerns related to tax	See TI's <a href="#">Global Tax Policy</a> on TI.com.
207-4	Country-by-country reporting	We report tax obligations in accordance with country-specific requirements.

## GRI 302: Energy

Indicator	Description	Response
		<p>Note: The following applies to TI's overall environmental, safety and health (ESH) management, which includes energy, emissions, materials and water.</p> <p><b>Governance</b> See <a href="#">Board Oversight of ESG Matters</a>.</p> <p><b>Management system</b> Our ESH management system facilitates the planning, execution, evaluation and management oversight of activities and strategies. It meets certification requirements set by the International Organization for Standardization (ISO) 14001 (environmental management system criteria) and ISO 45001 (occupational health and safety management system criteria). Our management system also contains programs, policies, controls, processes and measurement tools based on industry best practices and international standards. It helps us mitigate risks, improve our performance, fulfill compliance obligations and achieve our objectives.</p>
3-3	Management of material ESH topics	<p>Programs include extensive chemical and material screening, material sourcing, waste profiling, emissions management, and responsible recycling and disposal. We require 100% of our employees and supplemental contractors at all TI manufacturing and assembly/test sites to adhere to management system requirements. Other personnel not managed by TI are responsible for following their companies' ESH management procedures and applicable regulatory requirements.</p> <p>To ensure that our internal management system is effective, the Worldwide ESH Compliance Support team and independent third parties perform audits at each facility every three years; in interim years, the facilities perform self-assessments. They examine compliance with legal and TI standards and training effectiveness. Additionally, we:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Survey employees and external stakeholders.</li> <li>• Conduct legally required inspections and monitor incident rates.</li> <li>• Benchmark against the RBA's self-assessment disclosure and its code of conduct and against peers and members of the Semiconductor Industry Association.</li> <li>• Have select sites third-party audited under the RBA's Validated Audit Program.</li> </ul>



## GRI 302: Energy (cont'd)

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material ESH topics cont'd	<p>We communicate gaps and best practices to other sites to avoid similar issues. Each manufacturing site also reports performance using a scorecard that measures energy use, water efficiency and landfill diversion. We share scorecards internally for transparency and best-practice awareness and as an accountability mechanism. We have not had to make significant adjustments to our corporate-level ESH management system because of audit findings.</p> <p><b>Goals</b> TI implements programs to reduce energy intensity, material and water consumption, and GHG emissions. We track and report the effectiveness of these initiatives to senior leaders quarterly.</p> <p><b>Policies</b> TI's ESH policy is available in multiple languages: <a href="#">English</a>, <a href="#">traditional Chinese</a>, <a href="#">Simplified Chinese</a>, <a href="#">Japanese</a>, <a href="#">Malay</a>, <a href="#">Spanish</a>, <a href="#">German</a> and <a href="#">Korean</a>. TI's <a href="#">Living our values – TI's ambitions, values and code of conduct</a> also includes sections on protecting human health and the environment.</p> <p><b>Engagement</b> We evaluate a proposed project's potential positive and negative impacts on a community by conducting environmental impact assessments before site selection.</p> <p><b>Grievance channels</b> We offer several channels through which internal and external stakeholders can submit ESH questions, concerns or grievances. All employees and supplemental contractors have “stop work” authority to remove themselves from work situations that they believe could cause injury, illness or environmental harm. They can also anonymously contact their supervisor, site ESH staff or the TI Ethics Office. Customers can contact <a href="mailto:ti.com/support">ti.com/support</a> or email all other ESH-related inquiries to <a href="mailto:citizenshipfeedback@list.ti.com">citizenshipfeedback@list.ti.com</a>.</p> <p><b>Boundaries</b> Our organizational boundary includes TI manufacturing sites, larger non-manufacturing sites and support facilities subject to contracts considered embedded leases by TI for financial accounting purposes. Our operational boundary includes scope 1 and 2 emissions and water and wastewater from these sites and facilities, as applicable. More information on TI's approach to GHG emissions reporting can be found in the <a href="#">TI GHG Emissions Inventory and Management Plan</a>.</p> <p><b>Resources</b> TI allocates extensive financial, human, training and communication resources to help Tiers monitor and control potential ESH impacts, protect employee health and safety, understand specific ESH roles and responsibilities and drive improvements. We provide our ESH team with extensive training and tools to implement appropriate industry best practices and comply with regulatory requirements. To guide these efforts, we require employees and supplemental contractors at all manufacturing and assembly/test sites to adhere to our <a href="#">ESH Policy and Principles</a>.</p>
3-3	Management of energy	See the <a href="#">Energy</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">GRI: 302 ESH Disclosure of Management Approach</a> in this index to learn more about how we manage energy consumption.
302-1	Energy consumption within the organization	See the <a href="#">Energy</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and the <a href="#">Performance Data Appendix</a> to learn more about the energy consumed from renewable and non-renewable sources.
302-2	Energy consumption outside the organization	For details on energy consumed outside of TI, see our <a href="#">CDP Climate Change response</a> .
302-3	Energy intensity	TI's 2022 energy intensity ratio was 0.33. When calculating energy intensity, we divide the total energy consumption by the number of wafer chips (not including external manufacturing) produced each year. We then compare this to a 2015 base year to report a ratio based only on internal energy consumption. The energy types included in the ratio are natural gas, gasoline, diesel, electricity, propane, fuel oil, liquid petroleum gas and district heating.



### GRI 302: Energy (cont'd)

Indicator	Description	Response
302-4	Reduction of energy consumption	See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for energy reduction data.
302-5	Reductions in energy requirements of products and services	TI does not have data collection processes to track, record and report this information exactly this way.

### GRI 303: Water and effluents

Indicator	Description	Response
		See the <a href="#">Water</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and TI's <a href="#">2023 CDP Water Security response</a> to learn more about water management. The TI ESH water-management standard outlines requirements of wastewater programs, sewage treatment programs, stormwater pollution prevention and water reduction activities at each site. Additionally, we: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Visually inspect our onsite wastewater treatment plants regularly to ensure they operate properly and do not leak.</li> <li>• Periodically clean the plants and inspect the treatment basins for integrity.</li> <li>• Hire trained or certified operators as required.</li> </ul>
3-3	Management of material topics	We calculate consumption data from water utility bills at sites that we financially control and that are larger than 50,000 square feet. Each year, we voluntarily report our water footprint to the CDP and in this report.  <b>Water sources</b> Our water sources include surface water from local municipal supplies and groundwater. Our water footprint comprises three types of water: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Nonmanufacturing – used in restrooms, irrigation, drinking fountains and cafeterias.</li> <li>• Manufacturing – used to rinse wafers after chemical processing or for other fabrication processes.</li> <li>• Manufacturing support – used in exhaust abatement and cooling systems.</li> </ul>
		There are no water impacts directly attributable to discharges and runoff at any TI site. We sustain this by maintaining compliance with discharge limits in our permits, following TI standards, and ensuring that sites follow good housekeeping practices while actively collaborating to continuously improve and minimize exposure to water pathways.
303-1	Interactions with water as a shared resource	See the <a href="#">Water</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and TI's <a href="#">2023 CDP Water Security response</a> to learn more about how TI interacts with water and collaborates with stakeholders regarding this shared resource.  All of TI's main manufacturing and assembly/test facilities set annual water conservation goals based on projects they identified as part of the company's ongoing energy and water reduction strategy. Sites develop and complete water conservation projects based on various factors, including process system reliability, economic feasibility and sustainability targets. Public policy and water stress also factor into these decisions, influencing the availability and cost of water, which drive water reduction and reclaim efforts to ensure system reliability and business continuity.



### GRI 303: Water and effluents (cont'd)

Indicator	Description	Response
303-2	Management of water discharge-related impacts	<p>See the <a href="#">Water</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and TI's <a href="#">2023 CDP Water Security response</a> to learn more about wastewater management. Local regulatory agencies set minimum quality standards for effluents, which all TI sites manage to permissible limits. Some regulators incorporate sector-specific standards to set their requirements.</p> <p>Our internal water-management standard includes guidelines that ensure compliance with wastewater, stormwater and sewage discharge permits, along with other requirements. Sites monitor water quality and have procedures to manage spills or other abnormalities. We report wastewater discharges and the portion of total water discharged through regulated wastewater treatment points to local, state, federal and international regulatory agencies.</p>
303-3	Water withdrawal	See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for water withdrawal data. Municipal sources and groundwater supply our water. We calculate consumption from sites TI fully controls larger than 50,000 square feet.
303-4	Water discharge	Federal, state or local regulators create wastewater permits that define and determine priority substances that must meet discharge limits. We comply with these limits by treating water in onsite treatment plants, separating concentrated metals and solvents from waste streams, and taking other actions. See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for discharge data.
303-5	Water consumption	See the <a href="#">Water</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">Performance Data Appendix</a> for consumption and storage data. We calculate consumption data from total water usage and site-specific factors, such as evaporation, irrigation and boiler or cooling tower use. We verify this data by examining site water balances and discharge flow rates from our wastewater and sewage treatment systems. TI reports water usage data to local, state, federal and international regulatory agencies.

### GRI 305: Emissions

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	<p>See the <a href="#">Greenhouse Gas Emissions</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report, <a href="#">GRI: 302 ESH Disclosure of Management Approach</a> in this index and TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> to learn more about how we manage emissions. We conduct routine monitoring and audits to comply with air quality and GHG emission regulations and reporting requirements that vary by country, state and municipality. We must report U.S. GHG emissions to the U.S. Environmental Protection Agency (EPA) to comply with its mandatory reporting requirements.</p> <p>The EPA requires that the semiconductor industry (among other industries) measure and report annual fluorinated GHG emissions (such as sulfur hexafluoride, perfluorocarbons [PFCs] and hydrochlorofluorocarbons), as well as GHG emissions from combustion sources. We also voluntarily report our GHG emissions data to the World Semiconductor Council (as part of the U.S. industry report), the CDP and in our annual Corporate Citizenship Report.</p> <p>TI reports U.S. air emissions data to federal and state regulators. We also report chemical releases and pollution prevention activities to the EPA's Toxic Release Inventory.</p>



**GRI 305: Emissions (cont'd)**

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics cont'd	<p><b>Boundaries</b> Our organizational boundary includes TI manufacturing sites, larger non-manufacturing sites, and support facilities subject to contracts considered embedded leases by TI for financial accounting purposes. Our operational boundary includes scope 1 and 2 emissions from these sites and facilities, as applicable.</p>
305-1	Direct (scope 1) GHG emissions	<p>See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> for scope 1 data. The gases included in our data calculations include carbon dioxide (CO<sub>2</sub>), methane (CH<sub>4</sub>), nitrous oxide (N<sub>2</sub>O), hydrochlorofluorocarbons (HFCs), PFCs, sulfur hexafluoride (SF<sub>6</sub>) and nitrogen trifluoride (NF<sub>3</sub>).</p> <p>We calculate scope 1 GHG emissions using relevant guidelines from the Intergovernmental Panel on Climate Change (IPCC), the EPA's Mandatory Reporting Rule and published emission factors. Our methodology includes accepted quantification methods, emission factors and global warming potential. For more information, see TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a>.</p>
305-2	Energy indirect (scope 2) GHG emissions	<p>See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> for scope 2 market- and location-based data and our response to indicator 305-1. The gases included in our market- and location-based data calculations include CO<sub>2</sub>, CH<sub>4</sub> and N<sub>2</sub>O. In 2022, we made no significant emissions changes that triggered base-year emissions recalculations.</p> <p>The EPA's GHG Mandatory Monitoring and Reporting Requirements (MRR) Final Rule is our source of emissions factors and global warming potential rates. Scope 2 location-based electricity emission factors are from the U.S. EPA eGRID for U.S. sites and the International Energy Agency for all international sites. Scope 2 market-based factors are the Green E residual mix for U.S. locations and AIB Residual mix for our Freising, Germany location. All calculations for scope 2 emissions follow either U.S. EPA MMR or IPCC Tier 2 requirements. For more information, see TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a>.</p>
305-3	Other indirect (scope 3) GHG emissions	For details on scope 3 GHG emissions, see TI's <a href="#">CDP Climate Change response</a> .
305-4	GHG emissions intensity	TI's normalized GHG market-based emissions intensity ratio in 2022 was 0.27. The ratio equals the emissions intensity in 2022 divided by the emissions intensity in 2005. We calculate the intensity using both scope 1 and scope 2 emissions, with CO <sub>2</sub> , CH <sub>4</sub> , N <sub>2</sub> O, HFCs, PFCs, SF <sub>6</sub> and NF <sub>3</sub> as the numerator and the number of chips produced within TI as the denominator.
305-5	Reduction of GHG emissions	TI's scope 1 and 2 absolute emissions were down 23% from 2015 to 2022. See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> and TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> for more information about emission reductions.
305-6	Emissions of ozone-depleting substances (ODS)	TI does not allow the use of Class I and II ODSs, except in closed-loop refrigeration systems if the refrigeration system equipment was purchased or acquired before the ODS refrigerant's elimination date. We do store some refrigerant gases for maintaining refrigeration systems for our chillers.
305-7	Nitrogen oxides (NOx), sulfur oxides (SOx) and other significant air emissions	See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for U.S. air emissions data.



## GRI 306: Waste

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	See the <a href="#">Waste and Material Management</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">GRI: 302 ESH Disclosure of Management Approach</a> in this index to learn more about how we manage material use.
306-1	Waste generation and significant waste-related impacts	See the <a href="#">Waste and Material Management</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">Performance Data Appendix</a> for information and data on waste stream activities.
306-2	Management of significant waste-related impacts	See the <a href="#">Waste and Material Management</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for information on our waste diversion goal and activities. TI applies a three-step approach to waste and material management: examine what we need, reuse what we can and recycle what is allowed. Most of the materials we need are for fabricating semiconductors. When purchasing materials and chemicals, we consider the resulting waste and whether an opportunity exists to reuse existing materials, purchase recycled materials or use environmentally friendly items instead.  We also follow strict standards and protocols for responsibly purchasing, transporting, tracking and disposing of chemicals safely. We have an established process to review, assess and select waste management facilities according to legal requirements. Each TI site is responsible for monitoring and collecting waste data.
306-3	Waste generated	See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for waste-generated data.
306-4	Waste diverted from disposal	See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for waste diverted from disposal data.
306-5	Waste directed to disposal	See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for waste directed to disposal data.

## 308: Supplier environmental assessment

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	See <a href="#">GRI 302: Management of Material ESH Topics</a> to learn more about TI's approach to environmental management. We outline additional expectations and requirements in our <a href="#">Supplier Code of Conduct</a> , <a href="#">Supplier Environmental and Social Responsibility Policy</a> and <a href="#">ESH Handbook for Suppliers</a> .
308-1	Percentage of new suppliers that were screened using environmental criteria	We do not have a process to track the percentage of new suppliers screened. However, we screen any new supplier deemed critical or one that provides on-site services to our factories.



### 308: Supplier Environmental Assessment (cont'd)

Indicator	Description	Response
308-2	Negative environmental impacts in the supply chain and actions taken	<p>TI works with thousands of suppliers worldwide and communicates company expectations for responsible environmental performance. We assess strategic and high-risk suppliers against our expectations, policies, standards and the RBA code of conduct.</p> <p>In 2022, we assessed 160 production suppliers that support our manufacturing operations with 335 factory locations; 98% met our expectations. The remaining 2% required corrective actions, including additional training and enhanced policies. Our findings revealed no significant negative environmental impacts or concerns. As a result, we did not terminate any relationship.</p>

### GRI 401: Employment

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	<p>See the <a href="#">Workplace</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report to learn more about how we manage employment.</p> <p><b>Governance</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TI's senior vice president (SVP) of Human Resources (HR) establishes and maintains strategic direction, effective communication and reports to the CEO.</li> <li>• Our HR leaders are responsible for developing strategies, programs, protocols and processes essential for effective productivity. This oversight ensures compliance with relevant regulations.</li> <li>• The SVP of HR and head of diversity and inclusion oversee our diversity and inclusion programs.</li> <li>• The SVP of HR and the head of talent development and acquisition oversee our development programs and workforce recruitment efforts.</li> <li>• The SVP of HR and the head of compensation oversee employee compensation.</li> <li>• The SVP of HR and the head of benefits oversee employee physical, mental and financial well-being benefits.</li> <li>• Managers, with the support of HR, are responsible for employee retention. In addition, site teams are responsible for implementing multifaceted and tailored retention programs and complying with site-specific employment laws.</li> <li>• The Compensation Committee of TI's board of directors oversees compensation practices relating to executive personnel.</li> </ul> <p><b>Policies and commitments</b></p> <p>TI's commitment to equal employment opportunity extends to recruiting, hiring, training, promotions, transfers, compensation, benefits, termination, and all other terms and conditions of employment. We administer employment decisions in a nondiscriminatory manner without regard to race, color, religion, sex, gender, gender identity and expression, sexual orientation, marital status, national origin, ancestry, age, disability, genetic information, protected medical conditions, pregnancy, military and veteran status, or any other characteristic protected by applicable law. TI does not tolerate any harassment, retaliation, intimidation or violence. We also have policies on flexible work, conduct, privacy protection, wages, workforce reductions and performance improvement.</p> <p><b>Grievance channels</b></p> <p>We offer several channels through which Tlors can submit questions, concerns or grievances without fear of retaliation, including to their supervisor, HR representative or anonymously through the Ethics Office. We also have multiple avenues to report work-related injuries, illnesses, hazards and risks.</p>



## GRI 401: Employment (cont'd)

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics cont'd	<p><b>Assessment</b> We regularly monitor our employment processes and are focused on reducing bias within them. This includes conducting in-depth analyses of our compensation system to look for any unexplained pay discrepancies and the reasons behind the. If we find disparities, we explore whether factors such as market pay ranges, performance or experience support the difference; and if unjustified, we adjust.</p> <p><b>Resources</b> We allocate extensive financial, human, training and communication resources to help employees understand our vision and expectations, their roles and responsibilities, learning opportunities, health and safety protections and other labor-related needs.</p>
401-1	New employee hires and employee turnover	<p>We aim to ensure that our recruiting efforts and workforce reflect the available talent pool. TI hired more than 10,200 employees (including exempt, non-exempt and interns) in 2022. Recruiting efforts and programs are unique by country and region, based on local needs. We recruit from the states and countries where we operate, particularly for entry-level and managerial positions, and then train employees for more advanced or senior roles. We use data analytics to track turnover by region to tailor programs for improvement.</p> <p>In 2022, total turnover was 12.2%, up from 9.8% in 2021. As an indication of the longevity of our workforce, in 2022, 23% of our employees had worked at TI for more than 20 years.</p>
401-2	Benefits provided to full-time employees that are not provided to temporary or part-time employees	Full-time U.S.-based employees and those who work 20 to 39 hours per week are eligible for all benefits, including medical, pharmacy, dental, vision and income protection. Temporary or part-time employees working less than 20 hours per week are not eligible for benefits.
401-3	Parental leave	TI offers 100% paid parental leave to part- and full-time U.S. employees who are eligible for benefits. In 2022, 285 U.S. employees utilized parental leave. We do not track return-to-work and retention rates after parental leave. For our employees outside of the U.S., we offer varying programs according to local regulations and market practice.

## GRI 402: Labor and management relations

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	See the <a href="#">Workplace</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">GRI 401: Employment</a> to learn more about how we manage employee relationships. To keep communication channels open and gather and share business information with our teams, we use various communication tools and platforms to facilitate open dialogue, share our expectations and reinforce our values. Our managers are the first to engage Tiers, so we invest in their development and training to help them be stronger, more inclusive and to ensure that we operate in accordance with TI values.
402-1	Minimum notice periods regarding operational changes	TI complies with all legal and regulatory requirements in this area for the jurisdictions in which it operates. In the U.S., TI's policy is to provide a minimum of one week's notice regarding shift changes. We provide at least 60 days' notice (or pay in place of notice) for reductions in force. Outside the U.S., we adhere to local labor laws.



## GRI 403: Occupational health and safety

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	<p>See the <a href="#">Safety and Health</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">GRI 302: Management of Material ESH Topics</a> to learn more about the company's management approach. The Audit committee of TI's board of directors oversees health and safety management for employees, supplemental contractors and workplace visitors. Our management approach includes several different elements:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Formal ESH committees at our manufacturing sites – which include managers, ESH specialists and Tiers – work with site managers to oversee health and safety management systems.</li> <li>• Manufacturing and assembly/test safety councils, comprising ESH and ergonomics representatives, drive a safety-focused manufacturing culture within our facilities.</li> <li>• Leaders at all levels support and reinforce consistent safety practices, including training and reporting.</li> <li>• Employees must complete applicable training and keep their work environments safe.</li> </ul> <p><b>Policies</b>            TI is committed to giving employees a non-threatening work environment and does not tolerate any act or threat of violence or harassment. Our:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Threat-Free Work Environment Policy describes our expectations.</li> <li>• <a href="#">Supplier Code of Conduct</a> requires that suppliers ensure that working conditions are safe.</li> <li>• <a href="#">Supplier Environmental and Social Responsibility Policy</a> outlines our expectations for health and safety.</li> <li>• <a href="#">ESH Handbook for Suppliers</a> summarizes TI's standards, policies, guidelines and general practices.</li> </ul>
403-1	Occupational health and safety management system	<p>TI's health and safety management system is voluntarily third-party certified to ISO 45001:2018. This management system:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Comprises interrelated and interacting elements used to establish our ESH policy and principles and objectives.</li> <li>• Drives a reduction of occupational injuries and diseases and promotes and protects the physical and mental health of employees, contractors, customers and visitors.</li> <li>• Records performance data; identifies trends, weaknesses and hazards; and remedies flaws.</li> <li>• Ensures the quality of and facilitates workers' access to safety and occupational health services.</li> </ul> <p>We require 100% of our employees and supplemental contractors at all manufacturing and assembly/test sites to adhere to the management system requirements. Other personnel not managed by TI are responsible for following their companies' ESH management procedures and applicable regulatory requirements.</p>
403-2	Hazard identification, risk assessment, and incident investigation	<p>All TI sites are covered by occupational safety and health standards that help identify, evaluate and control potential workplace hazards. TI provides resources, training, one-on-one engagement and other tools to promote mental well-being and improve or maintain physical health. In accordance with internal standards, all workers are responsible for and receive periodic training and communications on how to report unsafe conditions and injuries by calling internally managed emergency response centers. They also receive training on their responsibility to suspend any operation or deactivate any equipment in the event of imminent risk to life, health or the environment.</p> <p><b>Assessments</b>            Through routine programs, facility self-assessments and audits, work area sampling and health and safety surveys, we assess potential safety and health risks by:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Identifying, assessing and documenting potential workplace hazards and risks using qualitative and quantitative methods, and implementing appropriate controls to mitigate risks and ensure a safe workplace.</li> <li>• Using the results of these assessments to identify annual goals to drive risk reduction projects in accordance with ISO 45001:2018 continually.</li> <li>• Performing a thorough investigation after all incidents and near misses to analyze the root cause and take corrective and preventive actions.</li> <li>• Communicating lessons learned and corrective action plans to other sites and groups to avoid similar issues.</li> <li>• Documenting all incidents for review by a central recordkeeping review panel, which ensures the quality and accuracy of each injury investigation and its associated documentation.</li> <li>• Conducting internal and external audits to verify the quality and effectiveness of our processes. TI's needs and regulatory requirements determine competency requirements specific to job functions.</li> </ul>



## GRI 403: Occupational health and safety (cont'd)

Indicator	Description	Response
403-3	Occupational health services	<p>See the <a href="#">Safety and Health</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report to learn more about occupational health services. TI ensures the quality of occupational health services through:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Onsite clinics staffed by medical practitioners who hold recognized qualifications.</li> <li>• TI's worldwide medical director , who reviews a statement of work for medical providers and conducts on-site reviews as needed.</li> <li>• Medical surveillance oversight and tracking for occupational health examinations.</li> </ul> <p>In addition, all TI sites:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Use an industrial hygiene program to identify, evaluate and control potential workplace hazards.</li> <li>• Collect employee health data to design custom health-improvement programs, depending on Tiers' unique needs.</li> <li>• Manage all personal health-related information as confidential according to all legal requirements and our confidentiality classification expectations.</li> </ul>
403-4	Worker participation, consultation, and communication on occupational health and safety	<p>TI sites have health and safety committees comprising ESH staff, site managers and employees who typically meet monthly to discuss site-specific needs. We consult with employees and supplemental contractors on various management system programs, training courses, and hazard and risk assessments to encourage their feedback on closing gaps, improving performance and proactively managing risks. For employees not actively engaged in safety meeting discussions, a representative, such as a manufacturing superintendent, will attend and provide a conduit for information sharing.</p>
403-5	Worker training on occupational health and safety	<p>To reinforce TI's commitment to its employees' safety, we:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Train employees to prioritize safety and speak up about any potential hazards, how to correct or report unsafe behaviors and conditions, follow procedures and policies and use personal protective equipment.</li> <li>• Deliver occupational health and safety training to 100% of our employees and supplemental contractors.</li> <li>• Tailor training to each role to reinforce our commitment to compliance, resilient ESH standards and customers' performance expectations.</li> <li>• Reinforce expectations regularly through safety campaigns, articles, meetings, posters and reminder emails.</li> </ul> <p>Our ESH leadership team reviews key outcomes and determines focus areas and opportunities for improvement every year. We expect our employees to share lessons learned and best practices to prevent future incidents and recognize and reinforce safe behavior.</p>
403-6	Promotion of worker health	<p>TI has implemented many programs aimed at improving employees' health. See the <a href="#">Safety and Health</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report to learn more about occupational health services. For ergonomics risk, we:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Implement high- and medium-risk-reduction projects that help sites identify and reduce musculoskeletal disorder risks.</li> <li>• Engage workers to assess safety and ergonomics risks and reinforce solutions.</li> <li>• Offer a health care plan that includes a preventive health care provider who works with musculoskeletal discomfort.</li> <li>• Implement a hearing conservation program and controls, which we continuously monitor according to our medical surveillance program.</li> <li>• Created a website to help at-home employees conduct ergonomic assessments.</li> </ul> <p>At our manufacturing sites, we provide training on proper stretching to prepare the body for work and reduce fatigue, which is led by contracted health and fitness professionals and reinforced through a training manual and posters.</p> <p>U.S. employees also have access to on-demand stretching breaks and fitness classes. In the U.S., our Well-Being Steering committee increases awareness of TI's wellness benefits and programs. TI's Safety Panel reviews all reported injury/illness cases. We share lessons learned with employees to increase risk awareness and deliver monthly safety topics to reinforce safe practices.</p>



## GRI 403: Occupational health and safety (cont'd)

Indicator	Description	Response
403-7	Prevention and mitigation of occupational health and safety impacts directly linked by business relationships	Our <a href="#">Supplier Code of Conduct</a> requires that our suppliers ensure that working conditions are safe; our <a href="#">Supplier Environmental and Social Responsibility Policy</a> outlines our expectations for ESH protection. See TI's response to indicators 403-1 and 403-3 for more information about mitigating health and safety impacts.
403-8	Workers covered by an occupational health and safety management system	TI's occupational health and safety management system is third-party certified to ISO 45001 requirements and covers 100% of employees and supplemental contractors (its parameters exclude turnkey suppliers and non-TI-managed workers as they are expected to follow their companies' procedures and applicable regulatory requirements). To ensure the effectiveness of our management system, the Worldwide ESH Compliance support team and independent third parties audit each facility every three years; in interim years, the facilities perform self-assessments.
403-9	Work-related injuries	See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for injury data. The calculation is based on 200,000 hours worked and excludes temporary labor provided by turnkey suppliers or non-TI-managed workers. The main employee and worker injuries include overexertion; awkward posture or ergonomics issues; contact with an object (struck by or against); and falls, slips, trips and losses of balance.
403-10	Work-related ill health	See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for ill-health data (the calculation excludes temporary labor provided by turnkey suppliers or non-TI-managed workers). The main types of employee ailments include overexertion and awkward posture or ergonomics issues.

## GRI 404: Training and education

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	<p>See the <a href="#">Talent Development</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">GRI 401: Employment</a> to learn more about how TI manages employee development.</p> <p><b>Assessment</b> To strengthen our programs, we:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Track attendance in mandatory training programs to ensure compliance.</li> <li>• Assess training content to ensure that it is accurate and relevant. We work with facilitators and subject-matter experts to improve program content where needed.</li> <li>• Benchmark with training providers and other companies to ensure the effectiveness of our learning modalities.</li> <li>• Conduct internal and external audits to verify the quality and effectiveness of our processes.</li> </ul> <p>TI's needs and regulatory requirements determine competency requirements specific to job functions.</p>
404-1	Average hours of training per year per employee	Employees globally received, on average, approximately 50.7 hours of training in 2022.
404-2	Programs for upgrading employee skills and transition assistance programs	Employees take part in various development opportunities throughout their careers, which are summarized in the <a href="#">Talent Development</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report. If workforce reductions occur, we make every effort to transfer impacted employees to other open positions within TI. When transfers are not possible, we provide severance packages that include résumé and job search assistance.



### GRI 404: Training and education (cont'd)

Indicator	Description	Response
404-3	Percentage of employees receiving regular performance and career development reviews	<p>TI supports employees owning their careers, which includes three main components: performing in your current role, developing your capability and planning your career. We encourage goal setting at the beginning of each year, including performance and development goals and formal performance reviews twice a year to confirm that employees understand their own goals and manager expectations.</p> <p>We do not track the number of employees receiving performance reviews. We have seen greater success in employee engagement, goal setting and alignment with our priorities by encouraging better conversations between supervisors and employees. We provide access to online resources to guide these conversations. We also host workshops on setting goals, reviewing performance, development planning, engaging and retaining talent, and career planning.</p>

### GRI 405: Diversity and equal opportunity

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	See the <a href="#">Diversity and Inclusion</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">Employment management of material topics</a> in this index to learn more about the company's management approach. To assess our diversity strategy's effectiveness, we evaluate the outcomes of our various diversity, equity and inclusion efforts to determine any necessary adjustments. We also benchmark our strategy, programs and outcomes against our peers, and monitor reported concerns or grievances.
405-1	Diversity of governance bodies and employees	See the <a href="#">Workforce Representation</a> section and <a href="#">Performance Data Appendix</a> in TI's 2022 Corporate Citizenship Report for diversity data.
405-2	Ratio of basic salary and remuneration of women to men	<p>We have a long-standing practice to pay our employees fairly and equitably. TI maintains competitive and equitable compensation policies. We designed checks and balances into our compensation system, including conducting regular in-depth analyses, to ensure we achieve them.</p> <p>In 2022, TI retained a third party to conduct a separate compensation analysis examining gender and race pay parity (including base, and bonus pay and equity) that considered job type, job level and country. Our analysis confirmed that within the U.S. and worldwide, TI pays women as much as men. In the U.S., TI pays minorities as much as non-minorities. Globally, women make \$1.015 for every \$1.000 men earn. In the U.S., women make \$1.002 for every \$1.000 men earn, and minorities make \$1.002 for every \$1.000 non-minorities earn.</p>

### GRI 406: Non-discrimination

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	<p>See <a href="#">GRI 401: Employment, Living our values – TI's ambitions, values and code of conduct</a> and our <a href="#">Equal Employment Opportunity Policy</a> in this index to learn more about our nondiscrimination standards. We:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Take measures to ensure that our recruiting efforts and workforce reflect the available talent pool.</li> <li>• Measure participation in our diversity initiatives.</li> <li>• Monitor concerns or grievances reported.</li> <li>• Benchmark our programs and strategies against our peers.</li> </ul>



### GRI 406: Non-discrimination (cont'd)

Indicator	Description	Response
406-1	Incidents of discrimination and corrective actions taken	We investigate and work to resolve all discrimination inquiries and take appropriate remedial measures. TI does not publicly report the number or nature of any such incidents for confidentiality reasons. We periodically review and reassess this information to ensure adequate and effective preventive measures.

### GRI 408: Child labor

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	<p>TI forbids the use of child labor in any area of our business and our <a href="#">Supplier Code of Conduct</a> forbids child labor in any stage of manufacturing. See the <a href="#">Labor and Human Rights</a> and <a href="#">Supply Chain Management</a> sections of TI's 2022 Corporate Citizenship Report to learn more about our policies, reporting and assessment mechanisms. We use our <a href="#">Living our values, TI's ambitions, values and code of conduct</a>; <a href="#">Business Practices Statement</a>; and our membership in organizations such as the RBA as reference points for our approach to managing human rights issues.</p> <p><b>Governance</b> The Audit committee of our board of directors oversees human and labor rights-related efforts and receives annual updates. If a serious violation occurs, we promptly notify the committee chair.</p> <p><b>Assessment</b> We require all worldwide manufacturing sites to complete third-party self-assessment questionnaires annually, focusing on human rights practices. TI and third-party auditors also assess select sites for human rights risks.</p> <p><b>Policies and practices</b> TI has:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Nondiscrimination, workplace safety, anti-human trafficking, working hours, minimum wages, and data privacy policies. Additional policies guide our actions in specific areas, such as supply chain, environmental protection, health and safety and privacy.</li> <li>• Several operating procedures to safeguard employees and suppliers' and contractors' rights, including labor standards, training and awareness-building practices, freedom to associate and incident reporting tools.</li> </ul>
408-1	Operations and suppliers at significant risk for incidents of child labor	TI's Ethics Office is responsible for investigating all child labor allegations and taking corrective actions if needed. TI assessed nearly 230 suppliers for child labor and other human rights risks; findings revealed no significant negative impacts or concerns.



**GRI 409: Forced or compulsory labor**

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	TI forbids forced or compulsory labor in any area of its business and the <a href="#">Supplier Code of Conduct</a> also forbids forced or compulsory labor. See <a href="#">GRI 408: Child Labor</a> for more information on how TI manages human and labor rights.
409-1	Operations and suppliers at significant risk for incidents of forced or compulsory labor	TI's Ethics Office is responsible for investigating all forced or compulsory labor allegations and taking corrective actions if needed. TI assessed nearly 230 suppliers for forced or compulsory labor and other human rights risks; findings revealed no significant negative impacts or concerns.

**GRI 410: Security practices**

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	Our Worldwide Protective Services organization has a standard protocol for maintaining a globally safe and respectful working environment.
410-1	Security personnel trained in human rights policies or procedures	TI delivers targeted training that includes ethics, compliance and human rights components to 100% of its security personnel, including third-party security contractors.

**GRI 413: Local communities**

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	<p>TI positively impacts the global communities in which it operates through employment, wages, taxes, supplier contracts, indirect jobs, giving and volunteerism. Worldwide, our <a href="#">devices</a> are used in technologies that improve education, enhance automotive safety and efficiency, reduce energy consumption, optimize health and well-being, and enable other social and environmental benefits. At each site, we engage government, business and community leaders to build mutually beneficial relationships, identify local needs, responsibly manage shared resources, and prioritize capital and philanthropic investments. We solicit feedback to help us assess our impact and make refinements.</p> <p>TI has stringent standards, policies and processes to ensure that our local operations are safe, and that human rights and biodiversity are protected, diversity is valued, employees are compensated fairly and equitably, and all stakeholders are treated with dignity and respect. We strive to be good corporate citizens and enrich the communities where our teams live and play to ensure our collective long-term sustainability.</p>



### GRI 413: Local communities (cont'd)

Indicator	Description	Response
413-1	Operations with local community engagement, impact assessments, and development programs	<p>When doing business in new communities, we engage local government, business and community leaders to establish mutually beneficial relationships, understand the availability of infrastructure and shared resources, and the extent of qualified workers to hire. We maintain these relationships and discussions, and monitor our collective needs.</p> <p>TI also conducts formal environmental impact assessments to determine water, power and infrastructure availability, the location of sensitive ecosystems and other potential risks. Our sites currently are in industrial areas and do not negatively impact biodiversity or vulnerable populations directly.</p> <p>Additionally, we engage with community leaders and nonprofits that align with our giving priorities so that we may support them through corporate, TI Foundation and employee/retiree donations, disaster relief funding or through volunteerism.</p> <p>Stakeholders with questions or concerns about our community, philanthropy and volunteering programs can email <a href="mailto:citizenshipfeedback@list.ti.com">citizenshipfeedback@list.ti.com</a> or contact the TI Ethics Office anonymously.</p>
413-2	Operations with significant actual and potential negative impacts	<p>TI broke ground on a new 300-mm semiconductor wafer fabrication plant in <a href="#">Sherman, Texas</a>. The potential \$30 billion investment includes plans for four fabs to meet demand over time, supporting as many as 3,000 direct jobs. We also began production at our new 300-mm fabs in <a href="#">Richardson, Texas</a> and <a href="#">Lehi, Utah</a>, a site that TI acquired in 2021. These sites will also create new jobs and generate billions in economic growth. Conversely, none of TI's sites experienced negative impacts in 2022.</p>

### GRI 414: Supplier social assessment

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	See the <a href="#">Supply Chain Responsibility</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report, <a href="#">Anti-Human Trafficking Statement</a> and <a href="#">Suppliers website</a> to learn more about how we manage suppliers' social risks.
414-1	Percentage of new suppliers that were screened using social criteria	We do not have a process to track the percentage of new suppliers screened. However, we screen any new supplier deemed critical or one that provides on-site services to our factories.
414-2	Negative social impacts in the supply chain and actions taken	In 2022, TI assessed nearly 230 suppliers and the findings revealed no significant negative impacts or concerns. As a result, we did not terminate any relationships.

### GRI 415: Public policy

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	TI's innovations facilitate economic growth in the global communities where we operate. Our affordable technologies make homes and automobiles safer; reduce energy consumption; and expand access to light, power and electronics. To protect our ability to engineer progress, we advocate for <a href="#">government policies</a> that help us attract talent, drive innovation and promote competitiveness.



### GRI 415: Public policy (cont'd)

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics cont'd	<p>We conduct <a href="#">public policy activities</a> transparently, ethically and in compliance with relevant laws. We are forthright in how we <a href="#">govern</a> our actions, and disclose our membership in <a href="#">lobbying associations</a> and <a href="#">political expenditures</a>. We openly describe the role and limitations of TI's <a href="#">political action committee</a> and our <a href="#">employees' rights</a> in the political process. We regularly perform extensive due diligence and provide reports and training to maintain compliance with our standards and requirements. The Governance and Shareholder Relations committee of TI's board of directors review these actions annually to confirm their consistency with company policies.</p> <p>Across the globe, we engage with policymakers, government authorities, industry organizations and our peers to discuss and identify solutions to shared challenges. We assess the effectiveness of this collaboration by our ability to compete fairly and transparently. If concerns arise, stakeholders can contact our vice president of Worldwide Government Relations or the TI Ethics Office. For more information, see the <a href="#">Public Policy</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and <a href="#">TI's Public Policy website</a>.</p>
415-1	Political contributions	TI's <a href="#">political activities and contributions</a> reflect U.S. activity only. We do not make political contributions outside the U.S.

### GRI 417: Marketing and labeling

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	TI meets regulatory and customer requirements for material content contained in its labels and <a href="#">packing materials</a> . We have published information about how we manage <a href="#">restricted chemicals</a> and <a href="#">product labeling</a> on TI.com.
417-1	Requirements for product and service information and labeling	<p>Our ongoing objective is to comply with ever-changing regulations and import and export laws while delivering products on time. Label requirements vary by material type, customer agreements and country-specific laws and regulations. We:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Use TI standard labels and create semi-custom labels if customers require them.</li> <li>• Share information about our products' possible environmental and social impacts on our <a href="#">Eco-Info</a> page and material content <a href="#">search tool</a>.</li> <li>• Provide applicable safety information in product literature.</li> <li>• Assess and indicate the compliance status of all regulatory and industry requirements for integrated circuit components on our labels and website.</li> </ul> <p>Our Restricted Chemicals and Materials program requires material suppliers and external manufacturing to provide appropriate information for TI to assess compliance with restricted chemicals and materials requirements at least annually.</p>
417-2	Incidents of non-compliance concerning product information and labeling	TI complies with information and labeling requirements across the globe, such as the European Union (EU) Restriction of Hazardous Substances, the United Kingdom Conformity Assessed Marking and the EU Directive for Waste Electrical and Electronic Equipment. We also adhere to voluntary codes, such as Underwriters Laboratories, the Canadian Standards Association (North American certification), the China Quality Certification Center (Chinese certification marking) and Verband Deutscher Elektrotechniker (European test certification marking). In 2022, TI had zero noncompliance incidents with regulated and voluntary codes.
417-3	Incidents of non-compliance concerning marketing communications	TI had zero incidents of non-compliance related to product marketing communications in 2022.



## GRI 418: Customer privacy

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	<p>See the <a href="#">Information Protection</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report to learn more about the company's management approach. To protect our company, technology, and intellectual property from potential cybersecurity threats, we employ various defensive and monitoring techniques based on industry frameworks and cybersecurity standards (which may include personal information). We also collaborate with experts and industry partners to exchange information about threats, best practices and trends.</p> <p><b>Governance</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Our chief information officer oversees information protection, and we have governance and compliance structures in place to address or elevate issues if needed.</li> <li>• Senior leaders from major business units and support entities review cybersecurity threats, prioritize security actions, and help build awareness and support within their organizations.</li> <li>• Our Confidential Information Protection Council ensures that we appropriately classify and protect confidential information and trade secrets.</li> <li>• Our Privacy committee, comprising cross-organizational representatives, helps protect TIers', customers' and business partners' personally identifiable information.</li> </ul> <p><b>Assessment</b></p> <p>We:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Regularly review and test controls to ensure that protections function as they should.</li> <li>• Conduct external penetration tests, internal vulnerability assessments, and audits at the site and business level.</li> <li>• Evaluate our practices against industry standards and vet with external experts.</li> <li>• Address any identified deficiencies.</li> </ul> <p><b>Grievance channels</b></p> <p>If employees identify potential threats or have questions or concerns about IT security, we have internal channels to assist them. Customers and suppliers can also contact us directly through their account managers and other channels.</p> <p><b>Resources</b></p> <p>TI allocates extensive financial, human and information protection resources to protect intellectual property and employee and customer information.</p>
418-1	Substantiated complaints concerning breaches of customer privacy and losses of customer data	TI investigates and evaluates all potential breaches or privacy concerns that are brought to its attention. While the company does not report or publish information about individual concerns or allegations, we would report or disclose any material breach or data concern as required by applicable legal or regulatory requirements.

## Business continuity and risk management

Indicator	Description	Response
3-3	Management of material topics	See the <a href="#">Risk Management and Business Continuity</a> section of TI's 2022 Corporate Citizenship Report to learn more about how TI manages these programs. TI is a member of the business continuity planning (BCP) Conference Board, a consortium of business stakeholders who discuss and share best practices on ways to anticipate, mitigate and avoid risks.



# Task Force on Climate-Related Financial Disclosures

The Financial Stability Board created the Task Force on Climate-related Financial Disclosures (TCFD) to improve and increase reporting of climate-related financial information. This index includes information that is not material to TI, but may be considered important to TI and our stakeholders.

## Governance

Subtopic	Description	Response
Board oversight	Describe the board's oversight of climate-related risks and opportunities.	See <a href="#">Board Oversight of Environmental, Social and Governance (ESG) Matters</a> and TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .
Management's role	Describe management's role in assessing and managing climate-related risks and opportunities.	See <a href="#">Board Oversight of ESG Matters</a> and TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .

## Strategy

Subtopic	Description	Response
Risks and opportunities	Describe the climate-related risks and opportunities the organization has identified over the short, medium and long term.	See TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .
Impact on organization	Describe the impact of climate-related risks and opportunities on the organization's business, strategy and financial planning.	See TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .
Resilience of strategy	Describe the resilience of the organization's strategy, taking into consideration different climate-related scenarios, including a 2°C or lower scenario.	See TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .

## Risk management

Subtopic	Description	Response
Risk assessment processes	Describe the organization's processes for identifying and assessing climate-related risks.	See TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .
Risk-management processes	Describe the organization's processes for managing climate-related risks.	See TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .
Resilience of strategy	Describe the resilience of the organization's strategy, taking into consideration different climate-related scenarios, including a 2°C or lower scenario.	See TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .
Integration into overall risk management	Describe how processes for identifying, assessing and managing climate-related risks are integrated into the organization's overall risk management.	See TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .

## Metrics and targets

Subtopic	Description	Response
Climate-related metrics	Disclose the metrics used by the organization to assess climate-related risks and opportunities in line with its strategy and risk management process.	TI has not defined metrics to assess climate-related risks at this time.
Scope 1, 2 and 3 GHG emissions	Disclose scope 1, scope 2, and if appropriate, scope 3 GHG emissions and the related risks.	See the <a href="#">Greenhouse Gas Emissions section</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .
Climate-related targets	Describe the targets used by the organization to manage climate-related risks and opportunities and performance against targets.	See the <a href="#">Greenhouse Gas Emissions section</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .



# Sustainability Accounting Standards Board

TI uses the Sustainability Accounting Standards Board (SASB) Standards on topics deemed significant to semiconductor companies. This index includes information that is not material to TI, but may be considered important to TI and our stakeholders.

Subtopic	Indicator	Description	Response
GHG emissions	TC-SC-110a.1	Gross global scope 1 greenhouse gas (GHG) emissions and the amount of total emissions from perfluorinated compounds.	See the <a href="#">Greenhouse Gas Emissions section</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report or TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> for GHG data.
	TC-SC-110a.2	Discussion of long- and short-term strategy or plan to manage scope 1 emissions, emissions reduction targets and an analysis of performance against those targets.	See TI's <a href="#">2023 CDP Climate Change response</a> .
Energy management in manufacturing	TC-SC-130a.1	Total energy consumed, percentage grid electricity and percentage renewable energy.	In 2022, TI consumed 13,488,318 gigajoules of energy. See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for additional energy data.
Water management	TC-SC-140a.1	Total water withdrawn, total water consumed, and percentage of each in regions with high or extremely high baseline water stress.	In 2022, TI consumed 5,393 thousand cubic meters of water and withdrew 24,217 thousand cubic meters. See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and TI's <a href="#">2023 CDP Water Security response</a> for additional water data.
Waste management	TC-SC-150a.1	Amount of hazardous waste from manufacturing, percentage recycled.	See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for waste data.
Employee health and safety	TC-SC-320a.1	Description of efforts to assess, monitor and reduce employees' exposure to human health hazards.	See the <a href="#">Safety and Health section</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and the <a href="#">Occupational Health and Safety section</a> of the GRI Index.
	TC-SC-320a.2	Total amount of monetary losses as a result of legal proceedings associated with employee health and safety violations.	TI had no legal proceedings associated with employee health and safety that resulted in monetary losses in 2022.
Recruiting and managing a global and skilled workforce	TC-SC-330a.1	Percentage of employees who are foreign nationals and located offshore.	TI does not track the percentage of employees who are foreign nationals. See the <a href="#">Performance Data Appendix</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report for the percentage of offshore employees.
Product life-cycle management	TC-SC-410a.1	Percentage of products by revenue that contain International Electrotechnical Commission (IEC) 62474 declarable substances.	TI does not track the percentage of products by revenue that contain IEC 62474 declarable substances.
	TC-SC-410a.2	Processor energy efficiency at a system level for servers, desktops and laptops.	Processor energy efficiency is not relevant to our business.
Material sourcing	TC-SC-440a.1	Description of the management of risks associated with the use of critical materials.	See the <a href="#">Responsible Minerals section</a> of TI's 2022 Corporate Citizenship Report and TI's <a href="#">Conflict Minerals Policy</a> .
Intellectual property protection	TC-SC-520a.1	Total amount of monetary losses as a result of legal proceedings associated with anticompetitive behavior regulations.	TI was not subject to any monetary losses from legal proceedings associated with anti-competitive behavior regulations in 2022.



**Notice regarding forward-looking statements**

This communication includes forward-looking statements intended to qualify for the safe harbor from liability established by the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. These forward-looking statements generally can be identified by phrases such as TI or its management “believes,” “expects,” “anticipates,” “foresees,” “forecasts,” “estimates” or other words or phrases of similar import. Similarly, statements herein that describe TI’s business strategy, outlook, objectives, plans, intentions or goals are forward-looking statements. All such forward-looking statements are subject to certain risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially from those in forward-looking statements. For a more detailed discussion of these factors, see the risk factors discussion in the first quarter of 2023 form 10-Q, filed with the SEC. The forward-looking statements included in this communication are made only as of the date of this communication. We undertake no obligation to update the forward-looking statements to reflect subsequent events or circumstances.